

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Eブロック】

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
E	音楽	合唱	東京混声合唱団	○	○	○	○	心に響く合唱	(小学校・中学校共通) 校歌演奏/萬歳流し(柴田南雄)/各校選択曲または「サウンド・オブ・ミュージック」等 (小学校) ハレルヤ(ヘンデル)/となりのトトロ(久石譲)、翼をください(村井邦彦)等 (中学校) アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)、夕焼小焼、Joyful Joyful(ゴスペル)等	
E	音楽	オーケストラ等	中部フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	「体感オーケストラ! 体育館が劇場に変身!」	●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より「メインタイトル」 ●楽器紹介:『きらきら星変奏曲』 ●バルトーク:ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版) ●ビゼー:組曲「アルルの女」から「ファランドール」 ●グリーグ:組曲「ペール・ギュント」より「朝」 ●【子供との共演】ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッション ●【あなたもマエストロ!】ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章より ●チャイコフスキー:交響曲第4番へ短調 作品36 より「第4楽章」 ●各学校校歌 等	
E	音楽	オーケストラ等	東京交響楽団	○	○	○	○	オーケストラがあなたのまちにやってくる! -東京交響楽団地域巡回演奏会-	【第1部】 スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲、小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き)、協奏曲(モンティ:チャールダーシュ、モーツァルト:ファゴット協奏曲など) 【第2部】 ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」から第1楽章 【★指揮者体験】ビゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【★生徒との共演】訪問校校歌(オーケストラ編曲版)、外山雄三:管弦楽のためのラプソディ、アンコール 久石譲:君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より) 等	
E	音楽	オーケストラ等	Osaka Shion Wind Orchestra	○	○	○	○	吹奏楽って何だろう? ~管楽器・打楽器の特徴と役割から音階のお話まで~鑑賞から楽しく学び取ろう!【小学生(低学年・中学年)向けおよび、小学生(高学年)・中学生向け】	【小学生(低学年・中学年)向け】 1.組曲「惑星」より「ジュピター讃歌」G.ホルスト(J.デメイ編) 等 【小学生(高学年)・中学生向け】 1.歌劇「サムソンとデリラ」からバツカナル/C.サン＝サーンス(L.D.スタイガー編) 等 【共通】 2.歌劇「カルメン」より前奏曲/G.ビゼー(高島伸編) 3.宝島/和泉宏隆(真島俊夫編) 4.アンコール:東京オリピックマーチ/古関裕而または校歌 等	
E	演劇	児童劇	オペレッタ劇団ともしび	○	○	○	○	「トラの恩がえし」	オペレッタ「トラの恩がえし」 原作 韓国・朝鮮民話 音楽 リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本 中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出 大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術 内山勉 新井真紀	
E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	-	「スクラム☆ガッシン 準備完了! 第2号計画(ダッシュ)」	「スクラム☆ガッシン 準備完了! 第2号計画(ダッシュ)」 作・脚本/田中つとむ 演出/中島 研 音楽・効果/曲尾友克 美術/浅野井優子・風の子大道具プロジェクトチーム 制作/大森靖枝	
E	演劇	演劇	かわせみ座	○	○	○	○	「まほろばのこだま」	「まほろばのこだま」 作・原案/山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術/山本由也 構成・演出/高畑勲(アニメーション映画監督)	
E	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにゃく座	○	○	○	-	「オペラ『口はロボットの口』」	オペラ『口はロボットの口』 作曲:萩京子 台本:鄭義信 演出:鄭義信/振付:伊藤多恵	
E	舞踊	バレエ	東京シティ・バレエ団	○	○	○	○	「ようこそ、バレエ『コッペリア』の世界へ」	第1部「バレエってなあに? ~バレエを楽しもう! ~」 第2部「コッペリア」より(コッペリアの仕事部屋) 第3部「コッペリア」より(鐘の祭り) ■作曲:レオ・ドリア ■原作:ホフマン ■原台本:ニュイッテル サン・レオン ■原振付:サン・レオン ■演出・振付:石井清子	R2 (継続)
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人 金剛会	○	○	○	○	「みんなで体験・共演してみよう! 能・狂言」	■狂言「柿山伏」 ■能「鞍馬天狗」	
E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	万作の会	-	○	○	○	「日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ~体験と鑑賞~」	■狂言「盆山」 ■狂言「附子」 【共演体験】狂言「蝸牛」より囃子言葉の掛け合いの場面	
E	伝統芸能	邦楽	特定非営利活動法人日本音楽集団	○	○	○	-	「『ごんぎつね』 ~語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇~」	①『宮崎駿アニメ「メドレー」(秋岸寛久編曲) ②〜⑥『日本の楽器たち』(古典作品)/六段の調、鹿の遠音、春の海、那須の与一、幕間三重・獅子狂い 五段 ⑦『子どものための組曲』(篠田大介作曲) ⑧『ごんぎつね』 ~語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇~(作:新美南吉、音楽:川崎絵都夫、作詞:佐藤万里)※児童共演	
E	伝統芸能	演芸	有限会社 真水企画室	○	○	○	○	「一龍斎貞水プロデュース「講談の世界」(ワークショップ=「講談教室」 本公演=「講談〇〇亭」)	<ワークショップ> 軍談(修羅場よみ) 「三方ヶ原軍記」など、連続講談「はろはろ天狗」「海賊退治」「宮本武蔵」など決闘シーン(立ち回り)のある読み物 <本公演> 二席の講談(いずれかに怪談物を入れる)江戸と上方○新作と古典など変化を付けて構成。※読み物は子供が登場する「越の海」など、決闘シーンが迫力の武芸物「荒木又右エ門」や「宮本武蔵」などいずれも児童生徒さんに親しみ易い読み物を口演。	
E	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	「BAKERU - デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 -」	BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的としています。 1日目【芸能実演とワークショップ】 2日目【デジタルアート体験】	

【C区分団体】

D・E・F	演劇	児童劇	劇団うりんこ	○	○	○	○	「ともだちや -あいつともだち-」	「ともだちや -あいつともだち-」 原作:内田麟太郎(「ともだちや」「あいつともだち」「ともだちごっこ」併成社) 脚本・演出:徳 典彦(白根道雄) 美術:青木拓也 衣装:木崎絵里香 音楽:内田アタチ 音響:権名KANS 振付:下出祐子	
D・E	演劇	児童劇	劇団風の子	○	○	○	-	「ソノヒカギリ美術館」	「ソノヒカギリ美術館」 原案/村井昌世 作/ソノヒカギリ美術館製作委員会 構成・演出/大淵浩幸 美術/ナカムラジ 身体表現/若林こうじ 音楽/青柳拓次 制作/浅野井優子	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については、実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し、文化庁(事務局)、実施団体、実施校間において、必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため、各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から、「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

巡回ブロック	A・B区分団体														C区分団体	
	E107	E208	E210	E214	E411	E423	E508	E611	E1607	E907	E910	E1105	E1312	E1502	K430	K438
	東京混声合唱団	中部 フィルハーモニー 交響楽団	東京交響楽団	Osaka Shion Wind Orchestra	オペレッタ 劇団ともじび	劇団風の子	かわせみ座	オペラシアター こんにやく座	東京 シティ・バレエ団	一般社団法人金剛会	万作の会	特定非営利活動法人 日本音楽集団	有限会社貞水企画室	WOW	劇団うりんこ	劇団風の子
巡回ブロック	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D/E/F	D/E
種目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	メディアアート等	児童劇	児童劇
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし
6月1日	火			○												
6月2日	水			○												
6月3日	木			○												
6月4日	金			○												
6月5日	土			○												
6月6日	日	●		○												
6月7日	月	○		○												
6月8日	火	○		○												
6月9日	水	○		○												
6月10日	木	○		○												
6月11日	金	○		○												
6月12日	土	○		○												
6月13日	日	●		○												
6月14日	月	○	●	○												
6月15日	火	○	○	○												
6月16日	水	○	○	○												
6月17日	木	○		○												
6月18日	金	○		○												
6月19日	土	○		○												
6月20日	日														●	
6月21日	月	○													●	
6月22日	火	○				●	○								○	●
6月23日	水	○				○	○								○	○
6月24日	木	○				○	○								○	○
6月25日	金	○				○	○								○	○
6月26日	土	○				○	○								○	○
6月27日	日														○	○
6月28日	月					○									○	○
6月29日	火					○									○	○
6月30日	水					○									○	○
7月1日	木					○									○	○
7月2日	金					○									○	○
7月3日	土					●									○	○
7月4日	日														○	○
7月5日	月														○	○
7月6日	火														○	○
7月7日	水														○	○
7月8日	木														○	○
7月9日	金														○	○
7月10日	土														○	○
7月11日	日														○	○
7月12日	月														○	○
7月13日	火														○	○
7月14日	水														○	○
7月15日	木														○	○
7月16日	金														○	○
7月17日	土														○	○
7月18日	日														○	○
7月19日	月														○	○
7月20日	火														○	○
7月21日	水														○	○
7月22日	木														○	○
7月23日	金														○	○
7月24日	土														○	○
7月25日	日														○	○
7月26日	月														○	○
7月27日	火														○	○
7月28日	水														○	○
7月29日	木														○	○
7月30日	金														○	○
7月31日	土														○	○
8月1日	日														○	○
8月2日	月			○											○	○
8月3日	火			○											○	○
8月4日	水			○											○	○
8月5日	木														○	○
8月6日	金														○	○
8月7日	土														○	○
8月8日	日														○	○
8月9日	月														○	○
8月10日	火														○	○
8月11日	水														○	○
8月12日	木														○	○
8月13日	金														○	○
8月14日	土														○	○
8月15日	日														○	○
8月16日	月														○	○
8月17日	火														○	○
8月18日	水														○	○
8月19日	木														○	○
8月20日	金														○	○
8月21日	土														○	○
8月22日	日														○	○
8月23日	月														○	○
8月24日	火									○					○	○
8月25日	水									○					○	○
8月26日	木									○					○	○
8月27日	金									○					○	○
8月28日	土									○					○	○
8月29日	日									○					○	○
8月30日	月									○					○	○
8月31日	火									○					○	○
9月1日	水									○					○	○
9月2日	木									○					○	○
9月3日	金									○					○	○
9月4日	土									○					○	○
9月5日	日			○						○					○	○
9月6日	月			○						○					○	○
9月7日	火			○						○					○	○
9月8日	水			○						○					○	○
9月9日	木			○						○					○	○
9月10日	金			○						○					○	○
9月11日	土			○						○					○	○
9月12日	日			○						○					○	○
9月13日	月			○						○					○	○
9月14日	火			○						○	●				○	○
9月15日	水			○						○	○				○	○
9月16日	木			○						○	○				○	○
9月17日	金			○						○	○				○	○
9月18日	土			○						○	○				○	○

	A・B区分団体														C区分団体	
	E107	E208	E210	E214	E411	E423	E508	E611	E1607	E907	E910	E1105	E1312	E1502	K430	K438
	東京混声合唱団	中部 フィルハーモニー 交響楽団	東京交響楽団	Osaka Shion Wind Orchestra	オペレッタ 劇団ともじび	劇団風の子	かわせみ座	オペラシアター こんやく座	東京 シティ・バレエ団	一般社団法人金剛会	万作の会	特定非営利活動法人 日本音楽集団	有限会社貞水企画室	WOW	劇団うりんこ	劇団風の子
巡回ブロック	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	D/E/F	D/E
種目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	メディアアート等	児童劇	児童劇
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし
10月5日	火															
10月6日	水															
10月7日	木															
10月8日	金															
10月9日	土															
10月10日	日															
10月11日	月															
10月12日	火															
10月13日	水															
10月14日	木															
10月15日	金															
10月16日	土															
10月17日	日															
10月18日	月															
10月19日	火															
10月20日	水															
10月21日	木															
10月22日	金															
10月23日	土															
10月24日	日															
10月25日	月															
10月26日	火															
10月27日	水															
10月28日	木															
10月29日	金															
10月30日	土															
10月31日	日															
11月1日	月															
11月2日	火															
11月3日	水															
11月4日	木															
11月5日	金															
11月6日	土															
11月7日	日															
11月8日	月															
11月9日	火															
11月10日	水															
11月11日	木															
11月12日	金															
11月13日	土															
11月14日	日															
11月15日	月															
11月16日	火															
11月17日	水															
11月18日	木															
11月19日	金															
11月20日	土															
11月21日	日															
11月22日	月															
11月23日	火															
11月24日	水															
11月25日	木															
11月26日	金															
11月27日	土															
11月28日	日															
11月29日	月															
11月30日	火															
12月1日	水															
12月2日	木															
12月3日	金															
12月4日	土															
12月5日	日															
12月6日	月															
12月7日	火															
12月8日	水															
12月9日	木															
12月10日	金															
12月11日	土															
12月12日	日															
12月13日	月															
12月14日	火															
12月15日	水															
12月16日	木															
12月17日	金															
12月18日	土															
12月19日	日															
12月20日	月															
12月21日	火															
12月22日	水															
12月23日	木															
12月24日	金															
12月25日	土															
12月26日	日															
12月27日	月															
12月28日	火															
12月29日	水															
12月30日	木															
12月31日	金															
1月1日	土															
1月2日	日															
1月3日	月															
1月4日	火															
1月5日	水															
1月6日	木															
1月7日	金															
1月8日	土															
1月9日	日															
1月10日	月															
1月11日	火															
1月12日	水															
1月13日	木															
1月14日	金															
1月15日	土															
1月16日	日															
1月17日	月															
1月18日	火															
1月19日	水															
1月20日	木															
1月21日	金															
1月22日	土															
1月23日	日															
1月24日	月															
1月25日	火															
1月26日	水															
1月27日	木															
1月28日	金															
1月29日	土															
1月30日	日															
1月31日	月															

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	<input checked="" type="checkbox"/> 合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんざいだんほうじんがっしょうおんがくしんこうかい		
制作団体名	一般財団法人合唱音楽振興会		
代表者職・氏名	代表理事 堤 剛		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 (地下鉄東西線 早稲田)		
電話番号	03-3200-9755	F A X 番号	03-3200-9882
ふりがな	とうきょうこんせいがっしょうだん		
公演団体名	東京混声合唱団		
代表者職・氏名	理事長・山田和樹		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 (地下鉄東西線 早稲田)		
制作団体 設立年月	1981年4月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 堤 剛 理 事 池辺晋一郎・小林信一 田中信昭・藤本 草 城 満志 評議員 浅野紀子・佐々木亮 山田 茂 監 事 曾根研一	賛助・支持会員 200名	

事務体制の担当	専任 ・ <input type="checkbox"/> 他 <small>の業務と兼任</small>	本事業担当者名	安藤 博
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	経理責任者名	村上満志
制作団体沿革	昭和31年に設立された東京混声合唱団を中心として、わが国の職業合唱団ならびに合唱音楽の一層の振興のため、関係民間会社や東京混声合唱団のメンバーの拠出金により、昭和56年に財政基盤の安定した財団法人を設立するに至った。現在は、一般財団法人として合唱音楽を主体とする音楽芸術の創造・普及を図るとともに、芸術文化の発展に寄与すべく各種事業を行っている。		
学校等における 公演実績	R1年度 17公演(福井県、京都府、新潟県、富山県、石川県等 小学校・中学校) 30年度 22公演(東京都、栃木県、富山県、石川県等 小学校・中学校・高等学校) 29年度 16公演(山形県、神奈川県、埼玉県等 小学校・中学校・高等学校) 28年度 17公演(新潟県、長野県、大阪府等 小学校・中学校・高等学校) 27年度 20公演(神奈川県、群馬県、佐賀県等 小学校・中学校・高等学校) (過去5年間の実績)		
特別支援学校に おける公演実績	京都府立丹波支援学校(30年11月)、山形養護学校(29年7月)、山形聾学校(29年7月)、長野県須坂市支援学校(28年6月)、新潟盲学校(28年6月)、新潟大学附属特別支援学校(28年5月)、新潟県立東新潟特別支援学校(28年5月)ほか多数公演歴があり。		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/6Z9KjH4jmVg
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		とくにID,PWは設定していない。	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京混声合唱団】

対象	小学生(<input type="checkbox"/> 低学年 ・ <input type="checkbox"/> 中学年 ・ <input type="checkbox"/> 高学年) ・ <input type="checkbox"/> 中学生			
企画名	心に響く合唱			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>(小学生対象)</p> <p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 日本の歌 待ちぼうけ(山田耕筰)、せんせい(三善晃)、ふるさと～ハミングのためのエチュード～(信長貴富)</p> <p>■第2部 世界の合唱曲より 夏は来たりぬ(14世紀のカノン)、ハレルヤ(ヘンデル)、フニクラ・フニクラ(デンツァ)</p> <p>■第3部 日本の伝統芸能を素材とした合唱曲—シアターピース萬歳流し(柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ ②校歌全員合唱 ③ABCDより選択 A.各校選択曲 またはB. ラララのラー(鶴見幸代) またはC. ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」より(ロジャース) またはD. 星に願いを～ハミング曲(映画「ピノキオ」より)</p> <p>■第5部 みんなのコーラス とりのトロ(久石譲)、幸せなら手をたたこう(スペイン民謡)、ジッパ・ディー・ドゥー・ダー(ウルベル)、翼をください(村井邦彦)</p> <p>(中学生対象)</p> <p>■校歌演奏</p> <p>■第1部 世界の合唱曲より アヴェ・ヴェルム・コルプス(モーツァルト)、トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス2世)、「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の力よ(オルフ)</p> <p>■第2部 日本のうた ふるさと～ハミングのためのエチュード(信長貴富)、「親子で歌いつごう日本の歌百選」より～さくら(日本古謡・名田綾子編曲)、夕焼小焼(草川信・三善晃編曲)</p> <p>■第3部 日本の合唱曲～東京混声合唱団委嘱作品より 萬歳流し(柴田南雄)</p> <p>■第4部 みんなでコーラス ①校歌全員合唱 ②ABCDより選択 A. 学校選択曲 または B. ラララのラー(鶴見幸代)、または C. ミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」より(ロジャース)、またはD. 星に願いを～ハミング曲(映画「ピノキオ」より)</p> <p>■第5部 楽しいコーラス コンダリラ(滝の精)(リーク)、風になりたい(宮沢和史)、Joyful Joyful(ゴスペル)</p>			
	公演時間(小中共休憩含む 90~100分)			
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演 目 概 要	<p>校歌模範演奏を冒頭に、全合唱分野を網羅する東京混声合唱団の豊富なレパートリーの中から、世界の合唱曲、古典から現代までの合唱曲、200曲を超える過去の委嘱作品からも選曲、また世代を超えて歌い継がれている「日本の歌百選」、日本の伝統芸能を素材とした合唱曲、小中学生の愛唱曲、教科書掲載曲など、広範囲なジャンルより選曲した。さらに今般のコロナ禍の状況下で、教育現場でも音楽教育の原点でもいべき合唱教育が難しいといわれる中、東京混声合唱団が新たに提唱・委嘱初演したハミングのための作品から、とくに小中学生の鑑賞に適した信長貴富作曲「ふるさと～ハミングのためのエチュード」を選曲した。</p>		
演 目 選 択 理 由	<p>合唱はすべての音楽の原点であり、歌唱教育は明治以来学校教育現場においてもっとも重視されてきた。その流れは、現代においても、各学校内において合唱コンクールが盛んに行われいるとおりに、脈々と受け継がれてきている。そこで合唱音楽の魅力をより深く理解し、親しんでもらうために児童生徒全員が参加できる内容も考慮し、上記のようなプログラム構成とした。選曲については過去の文化庁巡回事業、あるいは、他学校の音楽教員の先生方のご意見も取り入れ、さらに合唱団内部での検討を重ねて行った。また、今回新しく取り上げた曲として信長貴富氏の「ふるさと～ハミングのためのエチュード」がある。この曲は、今般のコロナ禍の中での新しい合唱様式の一つとして、東京混声合唱団が今年度新しく委嘱した作品であり、コロナ後も広く歌い継がれていく秀作と考えている。</p>		
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 ， 参 加 又 は 体 験 の 形 態	<p>児童・生徒が合唱に参加する形態として、歌唱で参加するだけでなく、校歌や学校選択曲でピアノなど楽器伴奏を児童生徒に担当してもらうことも可能。共演形態については、各校の先生方から事前にご希望と実情を伺った上で決定する。共演曲として下記の4曲から選択していただくこととしている。Aは各学校の自由選択曲、Bは鶴見幸代作曲による子供と大人と一緒に歌える東混オリジナル曲「ラララのラー」、Cはミュージカル・メドレー「サウンド・オブ・ミュージック」より。この2曲は大人と一緒に声を出して体でリズムをとっているうちに自然に曲が完成してしまうという誰でも取り組める作品である。そしてDの「星に願いを」は、ハミングによる歌唱で、子供たちが主旋律を歌い、大人が下声部を支えて美しいハーモニーの一体感を体験していただく。</p>		
出 演 者	<p>指揮:キハラ良尚、水戸博之 ピアノ:魚谷絵奈ほか 合唱:東京混声合唱団</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者: 33 名 <u>ス タ ッ フ: 名</u> 合 計: 33 名</p>	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 t 車 長 m 台 数 台 *車両などは使用なし

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ <input type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(0.5時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	10時30分	11時～12時30分 (含会場リハーサル)	13時30分～ 15時10分	10分	15時15分～ 15時30分	15時30分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	制限なし				
	本公演	制限なし				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>・本公演の際に共演する曲目(校歌および選択曲)については、全員合唱の形で指導を行う。</p> <p>・校歌については、児童生徒と一緒に歌詞とメロディーの関係などを分析し、その結果を歌唱に生かせるよう指導、本公演では東京混声合唱団による模範演奏と合同演奏を行う。</p> <p>・採択決定後、各校に共演曲を選択していただき、事前準備として、音楽の時間や昼休みの放送、あるいは学内掲示などで共演曲を児童生徒に周知していただき、その後ワークショップにおいて取り組むことによってより一層の効果が得られる。</p> <p>・各パート(ソプラノ、アルト、テノール、バス各1名とピアニストの計5名で実施するため、指導だけでなく、一部コンサートを含めて混声合唱の仕組みやそれぞれの発声法についての解説も行う。特に変声期の中学生等については、男声団員による具体的な指導が可能。また、ピアノ伴奏を児童生徒が担当する場合は、ピアニストによる伴奏指導も併せて行い、質問コーナーでは児童生徒からの質問にも回答する。</p> <p>・東京混声合唱ホームページに本事業に関する「ふれあいホームページ」(http://toukonfureai.com)を開設し、教員、児童生徒にワークショップから本公演に至るまでの資料提供や交流の場として活用している。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>実際の演奏を織り交ぜながら、ソプラノ、アルト、テノール、バスの声の違い、合唱の仕組みや幅広い表現方法の他、声と身体の関係、良い声を出すための姿勢、男子の変声、伴奏の役割なども含め、合唱音楽について興味を膨らませ、本公演がさらに実り多い効果をあげられるよう指導を行う。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>児童生徒の発達や障害の状態について当該校と事前に情報共有し、その状況に合わせて指導内容を工夫、円滑な実施に努める。手拍子などでリズムの要素を含めるなどの工夫の他、様々な響きの美しさを身近に体験してもらえよう、児童生徒の障害の重度にも応じたプログラムで、歌を通じて楽しい交流を深められるよう演出に配慮する。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	107	分野	音楽	種目	合唱	ブロック		区分	A区分
公演団体名	東京混声合唱団				制作団体名	一般財団法人 合唱音楽振興会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件	指揮者用1室他15~20人が入れる部屋2室、1室は女声用なので、カーテンなどが必要					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			大型バス	1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バス入構が不可の場合、近隣下車し徒歩でも可					
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	—	搬入経路の最低条件			搬入物なし					
	理由									
	—	設置階の制限 *			問わない					
WSについて	—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない	高さ	問わない			
	可	参加可能人数			制限なし					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
可	所要時間の目安 単位:分			90分程度						
本公演について	理由	会場設置・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設置の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			制限なし					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	問わない	奥行	問わない	高さ	問わない	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		男声曲間に着替え(別の場所も可)			
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	会場や学校の規模に合わせ、ステージ上ではなくフロアに平台等を並べて仮設のステージとすることも可能								

男声が曲間に着替えのため使用。片側袖のみあるいは別のスペースでも可

男声が曲間に着替えのため使用。片側袖のみあるいは別のスペースでも可

ピアノ設置位置
(ステージ上、フロア)

使用スペース

合唱団員30名基本2列または3列、平台の数によって調整可。
平台1段または2段(3列の場合)使用。(角椅子等の代用も)

ピアノ位置
ステージ上、フロア上
いずれも可

指揮者

鑑賞位置

* 曲によっては合唱団員が客席の周囲で歌うため、縦中央と横中央に通路(田の字状)配置希望

間口

搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

● 東京混声合唱団の紹介

この合唱団は、昭和31年（1956年）その年の東京芸術大学声楽科卒業生によってつられ、それから今日まで日本の代表的な合唱団として活躍しています。

文化庁芸術祭大賞・優秀賞など国内の主な音楽賞を数多く受賞したほか、海外でも大変評価が高く、昭和54年（1979年）には、国際児童年を記念してアセアン5ヶ国で公演し、また、昭和62年（1987年）には、文化庁派遣「日米舞台芸術交流」の洋楽部門の日本代表として、アメリカ8都市で公演を行いました。さらに平成9年（1997年）には、ユネスコ世界合唱連合創立15周年記念フェスティバルに招待され、スウェーデン、ベルギーにおいて演奏、その後も平成12年（2000年）のエストニア、フィンランド公演、平成14年（2002年）のカナダ公演、平成18年（2006年）には、創立50周年を記念し、ラトヴィア、エストニア公演を開催し、多くの国の人々にも感銘を与えました。平成19年（2007年）、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞し、平成22年（2010年）に再びフィンランド公演、平成29年（2017年）にはロシア公演、2019年2～3月にはフランスとモナコで公演を行い、絶賛を博しました。



撮影：中村紋子



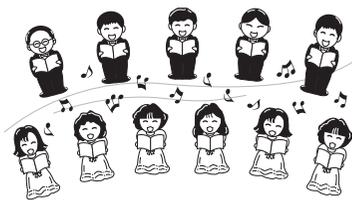
コン・コン・コンサート（2020年7月31日、東京芸術劇場）

国際音楽の日

知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業— 〈東京混声合唱団〉 〈合唱公演〉 小学校プログラム



文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

〈合唱公演〉

指揮：水戸博之・キハラ良尚 ピアノ：若月直子・魚谷絵奈
合唱：東京混声合唱団

プログラム

■ 校歌演奏

■ 第1部 日本のうた 待ちぼうけ (山田耕祚)
せんせい (三善晃)
地元ゆかりのうたより：赤とんぼ (兵庫)、阿波踊り (徳島)、Gifts (愛媛)

■ 第2部 世界の合唱曲より 夏は来たりぬ (14世紀のカノン)
ハレルヤ (ヘンデル)
フニクリ・フニクラ (デンツァ)

■ 第3部 日本の伝統芸能を素材にした合唱曲—シアターピース—
萬歳流し (柴田南雄)

■ 第4部 みんなで歌おう ①歌う前にみんなでウォームアップ
②校歌全員合唱
③ABCまたはD (ハミング) より選択
【A. 全員合唱 (各校選択曲) または B. ラララのラー (鶴見幸代)
または C. ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」
より～ (ロジャース) または、D. ふるさと (岡野貞一)】

■ 第5部 みんなのコーラス となりのトトロ (久石譲)
幸せなら手をたたこう (スペイン民謡)
ジッパ・ディー・ドゥー・ダー (ウルベル)
翼をください (村井邦彦)

● みんなで歌おう (曲目)

曲目	作曲者
ピリープ	杉本竜一
変わらないもの	山崎朋子
大切なもの	山崎朋子

曲目	作曲者
ラララのラー	鶴見幸代
ふるさと	岡野貞一(ハミング歌唱)

● 鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。

ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声のとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声のとけ合ってひろい体育館いっぱい、美しいハーモニーが響きわたります。



● 演目解説

待ちぼうけ (山田耕祚) ～詩人・北原白秋と作曲家・山田耕祚の名コンビによる歌で、中国に伝わるお話を基に作られました。合唱がお話を進め、ピアノが情景を見事に描いています。

せんせい (三善晃) ～大阪の小学一年生が書いた詩に作曲家が触発されて生まれた曲。児童のまなざしに大人はドキッとさせられます。

地元ゆかりの歌より
「赤とんぼ」(兵庫県)：龍野市出身の詩人三木露風作詞、山田耕祚作曲の童謡です。夕暮れ時に赤とんぼを見て、幼いころを懐かしく思い起こす内容が簡素なメロディーで歌われます。「阿波踊り」(徳島県)：かつて阿波の国と呼ばれた徳島県の阿波踊り、誰もが参加できる日本で最も有名な踊りです。そのエネルギーなリズムを用いて三善晃が作曲した合唱曲です。「Gifts」(愛媛県)：音楽ユニットSuperfly (スーパーフライ) のヴォーカルで作曲の越智志帆さんは、愛媛県今治市出身です。この曲は、昨年のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲にもなりました。

夏は来たりぬ (14世紀のカノン) ～700年程前から生活の楽しみのために歌い続けられてきた輪舞曲です。女声と男声が別々の輪舞曲を同時に歌います。

ハレルヤ (ヘンデル) ～「ハレルヤ」は[神様を讃えよう]という意味で、キリストの生涯を描いたオラトリオ「メサイア(救世主)」の中で、第二部の最後を飾る荘厳な合唱曲です。

フニクリ・フニクラ (デンツァ) ～イタリアの登山鉄道(フニコラーレ)を題材に、男性から意中の女性への熱い想いを明るく歌い上げます。

萬歳流し (柴田南雄) は、雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

となりのトトロ (久石譲) ～アニメ映画「となりのトトロ」でおなじみの曲が東京混声合唱団のためにアレンジされたものです。

幸せなら手をたたこう (スペイン民謡) ～軽快なリズムに合わせてみんなで楽しめる歌です。みんなで一緒に手拍子、足拍子、元気に体を動かしましょう。

ジッパ・ディー・ドゥー・ダー (ウルベル) ～ディズニー映画『南部の唄』の挿入歌。陽気で踊り出したくなるような曲です。

翼をください (村井邦彦) ～年代を問わず、幅広い世代に愛され歌い継がれてきた名曲です。

●東京混声合唱団の紹介

この合唱団は、昭和31年（1956年）その年の東京芸術大学声楽科卒業生によってつくり、それから今日まで日本の代表的な合唱団として活躍しています。

文化庁芸術祭大賞・優秀賞など国内の主な音楽賞を数多く受賞したほか、海外でも大変評価が高く、昭和54年（1979年）には、国際児童年を記念してアセアン5ヶ国で公演し、また、昭和62年（1987年）には、文化庁派遣「日米舞台芸術交流」の洋楽部門の日本代表として、アメリカ8都市で公演を行いました。さらに平成9年（1997年）には、ユネスコ世界合唱連合創立15周年記念フェスティバルに招待され、スウェーデン、ベルギーにおいて演奏、その後も平成12年（2000年）のエストニア、フィンランド公演、平成14年（2002年）のカナダ公演、平成18年（2006年）には、創立50周年を記念し、ラトヴィア、エストニア公演を開催し、多くの国の人々にも感銘を与えました。平成19年（2007年）、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞し、平成22年（2010年）に再びフィンランド公演、平成29年（2017年）にはロシア公演、2019年2～3月にはフランスとモナコで公演を行い、絶賛を博しました。



撮影：中村紋子



コン・コン・コンサート（2020年7月31日、東京芸術劇場）

国際音楽の日

知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業— 〈東京混声合唱団〉 〈合唱公演〉 中学校プログラム



文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業— 〈合唱公演〉

指揮：水戸 博之／ピアノ：若月 直子
合唱：東京混声合唱団

プログラム

■校歌演奏

■第1部

世界の合唱曲より

アヴェ・ヴェルム・コルプス（モーツァルト）
トリッチ・トラッチ・ポルカ（ヨハン・シュトラウス2世）
「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ（オルフ）

■第2部

日本のうた

地元ゆかりのうたより：Gifts（愛媛）
「親子で歌いごう日本の歌百選」より～
さくら（日本古謡・名田綾子編曲）
夕焼け小焼け（草川信・三善晃編曲）

■第3部

日本の合唱曲—東京混声合唱団委嘱作品より

萬歳流し（柴田南雄）

■第4部

みんなでコーラス

①校歌全員合唱
②ABC またはDE（ハミング）より選択
【A.全員合唱（各校選択曲） または B.ラララのラー（鶴見幸代） または C.ミュージカル・メドレー～「サウンド・オブ・ミュージック」より～（ロジャーズ） または、D.ふるさと（岡野貞一） または、E.星に願いを（映画ピノキオより）】

■第5部

楽しいコーラス

コンダリラ（滝の精）（リーク）
風になりたい（宮沢和史）
Joyful Joyful（ゴスペル）
心の瞳（三木たかし）



●鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。
ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声がとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声がとけ合ってひろい体育館いっぱい、美しいハーモニーが響きわたります。



●演目解説

アヴェ・ヴェルム・コルプス（モーツァルト）

モーツァルト晩年の傑作。清澄で安らぎに満ちた響きの中に、キリストへの感謝と賛美が歌われています。

トリッチ・トラッチ・ポルカ（ヨハン・シュトラウス2世）

「おしゃべりポルカ」とも呼ばれ、人の噂が次から次へと町中に広がっていく様子を軽快なポルカに乗せて描いています。

おお運命の女神よ「カルミナ・ブラーナ」（オルフ）より

ドイツの作曲家オルフが中世に書かれた民衆の詩に付けた壮大な曲です。とくにその第1曲「おお運命の女神よ」は力強いリズムとダイナミックで壮大なメロディーが心に強く刻まれます。

Gifts（越智志帆）

歌唱ユニットSuperflyが歌い、一昨年度「NHK全国学校音楽コンクール」中学校の部で課題曲にもなった曲。同ユニットの歌手で作詞・作曲の越智志帆氏は愛媛県の今治市出身です。

「親子で歌いごう日本の歌百選」より～さくら（日本古謡・名田綾子編曲）

誰もが知っている「さくら」の旋律を、名田綾子がつけた情感豊かなピアノ伴奏に乗せて歌われます。

夕焼け小焼け（草川信・三善晃編曲）

誰もが知っている夕焼け小焼け、三善晃の編曲では、一番を女声、二番を男声、そして最後に混声で壮大な盛り上がりをお聴かせします。

萬歳流し（柴田南雄）

雪国の町、秋田県横手市に伝わる伝統芸能「御門開き」と「秋田御国萬歳」を素材とした合唱曲です。合唱団の男声メンバーが太夫と才蔵のペアに分かれて場内を歩き、門付けをしながら廻ります。会場全体を使って演奏されるシアターピースという形で作曲されています。

コンダリラ（滝の精）（リーク）

オーストラリアの現代作曲家リークによる作品です。まるで深い森の中に迷い込んでしまったかのような音空間が味わえる不思議な一曲です。

風になりたい（宮沢和史）

「日本のサンバを作りたい」というコンセプトから生まれた作品で、サンバのリズムに乗せた軽快な一曲。

Joyful Joyful（ゴスペル）

映画「天使にラブソングを2」の中で歌われたゴスペルナンバーです。ベートーヴェンの「第九」の旋律が使われています。

心の瞳（三木たかし）

1985年飛行機事故で亡くなった歌手坂本九の最後の歌となったこの曲は、心の瞳をひらいてみれば本当の愛が伝わるという美しい歌です。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱、 <u>オーケストラ等</u> 、音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	にんていえぬびーおーほうじん ちゅうぶ ふいはーもにーこうきょうがくだん ----- 認定NPO法人 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒485-0041 愛知県小牧市小牧 2-107 小牧市市民会館内 (名鉄小牧線「小牧」駅(名古屋市内から17分)から徒歩10分)		
電話番号	0568-43-4333	FAX番号	0568-43-4334
ふりがな 公演団体名	ちゅうぶ ふいはーもにーこうきょうがくだん ----- 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒485-0041 愛知県小牧市小牧 2-107 小牧市市民会館 (名鉄小牧線「小牧」駅(名古屋市内から17分)から徒歩10分)		
制作団体 設立年月	2,000年10月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:西村義明 理事長:加藤隆久 専務理事:大野英人 常任理事:赤堀裕之史 岩田徹 河井裕二 後藤孝文 副島孝 水野恵翠 常務理事:喜多秀人 布藤和志 他理事12名 監事:野々川和明 事務局長:大野英人他8名	芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 首席客演指揮者:飯森範親 楽団員:42名(公募オーディションにより選考) 主な客演コンサートマスター:山口裕之 コンサートマスター:藤原綾 古井麻美子 アシコン1名 トップ奏者12名 副トップ奏者4名	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	事務局長:大野英人 演奏事業部:笠井雄太
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	総務部長:布藤和志

制作団体沿革	<p>2000年10月小牧市交響楽団として設立。2006年12月中部フィルハーモニー交響楽団と改称。本拠地は人口15万人の愛知県小牧市。2009年2月愛知県芸術選奨文化新人賞受賞。2015年5月創立15周年を祝しマーラー交響曲第2番「復活」を現芸術監督の秋山和慶の指揮で演奏し、高い評価を得ました(なお、秋山は創設時より指揮者陣の中で活動をしていただいていた)。平成30年度からは毎年、NAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ2回の計5回の定期演奏会をはじめ、松阪市、岐阜市や愛知県内の小牧、春日井、各地で自主コンサートを計10回以上開催し中部地方の地域の文化振興に貢献しています。2017年度から2年間は、NAGOYA 定期で秋山和慶芸術監督・首席指揮者による「ブラームス・ツィクルス」を開始し好評を博しました。このライブ録音は、ナクソスミュージックライブラリー(NML)で交響曲全曲が世界配信されています。2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団第461回定期演奏会マーラー「千人の交響曲」に中部フィル楽団員全員が賛助出演し好評を博しました。2017年12月には「多年にわたり地方自治の発展に尽力したその功績は誠に大である」として愛知県知事より感謝状を授与されています。</p>		
学校等における公演実績	<p>平成21年度から令和2年度まで文化庁の子供のための巡回公演を11年間11回受託させて頂きました。実績は以下の通りです。・平成21年度Dブロック25公演・平成22年度Aブロック18公演・平成23年度Jブロック19公演・平成24年度Aブロック20公演・平成25年度Fブロック24公演・平成26年度Bブロック20公演・平成27年度Iブロック20公演・平成28年度Gブロック15公演・平成29年度Fブロック16公演・平成30年度Cブロック15公演・令和2年度Dブロック8公演(予定)以上。</p> <p>本拠地・愛知県小牧市では小牧市内小学校8校、中学校3校での音楽鑑賞会を現在まで17年間毎年開催し、音楽により児童・生徒達の感性を育成してきました。</p> <p>小牧市では、全幼稚園・保育園(30園)への訪問演奏から、小・中・高等学校での音楽指導を年間約20回行い、幼児から高校生までの地域の音楽力の底上げ、向上と情操教育を担ってきました。</p> <p>また、愛知県内及び中部地方では長年数多くの学校公演で好評を得ています。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>「文化庁の子供のための巡回公演」で以下の学校で公演致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2010年度 ①岩手県立盛岡みたけ支援学校 ②北海道立白糠養護学校 ●2011年度 鹿児島県立鹿児島聾学校 ●2017年度 滋賀県立三雲養護学校 		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>https://youtu.be/0h0ZLXE2Xbo</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID:</p> <p>PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	「体感オーケストラ！体育館が劇場に変身！」		
本公演演目 原作／作曲 脚本 演出／振付	<p>●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より“メインタイトル”(7)(ネット、DVD参照)</p> <p>●楽器紹介:『きらきら星変奏曲』楽しく楽器の音色を楽しもう(10)</p> <p>●バルトーク:ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版)(6)(ヴァイオリンソロが客席近くに)</p> <p>●ビゼー:組曲「アルルの女」から“ファランドール”(4)(太鼓ソロが客席近くに)</p> <p>●オーケストラの近くで聴いて見よう!(5)(日頃聴けないステージ中等でオケを体感しよう！)</p> <p>ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章</p> <p><休憩>(10)</p> <p>●コープランド:市民のためのファンファーレ(金管各セクションが客席三方から演奏)(4)</p> <p>●グリーグ:組曲「ペール・ギュント」より“朝”(詩の制作、朗読とオーケストラ)(8)</p> <p>CD等で事前に曲を聴きその感想を題材に児童生徒が詩を作成、その詩を朗読しオケと共演。</p> <p>●【子供との共演】ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッションでオーケストラと共演しオーケストラの音を体感!(15)(ネット、DVD参照)</p> <p>●【あなたもマエストロ!】選択(5)(感動!フルオーケストラを指揮するチャンスです)</p> <p>・ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章より</p> <p>・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番</p> <p>●【交響曲を聴いて見よう!】(8)(本格的交響曲鑑賞に挑戦!)</p> <p>チャイコフスキー:交響曲第4番へ短調 作品36 より“第4楽章”</p> <p>●各学校校歌(5)</p>		
			
	<p>「ボレロ」ボディパーカッション、オケと共演最後「ヤァー！」(今年度は「3密」を避けて)</p> <p>公演時間(約90分)</p>		
著作権	制作団体が所有	○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>公演を「他人事」と捉えず「自分事」として捉えられるよう、ソーシャルディスタンスを考慮しながらもオーケストラが客席の子供たちの近くまで出て行きます。楽器紹介は楽団オリジナルの「きらきら星変奏曲」の軽快なメロディーに乗り、各楽器が順に演奏します。楽器紹介のMCは当団楽団員が行います。バルトーク:ルーマニア民俗舞曲ではヴァイオリンソロ奏者が子供たちの近くまで行き演奏します。ビゼー:組曲「アルルの女」から“ファランドール”では、曲のリズムを作るプロヴァンス太鼓が子供達の近くでたたき、太鼓の迫力を感じてもらいます。コープランド:「市民のファンファーレ」では金管楽器、打楽器を体育館の3か所に配置し全体に響きをつくり、後ろの子供たちにも、奏者を配置し鑑賞時の会場の不公平感を解消します。(会場図添付) グリーグ:「ペール・ギュント」組曲から“朝”では曲の始まり約1分ではあらかじめ曲を聴き児童生徒が曲から受けたイメージから作成した詩を朗読します。「詩と音楽」という新たなジャンルに挑戦します。「ボレロ」のボディパーカッション(ボディパ)は、今年当団が作ったプログラム。客席を3つに分け、公演日当日にできるボディパを行い、会場の一体感を作り、最後は「ヤァ」の掛け声で元気に終わります。「あなたもマエストロ!」では指揮者体験をしてもらいます。オーケストラをドライブする楽しさを感じてもらいます。そしてオーケストラをじっくり聴いてもらう時間も作ります。ドラマティックなチャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章でオーケストラの魅力を感じてもらって終了します。</p>		

<p>演目選択理由</p>	<p>●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より「メインタイトル」(7)(ネット、DVD 参照) 誰でも知っている曲からスタート。オーケストラとの距離をグッと近づけます。</p> <p>●楽器紹介「きらきら星」に乗って演奏します。(15)楽器個々の特徴を楽しくお話をしながら説明し各楽器の音の個性を感じてもらいます。</p> <p>●バルトーク(アーサー・ウィルナー編曲):ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版)(6) 躍動感溢れるルーマニアの短い6曲の民俗舞曲を弦楽合奏で演奏します。ヴァイオリンソロ奏者が会場をソーシャルディスタンスを維持しながら移動し演奏することで、<u>ヴァイオリンや民俗音楽を身近に感じて</u>もらいます。</p> <p>●ビゼー:組曲「アルルの女」から「ファランドール」(4) 打楽器奏者がプロヴァンス太鼓をたたきながら会場内を移動し、<u>太鼓を体感</u>してもらいます。</p> <p>●「オーケストラの近くで聴いて見よう！」 インパクトの大きく迫力のある「運命」の1楽章を、オケの中でソーシャルディスタンスを空けて聴いてもらい<u>オケの迫力</u>を「通常聴けないような場所」で感じて頂きます。</p> <p><休憩>(10)</p> <p>●コーブランド:市民のためのファンファーレ(4) ファンファーレを担当するホルン群、トランペット群、トロンボーン・チューバ群、打楽器群を体育館の3か所に配置し、ソーシャルディスタンスを取り会場内広く使い子供たちの近くで演奏し<u>金管楽器の音を身近に</u>感じてもらいます。(図面添付)</p> <p>●グリーグ:組曲「ペール・ギュント」から”朝“ 清々しい朝の曲を事前 CD 等で児童生徒に聴いてもらい「詩」を作成してもらいます。その「詩」を本番時に朗読しオケと共演してもらいます。<u>「詩」と「音楽」で子どもたちの感性を育てます。</u></p> <p>●ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッションで共演！(15)(ネット、DVD 参照) 「ボレロ」の3つの基本リズムをボディパで体験してもらいます。その後、約3分に凝縮した「ボレロ」をボディパとオーケストラで共演し、短い時間の中で達成感を味わってもらいます。以前実施した小学校の先生からは、「当日初めて実施するプログラムとしては丁度いい」とお話をありました。</p> <p>●「あなたもマエストロ！」指揮者の仕事を体験し職業としての指揮者を擬似体験</p> <p>●「交響曲を聴いてみよう！」チャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章(12) 華やかで力強いオーケストラの音の魅力に触れ、<u>迫力ある本物のオーケストラの音を体感</u>してもらいます。</p> <p>●各学校校歌(5) 児童生徒の一番の”愛唱歌”校歌を歌いコンサートを締めくくります。 公演時間(休憩込み約90分・演奏時間は概ね授業2時限程度です)</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>「共演」は「ボレロ」のボディパーカッション(ボディパ)では、「ボレロ」では当日にできる簡単なボディパを行います。会場を大きく3つに分け、「指揮と足踏み」、「3拍子の頭打ち後打ち」、「小太鼓の細かいリズム」の3つに分け、各パートを体験後一つになり、オーケストラと共演し最後に「ヤァー！」の大きな掛け声で終わります(ネット、DVD 参照)。「あなたもマエストロ！」では、フルオーケストラを指揮する事で指揮する楽しさを体験してもらいます。「ペール・ギュント」”朝”からの「詩と音楽」では、事前に”朝”の音楽を聴きその感想から詩(言葉)を作成し言葉にする事で感性をより磨く事を目指します。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮者:高井優希【No.2 別紙メンバー表】 高井氏は、今年36才、昨年(2019年)5月共演した実績から、オーケストラのアンサンブルをまとめる力もあり楽団員からの評価もよく、子供たちに対しても明瞭な指示をはっきりした声で行うなど、この事業に適しており今回選抜致しました。DVD資料の指揮も高井氏です。中部フィルハーモニー交響楽団【No.2 別紙メンバー表】 (10型変則2管=弦10・8・6・5・4 管打3222-4331-4Hp)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者:59名(指揮者1名、楽員58名) 事務局:9名(事務局3名 大道具1名 ステージスタッフ3名 トラック2名) 合計: 68名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 2t 車長 4t:8.95m 2t:6.43m 台数 4t、2t各1台</p>

【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～10時	13時30分～15時	10分	15時～16時	16時10分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	約500人(ソーシャルディスタンスを取っていただいて)				
	本公演	約1000人(ソーシャルディスタンスを取っていただいて)				
ワークショップ (WS)実施形態 及び内容	<p>楽団員 6名以内で構成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本公演で公演する「スター・ウォーズ」からスタート ●各楽器をワンフレーズ毎に紹介 ●ボディパーカッション体験 米津玄師「パプリカ」で ●「あなたもマエストロ」での数人のアンサンブルのプチ指揮者体験。 ●チャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章を参加メンバーで 					
ワークショッ (WS)実施形態 の意図	<p>WSはコンサートに向けての事前体験学習と考えます。以下の点を主に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーケストラの構造、演奏曲を事前に知ることによってコンサートへの期待度を高めます。 ●WS用のボディパーカッションをまずは体験し、本番のボディパーへの道筋を作ります。 ●WSの少数のアンサンブルで指揮者を体験する事で、本番のフルオーケストラをイメージする。 ●WSの参加楽団員との交流で楽団員と楽団への興味を醸成する。 					
特別支援学校で の実施における 工夫点	特別支援学校の公演については、支援学校様の特性に合わせて個別にご相談をし、特に共演部分を慎重に実施できればと思います。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【No.2 別紙メンバー表】



© Masaaki Hiraga

指揮者 高井 優希 - たかい ゆうき - Yuki TAKAI

2015年、第4回黒海(コンスタンツァ)指揮コンクールにおいて第1位受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、ローマ・イタリア管弦楽団、コンスタンツァ国立歌劇場管弦楽団など、国内外のオーケストラと共演。幼少よりピアノを学び、成蹊高等学校卒業後、東京藝術大学指揮科およびメンデルスゾーン音楽演劇大学(ライプツィヒ)指揮科卒業。在学中に、イエナ・フィルハーモニー、ライプツィヒ交響楽団、ムジカーリッシェ・コメーディエ・オーケストラ(ライプツィヒ)、スイス・ロマンド管弦楽団楽団員によるアンサンブルなどを指揮。他にもこれまでに、東京二期会、藤原歌劇団、ニッセイオペラ、東京室内歌劇場、藤沢市民オペラなどのオペラ・オペレッタ公演でも副指揮者を務めた。2020年度セントラル愛知響アソシエイト・コンダクター、Ulrich Windfuhr、田中良和の各氏に指揮を師事。また、Jorma Panula、Colin Metters、Ervin Acél、小林研一郎、佐藤功太郎、小田野宏之、松尾葉子の各氏の薫陶を受ける。2016年より、武蔵野音楽大学講師も務める。

中部フィルハーモニー交響楽団 出演者 (予定)

指揮 高井優希

★コンサートマスター ☆アシスタントコンサートマスター

◎トップ奏者 ○副トップ奏者

1stViolin (10人)

★藤原 綾
★古井 麻美子
☆綾川 智子
片山 瑠央
加藤 絢子
加藤 和可子
森下 由貴
五十嵐 景子(客演)
亀谷 希恵(客演)
荒巻 理恵(客演)

2ndViolin (8人)

◎加藤 恵子
○長谷川 雪乃
清水 綾
清水 里佳子
原 沙登子
森 清泉
大崎 麻里(客演)
鈴木 理恵(客演)

Viola (6人)

◎石川 園恵
○葛西 麻弓子
加瀬 眞望子
祖父江 依子
中山 翔太
柿本 朱美(客演)

Cello (5人)

◎河井 裕二
○原 悠一
鈴木 康史
外山 純子
山田 真吾(客演)

Contrabass (4人)

◎望月 康宏
○早瀬 美紀
塚本 衣美(客演)
谷脇 友里恵(客演)

Flute (3人)

◎山村 歩
上田 花奈
岡本 卓也(客演)

Oboe (2人)

◎新田 祐子
宮澤 香おり

Clarinet (2人)

◎玉井 真紀子
北野 美幸

Fagott (2人)

◎北川 陽子
橋本 南海(客演)

Horn (4人)

◎舟橋 知奈美
古川 愛
森 隆一郎
山下 奈緒美

Trumpet (3人)

◎赤堀 裕之史
田中 誠剛
中家 亜里紗(客演)

Trombone (3人)

◎菅 貴登
高田 和響(客演)
大室 直樹(客演)

Tuba (1人)

井上 晃輔

Timpani&Percussion (4人)

◎小川 研一郎
田家 浩美(客演)
野々垣行恵(客演)
渡辺 有希子(客演)

Harp (1人)

神谷 知佐子(客演)

(以上59名・指揮者込み)



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

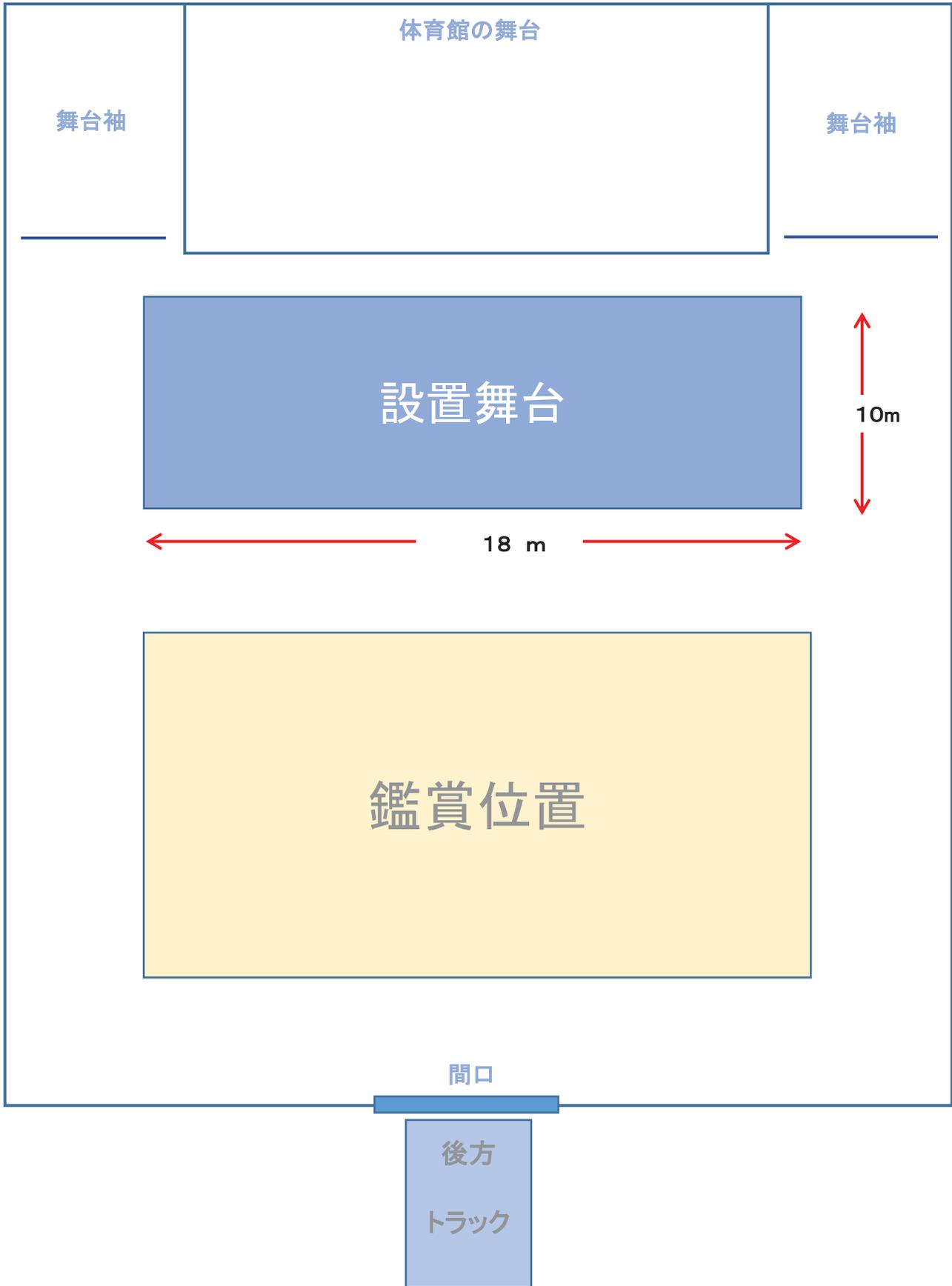
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	208	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	中部フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室 男女各1室とスタッフ用を着替えのためカーテン付きをお願いします。女性用が大きめをお願いします					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック1台	2トラック1台	大型バス 3台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック1台	2トラック1台				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			出来れば階段のない1階であれば望ましいです。雨を避けたいので屋根がある経路が望ましいです					
		理由			楽器が重量であることと、楽器が本来水分を嫌うため					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	4m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			150名～500名					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			フロアにオケを配置し、それ以外のスペースでソーシャルディスタンスをできれば空け可能であれば1000名程度まで可能					
	可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18	奥行	10	高さ	—	
	可				舞台袖スペースの確保 *		要			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態が望ましい			
	可				緞帳 *	要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	日光が演奏者の目に入るのを避けるため			
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	不可			ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									

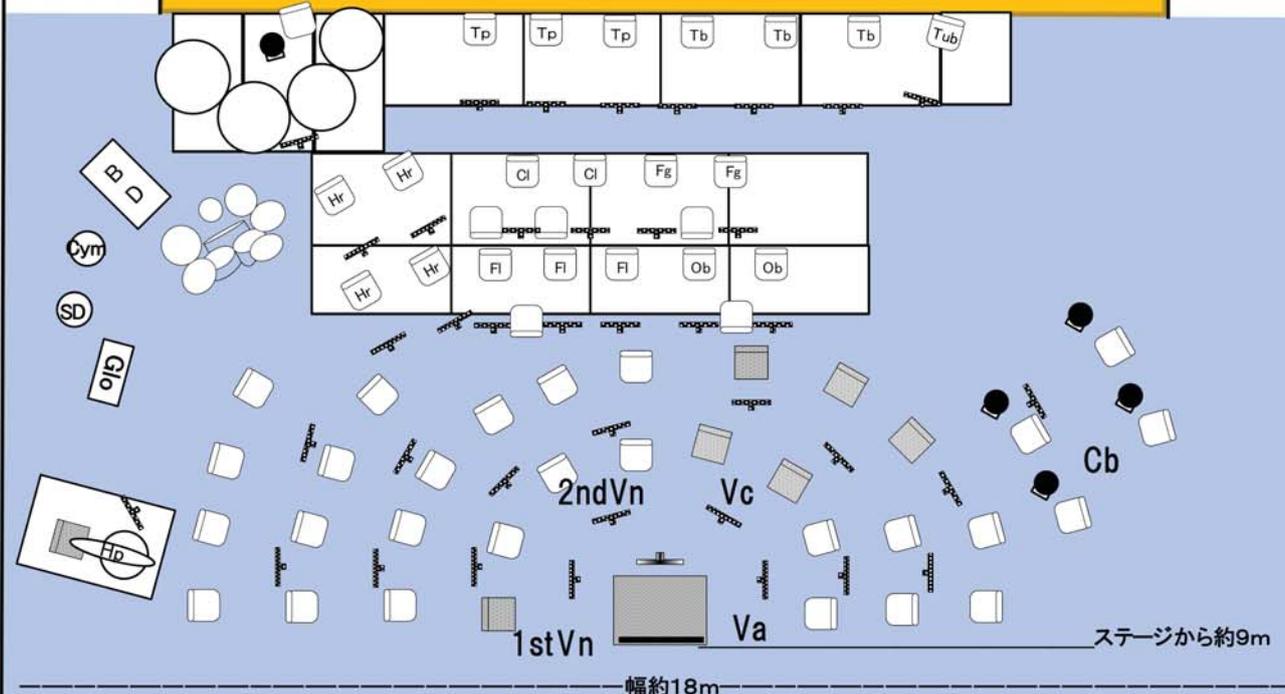
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	4m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

ステージ



児童・生徒の最前列
オーケストラから5mくらい

生徒・児童

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無 (該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他 ()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじんとうきょうこうきょうがくだん		
制作団体名	公益財団法人東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 澤田秀雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	本部) 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-23-5 (最寄り駅: JR 中央総武線「大久保」駅徒歩 2 分)		
電話番号	03-3362-6764	FAX番号	03-3360-8249
ふりがな	とうきょうこうきょうがくだん		
公演団体名	東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 澤田秀雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミュージア川崎セントラルタワー5階 (最寄り駅: JR 東海道線「川崎」駅徒歩 3 分)		
制作団体 設立年月	1946年4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	会長: 横川端, 理事長: 澤田秀雄, 副理事長 平澤創, 依田翼, 専務理事・楽団長: 大野順二, 常務理事・事務局長: 辻敏, 評議員長・最高顧問: 金山茂人, 理事 17 名, 評議員 9 名, 特別顧問 3 名, 監事 磯村文靖・寺西基之 編成局長: 藤原真, パーソネルマネージャー 大和田浩明, ステージマネージャー: 山本聡, 西岡理佐, チーフライブラリアン: 武田英昭 クラシックススペース★100: 甲田幹雄, 事務局: 伊藤瑛海, 尾木貴雄, 小川博司, 梶川純子, 桐原美砂, 佐藤雄己, 高瀬緑, 竹内裕子, 長久保宏太郎, 廣中憲士, 美濃部敦, 山田道子, クラシックススペース★100: 甲田幹雄	(1) 団体構成員: 楽員 82 名, (内契約 2 名, 研究員 4 名) 事務職員 17 名 (内準事務局員 1 名) アルバイト 13 名 (常勤 5 名, 非常勤 8 名) (2) 主な構成員: 音楽監督 ジョナサン・ノット 桂冠指揮者 秋山和慶, ユベール・スダーン 名誉客演指揮者 大友直人 特別客演指揮者 飯森範親 コンサートマスター グレブ・ニキティン, 水谷晃 アシスタント・コンサートマスター 田尻順, 廣岡克隆 (3) 加入条件: 楽員 公募によるオーディション 事務職 公募等による 試験・面接	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	美濃部敦
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	尾木貴雄

制作団体沿革	<p>1946年東宝交響楽団の名で創立され、1951年に東京交響楽団と改称して今日に至っている。歴代の指揮者には、近衛秀麿、上田仁がおり、1964年から秋山和慶が音楽監督・常任指揮者を40年間務めた後、2004年からはユベール・スダーンが10年間音楽監督を務めた。2014年から新体制となり音楽監督としてジョナサン・ノットを迎え、それまでも増して交響管弦楽の振興を先駆的なプログラムによって行っている。1956年4月財団法人として認可、2011年には内閣府から公益財団法人として認可された。現在、主な主催公演は文化庁文化芸術振興費補助金の助成対象事業となっている。</p> <p>1997年から新国立劇場の基幹オーケストラの一つとしてオペラ・バレエ公演を担当している。1998年に新潟市と準フランチャイズ契約を結び年間6回の定期公演などを行っている。2004年7月より川崎市のフランチャイズオーケストラとして、ミューザ川崎シンフォニーホールにて練習と公演を多く行っている。2013年には八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ協定を結び、各地域でのアウトリーチ活動にも強く力を入れている。2016年には創立70周年を迎え、記念演奏旅行としてヨーロッパ2016年欧州文化首都ブロッツワフ(ポーランド)を含む5か国5都市5公演を行った。2018年8月には日中平和友好条約締結40周年、日中文化交流年の文化庁委託事業として中国上海・杭州にて公演を行った。</p>		
学校等における公演実績	<p>平成23年度21公演、平成24年度16公演、平成25年度28公演、平成26年度19公演、平成27年度27公演、平成28年度34公演、平成29年度30公演、平成30年度30公演、平成31年度22公演</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>オーケストラ公演としては平成27年度1公演、平成28年度1公演、平成29年度2公演、平成30年度3公演、平成31年度(令和元年度)2公演。 室内楽形式での出演も多数行っている。</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京交響楽団】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生																														
企画名	オーケストラがあなたのまちにやってくる！ -東京交響楽団地域巡回演奏会-																														
本公演演目	<p><第1部> スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き) 協奏曲(モンティ:チャールダーシュ、モーツァルト:ファゴット協奏曲など) ※協奏曲のソリストにはできるだけ派遣地出身楽員を起用 (休憩15分)</p> <p><第2部> ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」から第1楽章 【★指揮者体験】ビゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【★生徒との共演】杉本竜一:BELIEVE(ビリーヴ)・訪問校校歌(オーケストラ編曲版) 外山雄三:管弦楽のためのラプソディ アンコール)久石譲:君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より)</p> <p>※★の2コーナーはご希望に沿って変更いたします。(新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した変更もこちらに該当します。)差し替える場合は主に下記の曲目を考えていますが、該当校との調整で決定いたします。</p> アンダーソン:トランペット吹きの休日 アンダーソン:シンコペーテッドクロック 黛敏郎:スポーツ行進曲 訪問校校歌(オーケストラ編曲版) 該当校吹奏楽部・器楽部などとの共演																														
原作/作曲 脚 本 演出/振付	公演時間(90分)																														
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる 有 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無																												
演 目 概 要	<p>2部構成で、前半の第1部ではオーケストラの各楽器に焦点を置き、後半の第2部ではその楽器が集まって作られる「オーケストラ全体の響き」を肌で感じられるプログラムで構成しています。</p> <p>第1部は『売られた花嫁』序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器・木管楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す音の緊張感が、日常から非日常への扉を開き、各体育館を劇場に変貌させます。「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれ一つずつを、ナレーション付きで紹介します。</p> <table border="0"> <tr> <td>①グループの紹介</td> <td>〈星に願いを〉</td> <td>⑧コントラバス</td> <td>〈イツ・ア・スモール・ワールド〉</td> </tr> <tr> <td>②フルート、ピッコロ</td> <td>〈ハイ・ティ・ド・ル・ティ・デー〉</td> <td>⑨ハープ</td> <td>〈イツ・ア・スモール・ワールド〉</td> </tr> <tr> <td>③オボエ、イングリッシュホルン</td> <td>〈ホル・ニュー・ワールド〉</td> <td>⑩ホルン</td> <td>〈美女と野獣〉</td> </tr> <tr> <td>④クラリネット</td> <td>〈狼なんか恐くない〉</td> <td>⑪トランペット</td> <td>〈チム・チム・チェリー〉</td> </tr> <tr> <td>⑤ファゴット</td> <td>〈ビビディ・バ・ビディ・ブー〉</td> <td>⑫トロンボーン</td> <td>〈ジップ・ディ・ドゥー・ダー〉</td> </tr> <tr> <td>⑥ヴァイオリン</td> <td>〈イツ・ア・スモール・ワールド〉</td> <td>⑬打楽器</td> <td>〈ミッキー・マウス・マーチ〉</td> </tr> <tr> <td>⑦ヴィオラ、チェロ</td> <td>〈いつか王子様が〉</td> <td>⑭トutti(全合奏)によるフーガ</td> <td>〈エレクトリカル・パレード〉</td> </tr> </table> <p>協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、派遣地域出身の楽員を起用する予定ですが、該当者がいない場合は、ワークショップに出演した奏者や、若い奏者など、生徒と共感を得やすいという視点から起用します。</p> <p>第2部はオーケストラの響きを存分に楽しむと同時に、「作曲家の歴史」や「音楽の地域</p>			①グループの紹介	〈星に願いを〉	⑧コントラバス	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉	②フルート、ピッコロ	〈ハイ・ティ・ド・ル・ティ・デー〉	⑨ハープ	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉	③オボエ、イングリッシュホルン	〈ホル・ニュー・ワールド〉	⑩ホルン	〈美女と野獣〉	④クラリネット	〈狼なんか恐くない〉	⑪トランペット	〈チム・チム・チェリー〉	⑤ファゴット	〈ビビディ・バ・ビディ・ブー〉	⑫トロンボーン	〈ジップ・ディ・ドゥー・ダー〉	⑥ヴァイオリン	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉	⑬打楽器	〈ミッキー・マウス・マーチ〉	⑦ヴィオラ、チェロ	〈いつか王子様が〉	⑭トutti(全合奏)によるフーガ	〈エレクトリカル・パレード〉
①グループの紹介	〈星に願いを〉	⑧コントラバス	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉																												
②フルート、ピッコロ	〈ハイ・ティ・ド・ル・ティ・デー〉	⑨ハープ	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉																												
③オボエ、イングリッシュホルン	〈ホル・ニュー・ワールド〉	⑩ホルン	〈美女と野獣〉																												
④クラリネット	〈狼なんか恐くない〉	⑪トランペット	〈チム・チム・チェリー〉																												
⑤ファゴット	〈ビビディ・バ・ビディ・ブー〉	⑫トロンボーン	〈ジップ・ディ・ドゥー・ダー〉																												
⑥ヴァイオリン	〈イツ・ア・スモール・ワールド〉	⑬打楽器	〈ミッキー・マウス・マーチ〉																												
⑦ヴィオラ、チェロ	〈いつか王子様が〉	⑭トutti(全合奏)によるフーガ	〈エレクトリカル・パレード〉																												

	<p>性」を同時に学ぶ事のできるプログラムを揃えています。交響曲「運命」ではベートーヴェンという作曲家がどのような人間で、いかなる辛さを乗り越え、そしてこの曲を作るに至ったかという作曲の背景を学んだうえで、それがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます。生徒が参加できるコーナーを挟んで、フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラプソディ」で締めくくります。アンコールで、子供たちに耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。</p> <p><u>生徒が参加できるコーナーについて</u></p> <p>指揮者体験コーナーでは指揮者の役割を学びつつ、実際に数人の代表者にオーケストラを指揮してもらいます。BELIEVE(ビリーヴ)ではオーケストラと一緒に共演することでその壮大なハーモニーを作ることの楽しさを提供します。また訪問校の校歌をオーケストラ編曲し、共演を行います。</p> <p>その他、吹奏楽部・器楽部との共演もご準備いたします。吹奏楽部との共演の場合は、事前ワークショップで部活動の指導も行います。</p>
<p>演目選択理由</p>	<p>多くの子供たちに「はじめてのオーケストラ体験」を提供できるこの機会を最大限に生かすため、以下の3つの理由を基に演目を選択いたしました。</p> <p><u>①生の音楽の響きを聴かせたい</u></p> <p>テレビや教科書で触れ合ったことのある曲目をプログラムに入れることで、スピーカーを通して聴く音と生のオーケストラの違いを認識できるように組みました。小編成やソロによる優しく繊細な響きから、床を伝わって感じ取ることのできる低音楽器の響き、そして体育館いっぱい奏でられるオーケストラヒットの響きなど、様々な響きを楽しむことができるように構成しています。</p> <p><u>②色々な楽器とその奏者を見てもらいたい</u></p> <p>「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では、ナレーションで楽器の説明をするだけでなく、オーケストラの奥に位置する楽器は見え易くするために立って演奏します。協奏曲ではその地域で育った楽員が、主人公たるソリストとして帰郷することで、生徒たちが将来の夢を大切に持ち、努力することの大切さを考えるきっかけにできるよう努めています。該当者がいない場合には、生徒が「共感」しやすい人を選定します。</p> <p><u>③作曲家と音楽を身近に感じてもらうため</u></p> <p>ベートーヴェンの交響曲「運命」は、音楽とその作曲家の精神的な部分に焦点を定めています。耳の聞こえなくなったベートーヴェンが苦難を乗り越えて、どのような音楽を作り上げたのかという提起を指揮者から生徒に投げかけます。この説明をした後に演奏することで、どのような表情の音楽が作り上げられるのか、それを「運命」で解説します。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p><u>①指揮者体験コーナー</u></p> <p>指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表3名にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。</p> <p><u>②みんなで歌おうのコーナー</u></p> <p>歌うために簡単な準備体操をした後、オーケストラ伴奏で BELIEVE(ビリーヴ)や校歌を全員で歌います。ワークショップ時にも事前練習を行い、オーケストラとの共演をより良いものができるように指導します。</p> <p><u>③その他</u></p> <p>床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、生徒から見て奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。</p> <p>また、吹奏楽部や器楽部の共演を希望する場合には、各校吹奏楽部の部員にとって一生懸命記憶するような「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で最高の公演にできるよう指導プログラムを準備いたします。</p>

出 演 者	指揮:大井剛史(ジャパン・アーツ所属アーティスト) ナレーションおよびソリスト:東京交響楽団の楽団員 管弦楽:東京交響楽団(2管12型編成) ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、チューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1 ファースト・ヴァイオリン(コンサートマスター1名含む)×12 セカンド・ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 69名 ス タ ッ フ: 11名 合 計: 80名	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 2t,4t 車 長 5m,8m 台 数 計2台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時30分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	少人数～全校生徒など、ご希望に応じます。 ※交流給食希望の場合は1クラスに2人参ります。				
	本公演	体育館にオーケストラを並べられれば、生徒は1人から1,000人までどれだけ入っていただいても構いません。				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>■実施形態及び内容</p> <p>出演:オーケストラの演奏者3人、指揮者1人、ピアニスト、司会の6人</p> <p>オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。</p> <p>①導入:オーケストラの自己紹介、コンサートマナーのお話し(5分)</p> <p>②楽器の造りや歴史のお話し、3分ほどの演奏、質問コーナー(15分×オーケストラ演奏者3名+ピアノ奏者10分)</p> <p>③ピアノ伴奏でビリーヴの練習(指揮者15分)</p> <p>※途中休憩10分～15分予定</p> <p>※吹奏楽部との共演を希望する学校の場合は、吹奏楽部指導をワークショップ当日に行います。</p> <p>■効果</p> <p>オーケストラを知らない子供たちにとっては、おそらくテレビの中だけの存在になっています。ワークショップにはオーケストラの楽員が訪問して、オーケストラで実際に使用される楽器や演奏する姿を見せることで、「身近に感じてもらうようにする」というのが一番の目的です。本公演が何倍も楽しみになるようにワークショップを行います。また、休憩時や交流給食の時に、吹奏楽部の生徒や音楽家が将来の夢としている生徒たちと触れ合うことで、今後の成長のきっかけとなれば幸いです。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	本公演と同じく、90分間の音楽鑑賞教室にすることもできるのですが、個として触れ合うことに重きを置いているため、生徒と楽員との接点が高くなるこの形態を選びました。出演者は全員マイクを持ち、全員が生徒たちに語り掛けます。質問コーナーなどでは会話をします。本公演がオーケストラという団体としての触れ合いであるのに対して、ワークショップは、個々で働きかけられることに努めます。					
特別支援学校での実施における工夫点	学校ごとによって普段の活動の様子を尋ね、その学校の希望に沿った形で提供できるようにしたいと考えています。ワークショップも本公演も、その学校にとって最高の内容にできるように、ヒヤリング結果に対して答えられる準備を致します。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ユベール・スダーン
特別客演指揮者	飯森範親
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆ 上田 仁 ◆ 遠山信二 ◆
名誉コンサートマスター	大谷康子
コンサートマスター	グレブ・ニキティン 水谷 晃
アシスタント・ コンサートマスター	田尻 順 廣岡克隆

会長	横川 端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤 創 依田 巽
専務理事	大野順二
常務理事	辻 敏
理事	阿部武彦 夏野 剛 池辺晋一郎 南部靖之 伊藤美樹 福川伸次 大橋 博 藤原 洋 岡崎哲也 増岡聡一郎 庄司 薫 竹中平蔵 永山 治
監 事	磯村文靖 寺西基之
評議員長	金山茂人
最高顧問	
評議員	梅沢一彦 星 久人 鷺海量明 松木康夫 片山泰輔 山添 茂 加藤英輔 横川 寛 西村 朗
特別顧問	飯島延浩 草壁悟朗 福田紀彦

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 加藤幸子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理
- 大和田ルース

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 塩谷しずか
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西応興 ●
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 松崎里絵

Cellos

- 伊藤文嗣
- 川井真由美
- 謝名元 民
- 蟹江慶行
- 樋口泰世
- 福崎茉莉子 *

Double Bases

- 回助川 龍
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子
- 笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏
- 八木瑛子 *

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 荒木奏美
- 篠崎 隆

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴェー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 大野雄太
- ジョナサン・ハミル
- 阪本正彦
- 加藤智浩 *
- 溝根伸吾 *

Trumpets

- 佐藤友紀
- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌

Trombones

- 鳥塚心輔
- 大馬直人
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 渡辺 功

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Harp

- 景山梨乃

Librarian

- ★武田英昭

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

荣誉団員

- 井伊 準 ◆

楽団長

- 大野順二

編成局長

- 藤原 真

パーソネル・マネージャー

- 大和田浩明

楽団委員

- 大野雄太 (議長)
- 福留史紘 (書記)
- 北村一平
- 鈴木浩司
- 多井千洋
- 藤井良太

事務局長

- 辻 敏

事務局

- 伊藤瑛海
- 尾木貴雄
- 梶川純子
- 桐原美砂
- 佐藤雄己
- 高瀬 緑
- 竹内裕子
- 長久保宏太郎
- 廣中憲士
- 美濃部 敦
- 山田道子
- 小川博司 *

名誉団友

- 深江泰輔 ◆ 三木晴雄

団友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃俐子
- 宇都 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 大埜展男
- 小川さえ子
- 荻野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加護谷直美
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 小林照雄
- 小林亮子
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 豊山 悟
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西依智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアンテ・ボーマン
- 前田健一郎
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺哲郎

○首席奏者 ○フォアシュビラー ●インスペクター 回客演首席奏者

■本部長 □部長 ★チーフ * 研究員・準事務局員 ◆故人 ◇新任

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ
<提携>公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団



公式サイト <http://tokyosymphony.jp>



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」「室内楽・合唱部門(東響コーラス)」をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮「マーラー:交響曲第10番&ブルックナー:交響曲第9番」が第31回「ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、「VRオーケストラ」や「LINEチケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートしたほか、2020年3月にニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴し注目を集めた。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」レギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げてきた。

また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的で開催。その募金は(公財)国際開発救済財団を通じて被災地に役立てられている。



©Nllkegam]

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. Mo. Nott and the Orchestra won the he Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In 2018, TSO launched "TSO Music & Video Subscription", first-ever digital project in Japanese Orchestras, which provides live-concert video and music as well as CD recording. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. In 2016, the Tokyo Symphony Orchestra celebrated its 70th anniversary and took a European tour including the concert at Musikverein Großer Saal in Vienna with Mo. Nott. In August 2018, in commemoration of the 40th anniversary of the Conclusion of the Treaty of Peace and Friendship between Japan and China, the Orchestra had concerts in Shanghai and Hangzhou and received high praise. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera. Through these activities, the orchestra has received most of Japan' s major music awards such as the Minister of Education Award, the Grand Prix of Kyoto Music Award, Mainichi Art Award, Agency for Cultural Affairs Art Award, Suntory Music Award and Kawasaki City Culture Award.

Since becoming the resident orchestra of the City of Kawasaki in 2004, a semi-resident orchestra agreement with the City of Niigata in 1999, and a partnership agreement with Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation in 2013, the orchestra has been enthusiastic for school concerts and community concerts. The Tokyo Symphony Orchestra has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東響交響楽団



音楽・動画配信サイト
「TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION」

1か月500円(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Brochure

Symphony

Symphony 2020年(令和2年)10月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト

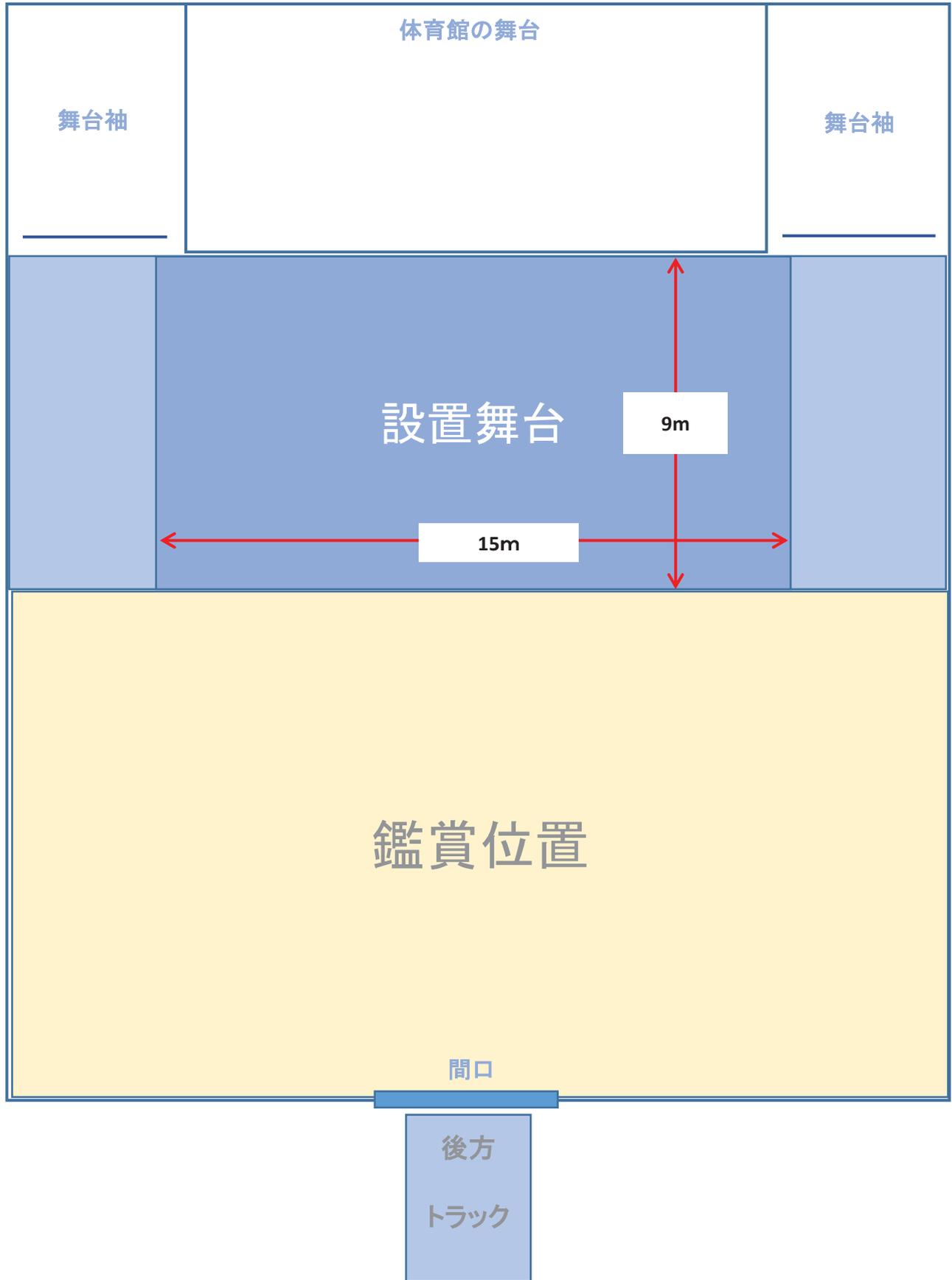
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	210	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	東京交響楽団				制作団体名	公益財団法人 東京交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	4室	条件	個室2室(指揮者、コンサートマスター)、大部屋2室(男性、女性)							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台	2tトラック 1台						
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tロングサイズ(一般的な4tサイズ)							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内							
	可	搬入経路の最低条件			雨天時・荒天時、搬入楽器等が濡れないこと。(仮屋根可)							
		理由			楽器の損傷を回避するため							
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば3階以上も可							
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m					
WSIについて	可	参加可能人数			特に制限なし							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(時間外での交流給食対応可)							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			フロアにオーケストラを並べられれば、それ以外の部分どこまでも入館していただいて構いません。							
	可	舞台設置場所 *			体育館ステージ前部9mまで							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	9m	高さ	なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				
	—				緞帳 *		不要		バトン *		不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。					
	可	ピアノの事前調律 *		不要								
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量							
	その他特記事項											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れいわ ねんど ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-



Jonathan Nott, Music Director

オーケストラがあなたのまちにやってくる

とうきょうこうきょうがくだん ちいきじゆんかい

東京交響楽団 地域巡回コンサート



© N. Ikegami

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-

わくに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え こども はっそうりよく
舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじょう
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的
としていきます。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな じつえん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演
では、できるだけ子供たちにもさんかしてもらいます。

▶ Program プログラム

スメタナ

歌劇『売られた花嫁』序曲

楽器解説

小室昌広編曲：ディズニーのメロディーによる管弦楽入門

ナレーション：美濃部 敦

協奏曲の楽しみ

モンティ：チャールダーシュ

独奏ヴァイオリン：鈴木浩司、独奏チェロ：蟹江慶行

ベートーヴェン

交響曲第5番「運命」から第1楽章

黛 敏郎

スポーツ行進曲

アンダーソン

トランペット吹きの休日

シンコペーテッドクロック

外山雄三

管弦楽のためのラプソディ

※学校によって演奏曲目は異なります。

▶ Program Note 曲目解説

♪ スメタナ：歌劇『売られた花嫁』序曲

チェコの民俗的な調べを多く取り入れる作風で知られるスメタナ(1824-1884)の代表的な歌劇(オペラ)の序曲(開幕の音楽)です。この歌劇はとても快活なリズムやメロディーがちりばめられた作品で、序曲の中でもとても忙しそうに演奏したり、ゆったりアンサンブルしたりするなど、多くの表情が込められています。これから始まるオーケストラのコンサート、開幕のわくわく感を楽しんでください。

♪ 楽器解説 小室昌広編曲：「ディズニーのメロディーによる管弦楽入門」

「オーケストラ」を日本語にすると管弦楽といいます。この曲ではオーケストラの中にある楽器をみなさんがよく知っているディズニーのメロディーで順番に紹介します。どんな楽器があるか、目で見て耳でよく聴いてみてください。

♪ モンティ：チャールダーシュ

協奏曲は独奏楽器(ソロ楽器)と管弦楽のために作曲された曲のことを指します。ソリスト(独奏楽器の奏者)と指揮者とオーケストラが、お互いにコミュニケーションを取りながら一つの曲を作り上げていく様子を、それぞれお楽しみください。

イタリアの作曲家モンティ(1868-1922)の作曲したチャールダーシュはハンガリーのメロディーを取り入れた曲で、ヴァイオリンの音色をゆったりと楽しめる前半と、快活な後半に分かれています。

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェン(1770-1827)は30歳過ぎにはほとんど耳が聞こえなくなりましたが、強い精神力でこの苦しみを乗り越え、生涯で9つもの交響曲を作りました。この交響曲第5番は38歳の時に完成しました。この曲は全体で4つの楽章があり、すべて演奏すると35分ぐらいの演奏時間ですが、今日はその中から第1楽章を演奏します。ベートーヴェンは出だしの4つの音について「このように運命は扉をたたく」と言ったと伝えられています。作曲家でありながら耳の聴こえない事の辛さを正面から受け止め、それに負けまいとする強い姿が、この曲の様々な場面で表れています。

黛敏郎：スポーツ行進曲

戦後日本の音楽普及に尽力した黛敏郎(1929-1997)はクラシック音楽からテレビやラジオで親しめる曲まで様々な作品を発表しました。このスポーツ行進曲は、今でもテレビのスポーツ番組やバラエティ番組でよく耳にする音楽です。東京オリンピックは来年に延期されましたが、来年はテレビから多くこの音楽を耳にすることでしょう。

アンダーソン：トランペット吹きの休日、シンコペテッドクロック

アメリカの作曲家、アンダーソン(1908-1975)はとても軽快で心弾む音楽や、親しみやすいメロディーでとても人気を博した作曲家です。クラシック音楽とポップス音楽が溶け合った作品はオーケストラのみならずバンドミュージシャンによっても取り上げられることが多く、日本でも小学校・中学校の給食や掃除の音楽としてもよく聴かれています。ひょっとしたら、あなたの学校でもよく耳にする音楽かもしれません。

外山雄三：管弦楽のためのラプソディ

この曲は現代日本を代表する作曲家・外山雄三(1931-)の代表作で、50年以上も前、日本のオーケストラが海外演奏旅行をする際に、「日本人が心の中に持っている音楽やリズム」を知ってもらうために作られました。「あんたがたどこさ」「ソーラン節」「串本節」「信濃追分」「八木節」などの旋律が芸術的にアレンジされ、また和太鼓やチャンチキなど日本の楽器も使われて、日本らしさを表現しています。「ラプソディ」とは日本語で「狂詩曲」と言い、様々なメロディーや楽曲を自由につなげて一つの曲に仕上げた作品を指します。

知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

▶ Profile プロフィール

指揮：大井 剛史 Takeshi Ooi / Conductor

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、若城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラプチェフスキーの各氏から指導を受ける。東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



独奏ヴァイオリン：鈴木浩司 Koji Suzuki / Violin

愛知県立芸術大学卒業。2008年神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団、2012年から2016年まで同楽団のフォアシュペーラーを務める。2007年JTアートホールアフィニス主催「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」に出演。2011年アジアフィルハーモニー管弦楽団の韓国、日本、中国公演に参加。2012年「みなとみらいクラシック・クルーズ Vol.1.37」に出演。アフィニス夏の音楽祭に2014、2015年と参加。また、弦楽アンサンブル「石田組」の公演に多数出演など、精力的に幅広く演奏活動に取り組んでいる。これまでに、篠崎永育、篠崎美樹、故山本由香子、大谷康子、服部芳子、Ewald Danelの各氏に師事。



独奏チェロ：蟹江慶行 Yoshiyuki Kanie / Cello

菊里高等学校音楽科、東京芸術大学音楽学部器楽科および同大学院卒業。第21回クラシック音楽コンクール弦楽器部門高校の部第2位。第68回全日本学生音楽コンクール第2位。宗次弦楽四重奏コンクールにて第3位、及びハイドン賞受賞(課題曲賞)。第8回秋吉台コンクール弦楽四重奏部門第1位受賞。ぎふ・リスト音楽院アカデミー、霧島国際音楽祭、秋吉台ミュージック・セミナーに参加。これまでに、O.ドルガーヤ、林良一、高木俊彰、山崎伸子、中木健二に師事。



管弦楽：東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開、教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ58都市78公演を行う。さらに「V Rオーケストラ」や「LINEチケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽動画配信サービス『T S O MUSIC & VIDEO SUBSCRIPTION』をスタートするなど、I Tへの取り組みも音楽界をリードしている。音楽監督にジョナサン・ノット、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人、特別客演指揮者に飯森範親を擁する。



©N.Ikegami

公式サイト：<http://tokyosymphony.jp/>

(先生・保護者・地域の皆様へ)右のQRコードをスマートフォンで読み取ると、東京交響楽団のウェブサイトをご覧いただけます。→



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, ○オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。 ○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。) ○あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 ○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんおおさかしおんがくだん ----- 公益社団法人 大阪市音楽団		
代表者職・氏名	代表理事 石井徹哉		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒559-0022 大阪府大阪市住之江区緑木1-4-138 (Osaka Metro 四つ橋線北加賀屋駅)		
電話番号	06-6684-2130	FAX番号	06-6686-3377
ふりがな 公演団体名	おおさかしおんういんどおーけすとら ----- Osaka Shion Wind Orchestra		
代表者職・氏名	楽団長 石井徹哉		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒559-0022 大阪府大阪市住之江区緑木1-4-138 (Osaka Metro 四つ橋線北加賀屋駅)		
制作団体 設立年月	平成 25 年 12 月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 石井徹哉 理事 池田勇人、長谷行康、 池末浩規、喜多弘悦、 木村 隆、西上雅章、 延原弘明、和沙哲郎	理事:9名、監事1名、正会員:6名、顧問1名、 楽団員32名、事務職員10名 加入条件:オーディション等による	
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	石井徹哉
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	石井徹哉

制作団体沿革	<p>大正 12(1923)年 元陸軍第四師団軍楽隊有志により「大阪市音楽隊」を結成。 昭和 9(1934)年 大阪市直営の楽団となる。 昭和 21(1946)年 大阪市音楽団と改称。 昭和 48(1973)年 大阪文化祭賞を受賞。 昭和 54(1979)年 大阪芸術賞(府・市)を受賞。 昭和 56(1981)年 市音楽団事務所・練習場を天王寺公園内から大阪城公園内へ移転。 昭和 63(1988)年 日本民間放送連盟賞・ラジオ番組娯楽部門最優秀賞を受賞。 平成 26(2014)年 大阪市直営から「一般社団法人 大阪市音楽団」として民営化。 平成 27(2015)年 楽団名称を「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra (通称 Shion)」と改称。 平成 30(2018)年 「一般社団法人大阪市音楽団」から公益社団法人化。</p>		
学校等における 公演実績	<p>昭和 38(1963)年より吹奏楽普及のため、学校の体育館や施設などにて児童・生徒のための公演を実施してきました。開始当初は年間 20 公演程度の公演数が、昭和 50 年代には年間 80 公演を超える回数となりました。また、児童・生徒への情操教育の一貫として、音楽専用ホールにて鑑賞ができるように、現在大阪市内において、合同音楽鑑賞会として実施しています。また、近くにホールがない学校に対しては、従来とおり体育館などでの演奏活動も続けています。</p> <p>近年の学校公演の実績</p> <p>平成 26(2014)年度 「合同音楽鑑賞会」プログラム 26 公演(参加 119 校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 26 公演。</p> <p>平成 27(2015)年度 「合同音楽鑑賞会」プログラム 10 公演(参加 44 校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 20 公演</p> <p>平成 28(2016)年度 「学校訪問型鑑賞会」プログラム 20 公演、「合同音楽鑑賞会」プログラム 18 公演、「長野県長野市小中学校学校巡回公演」</p> <p>平成 29(2017)年度 「合同音楽鑑賞会」プログラム 12 公演、「長野県松本市小中学校学校巡回公演」</p> <p>平成 30(2018)年度 「合同音楽鑑賞会」プログラム 12 公演</p> <p>平成 31(2019)年度 「合同音楽鑑賞会」プログラム 12 公演</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 26(2014)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会)</p> <p>平成 27(2015)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会)</p> <p>平成 28(2016)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会)</p> <p>長野県長野市小中学校巡回公演(長野ろう学校、若槻養護学校、長野盲学校)</p> <p>平成 29(2017)年度 長野県松本市小学校巡回公演(松本ろう学校、松本養護学校、寿台養護学校、松本盲学校)</p> <p>平成 30(2018)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会)</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ ○無</p> <p>○有 ・ 無</p> <p>https://youtu.be/Ne9MT3RzZJM https://youtu.be/eQ4eV_3xpF8</p> <p>ID: PW:</p>
	A の提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra】

対 象	○小学生(○低学年 ・ ○中学年 ・ ○高学年) ・ ○ 中 学 生
企画名	吹奏楽って何だろう?～管楽器・打楽器の特徴と役割から音階のお話まで～鑑賞から楽しく学び取ろう!【小学生(低学年・中学年)向けおよび、小学生(高学年)・中学生向け】
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>【小学生(低学年・中学年)向けプログラム】</p> <p>1. 行進曲「ブロック M」/J.H.ビリック(3'00")</p> <p>2. 戦いの組曲より カンツォーン・ベルガマスク/S.シャイト(2'30")※立奏 金管五重奏(2Tp.、Hn.、Tb.、Tub.)</p> <p>3. ディヴェルティメント第8番より 第4楽章/W.A.モーツァルト(1'30")※立奏 木管五重奏(Fl.、Ob.、Cl.、Fg.、Hn.)</p> <p>●楽器のお話</p> <p>4.～楽器紹介～(6'00")※立奏 金管・木管・コントラバスの中から数種類紹介した後、打楽器(シロフォン)の独奏曲へ。 サーカスの思い出(シロフォン独奏)/G.ペーター(W.カーリシュニヒ編)(3'00")※立奏</p> <p>●鑑賞パート</p> <p>5.組曲「惑星」より ジュピター讃歌/G.ホルスト(J.デメイ編)(2'30")</p> <p>6.行進曲「威風堂々」第1番/E.エルガー(A.リード編)(6'30")</p> <p>【休憩】(15'00")</p> <p>●音階のお話～東洋(東方)の民族音楽～ 四七抜き音階(呂音階)を学ぼう!※雅楽の呂旋法ファとシを抜いている。(物乞いの歌)ドレミソラド</p> <p>7.ペルシャの市場にて/A.W.ケテルビー(6'30")</p> <p>●参加パート(※新型コロナウイルス対策のため、スタッフが手渡し時に手袋を着用等、安全面に最大限配慮いたします。使用後の指揮棒は参加者全員へプレゼント。)</p> <p>8.指揮者体験コーナー(生徒3名程度)+教員1名(8'00") 歌劇「カルメン」より 前奏曲/G.ビゼー(高昌帥 編)</p> <p>●楽しみながら聞きましょう～パフォーマンスを鑑賞～</p> <p>5 種類のサクソフォン紹介と、多様なジャンル(カントリー音楽、バラード、音頭、ショー・チューン)のアレンジ。</p> <p>9.見上げてごらん夜の星を～ファイブ・サククス・コンチェルト/いずみたく&L.アンダソン (宮川彬良 編)(6'00")</p> <p>●手拍子で参加しよう</p> <p>10. 宝島/和泉宏隆(真島俊夫 編)(4'00")※T-SQUARE のヒット曲を楽しいラテンのリズムにアレンジ。</p>

11.アンコール:東京オリンピックマーチ/古関裕而(4'30")または校歌

【小学生(高学年)・中学生向けプログラム】

1. 戦いの組曲より カンツォーン・ベルガマスク/S.シャイト(2'30")※立奏
金管五重奏(2Tp.、Hn.、Tb.、Tub.)

2. ディヴェルティメント第8番より 第4楽章/W.A.モーツァルト(1'30")※立奏
木管五重奏(Fl.、Ob.、Cl.、Fg.、Hn.)

●楽器のお話

3.～楽器紹介～(6'00")※立奏

金管・木管・コントラバスの中から数種類紹介した後、打楽器(シロフォン)の独奏曲へ。

サーカスの思い出(シロフォン独奏)/G.ペーター(W.カーリシュニヒ編)(3'00")※立奏

●音階のお話～東洋(東方)の民族音楽～

・アラビア音階(ドレミファソラトシド)を学ぼう!

4.歌劇「サムソンとデリラ」からバッカナール/C.サン＝サーンス(L.D.スタイガー編)
(7'30")

●鑑賞パート

5.交響曲 第1番「指輪物語」から 第1楽章 魔法使いガンダルフ/J.デメイ(6'00")

【休憩】(15'00")

・多楽章の曲を聴くときのマナーを知ろう!(曲間の拍手なく間合いや余韻を感じる)

6.吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 作品28a/G.ホルスト(10'00")

第1楽章 シャコンヌ、第2楽章 インテルメッツォ、第3楽章 マーチ

●参加パート(指揮棒無し。※新型コロナウイルス対策のため。使用する場合は参加者全員へプレゼント。)

7.指揮者体験コーナー(生徒3名程度)+教員1(8'00")

歌劇「カルメン」より前奏曲/G.ビゼー(高昌帥 編)

●楽しみながら聞きましょう～パフォーマンスを鑑賞～

5 種類のサクソフォン紹介と、多様なジャンル(カントリー音楽、バラード、音頭、ショー・チューン)のアレンジ。

8.見上げてごらん夜の星を～ファイブ・サククス・コンチェルト/いずみたく&L.アンダーソン
(宮川彬良 編)(6'00")

●手拍子で参加しよう

9. 宝島/和泉宏隆(真島俊夫 編)(4'00")※T-SQUARE のヒット曲を楽しいラテンのリズムにアレンジ。

10.アンコール:東京オリンピックマーチ/古関裕而(4'30")または校歌

公演時間(各 90 分)

	著作権	制作団体が 所有	○ 制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>【行進曲「ブロック M」/J.H.ビリック】 ブロック M の「M」とは作曲者の母校、アメリカのミシガン大学の頭文字で、アメリカン・フットボールのハーフタイムで、マーチングバンドの人文字によって描かれる「M」からつけられた。快活なテンポと、近代的和声が特徴です。</p> <p>【戦いの組曲より カンツォーン・ベルガマスク/S.シャイト】 金管五重奏 ドイツ初期バロックを代表する作曲家シャイトにより 1621 年に出版された 4、5 声部による器楽のための舞曲集の中の 1 つ。後の J.S.バッハにも影響を与えたオルガン曲の作曲家としても有名で、この楽曲でも「フーガ」の技法が使われています。</p> <p>【ディヴェルティメント第 8 番より 第 4 楽章/W.A.モーツァルト】 木管五重奏 18 世紀フランスで流行したコントルダンス風のロンド形式を持つ楽曲で、もともとは、2 本のオーボエ、ホルン、ファゴットのための六重奏曲を、フルート、クラリネットを加えた、木管五重奏の形式に編曲された楽曲です。</p> <p>【サーカスの思い出(シロフォン独奏)/G.ペーター(W.カーリシュニヒ編)】 ヨーロッパではニューイヤークンサートのアンコールに使われるほど有名な楽曲です。学校でも扱う身近な木琴(シロフォン)がオーケストラの伴奏で立派なソロ楽器として大活躍します。</p> <p>【組曲「惑星」より ジュピター讃歌/G.ホルスト(J.デメイ編)】 組曲「惑星」の木星の有名な中間部の旋律をモチーフとして、数多くの吹奏楽曲を作曲しているヨハン・デメイが、短いながら壮大なクライマックスへと導かれる楽曲にアレンジした曲です。吹奏楽特有の管楽器のハーモニーの美しさを持っています。</p> <p>【行進曲「威風堂々」第 1 番/E.エルガー(A.リード編)】 クラシックの名曲であるエドワード・エルガーの「威風堂々」第 1 番を、吹奏楽界の巨匠アルフレッド・リードの編曲により、管楽器の躍動感と重厚感が見事に表現された楽曲です。</p> <p>【ペルシャの市場にて/A.W.ケテルビー】 ペルシャ絨毯でも有名な中東にあるペルシャ(現イラン)の市場に起こる様々な情景が描かれた曲(情景描写曲)。商品をラクダに乗せて砂漠を渡って来る商人のキャラバン隊の到着した市場では、蛇使いの笛、物乞いをする者の声や、王女の到来を表す優美なメロディーなど様々なシーンが音で流れてきます。</p> <p>【歌劇「サムソンとデリラ」からバックナール/C.サン＝サーンス(L.D.スタイガー編)】 「バックナール」の語源は、ローマ神話に出てくる酒の神「バックス」に由来し、そのバックスを称える酒宴の踊りが「バックナール」と呼ばれています。冒頭、ヘブライ的旋律と呼ばれるアラビア風で妖艶なオーボエの独奏から始まり、その後、リズムカルな舞踏を想像させる旋律や情緒的で美しい旋律が続き、最後にアラビア風の旋律を再度歌い上げ、激しく加速しながら曲を終わります。</p> <p>【交響曲 第 1 番「指輪物語」から 第 1 楽章 魔法使いガンダルフ/J.デメイ】 イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンのファンタジー小説『指輪物語』を題材に、作曲された、デメイの最初の本格的な作曲作品で、主要な登場人物である灰色の魔法</p>			

使いガンダルフを描いた楽章。ファンファーレに続いて、賢明で高潔なガンダルフの主題が現れる。アレグロ・ヴィヴァーチェでは愛馬『飛蔭(とびかげ)』に跨り疾走する様子がスピード感豊かに描かれています。

【吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 作品 28a/G.ホルスト】

1948年に出版された原典版では最小19名で演奏することができる、吹奏楽の名曲中の名曲です。全3楽章から成り、第1楽章の冒頭の主題が全楽章同一のフレーズとして構成されているため、なるべく間を空けず連続で演奏するよう作曲者自身が指示をしています。

【歌劇「カルメン」より前奏曲/G.ビゼー(高昌帥 編)】

オペラの冒頭、第1幕への前奏曲です。冒頭の力強いメロディーは第4幕の「行進の音楽」から引用されています。指揮体験をしてもらうために中間部の穏やかなフレーズ(第2幕から引用)「闘牛士の歌」をカットし約半分のサイズに縮めています。

【見上げてごらん夜の星を～ファイブ・サクソ・コンチェルト/いずみたく&L.アンダーソン(宮川彬良 編)】

多様な音楽形式に対応する吹奏楽編曲に、ノリの良いサクソフォン奏者たちの快活なソロを競い合うパフォーマンス演出の付いた楽曲。
最後に出てくるソプラニーノ・サクソフォンの音色を生で聴く機会は希少です。

【宝島/和泉宏隆(真島俊夫 編)】(共演可)

日本のフュージョン・バンド T-SQUARE のヒット曲を、吹奏楽のオリジナル作品を数多く作曲している真島俊夫が、楽しいラテン調のリズムにアレンジした、吹奏楽界で高い人気のある楽曲です。中間部にアルト・サクソフォンのソロや、トランペット、トロンボーンによるソロも現れます。

【東京オリンピックマーチ/古関裕而】

1964年に開催された東京五輪の開会式での入場行進のため、委嘱により作曲された行進曲。2021年の東京五輪に向けNHKの連続テレビ小説「エール」でも作曲者の功績に至る過程が取り上げられるなど再び注目されています。

【校歌(選択式)】

各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。

演目選択理由

【行進曲「ブロック M」/J.H.ビリック】

吹奏楽の代名詞である「マーチ」。数多くの作品の中で、コンサートマーチとして人気が高く、軽快なトランペットのファンファーレで開始する爽やかなこの曲は、小学生(低学年・中学年)向けプログラムのオープニングを飾る曲目として、吹奏楽とはどういう音楽であるかを分かりやすく伝えるとともに、楽器に対する興味を掻き立てる効果が期待できます。

【戦いの組曲より カンツォーン・ベルガマスク/S.シャイト】

金管楽器の紹介曲として、1621年ドイツ初期バロック時代を代表する作曲家の作品に触れることで、金管楽器本来の響きや役割を容易に学ぶことができます。また、2本のトランペット、ホルン、トロンボーン、チューバによる、まるで戦っているかのように交互に旋律を演奏する「フーガ形式」で、ステレオ的な音響効果による各楽器のやり取りが、この曲のおもしろさの1つとなっており、各楽器の音色の違いを聴き分けるのに適しています。

【ディヴェルティメント第8番より 第4楽章/W.A.モーツァルト】

木管楽器の紹介曲として、18世紀に用いられた管楽アンサンブルの音楽より、1775年にザルツブルク大司教の食卓音楽として3つの管楽器のための六重奏曲として書かれたモーツァルトの作品を取り上げました。木管五重奏にアレンジしてあるため、金管楽器とは違う各々独立した発音体を持つ5種類の楽器の単独の音色とハーモニーの美しさを聴き取り、音色の違いを理解するのに適しています。

【サーカスの思い出(シロフォン独奏)/G.ペーター(W.カーリシュニヒ編)】

小学校の鼓笛隊などや授業でも使用される木琴(シロフォン)が、オーケストラの伴奏で超絶技巧となる高速パチさばきを披露する楽曲です。身近な楽器に対する新たな可能性の発見することで、演奏意欲や興味をより高める効果が期待されます。

【組曲「惑星」より ジュピター讃歌/G.ホルスト(J.デメイ編)】

吹奏楽作曲家として数々の名曲を作曲しているヨハン・デメイが、ホルストの書いた組曲「惑星」より木星の有名な中間部のメロディーをモチーフに書いた楽曲です。実際の惑星の中でそうであるように、「木星」は組曲「惑星」の中で最もスケールの大きい楽曲で、特に中間部はイギリスの愛国歌「祖国よ、我は汝に誓う」という歌になっているほどの美しさがあります。

このアレンジではコラール風に始まり、徐々に楽器を増しながらハーモニーを広げていき、重厚感ある感動的なエンディングへと到達します。吹奏楽の響きを理解する導入曲として小学生にもわかりやすい選曲としております。

【行進曲「威風堂々」第1番/E.エルガー(A.リード編)】

吹奏楽のルーツである金管バンドの聖地イギリスを代表する作曲家エドワード・エルガー作曲の「威風堂々」第1番は、トランペットのファンファーレから始まり、中間部に「イギリス第2の国家」としても有名な旋律を持ちます。

吹奏楽界の巨匠アルフレッド・リードのアレンジにより、吹奏楽の持ち味を全面に出した壮大な曲となっています。

【ペルシャの市場にて/A.W.ケテルビー】

小学校の鑑賞教材として用いられる楽曲で、情景描写曲として、様々な登場人物や市場の様子が明確に書き分けられており、冒頭の砂漠の遠方からキャラバンが駱駝に乗って近づくシーンの音楽ではじっくりと耳を傾けるところから始まる等、様々な情景を音楽で表現した秀逸作品として、聴き手の想像力を引き上げる効果が期待できるため選曲いたしました。今回は、物乞いの歌に使用される四七抜き音階(呂音階)の題材として聴いていただきます。

【歌劇「サムソンとデリラ」からバッカナール/C.サン＝サーンス(L.D.スタイガー編)】

フランスのオペラ作品の紹介であるとともに異国情緒溢れる特徴的なアラビア音階が使われるこの楽曲を、鑑賞教材として選曲いたしました。場面転換など楽曲の構成としても優れた作品であることから、じっくりと作品にのめり込んで鑑賞することができ、印象的なメロディーが長く記憶に残ることが期待できます。

【交響曲 第1番「指輪物語」から 第1楽章 魔法使いガンダルフ/J.デメイ】

イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンのファンタジー小説『指輪物語』を題材に、作曲された、デメイの最初の本格的な作曲作品。全5楽章から成る交響曲の大曲の中から第1楽章を取り上げ、交響曲の導入としても、小学生(高学年)・中学生にも親しみやすく、理解しやすい題材となっています。

【吹奏楽のための第1組曲 変ホ長調 作品28a/G.ホルスト】

吹奏楽の名曲10選に入る名曲であり、多楽章形式の曲として鑑賞マナーを学ぶ教

	<p>材としても3楽章で10分程と適している点におきまして選曲いたしました。各楽章にあるホルスト特有の甘美な同フレーズのメロディーは、繰り返し演奏され、いつまでも記憶にとどまります。楽章間の“間”や“余韻”を含め、全体を通して鑑賞するマナーを学ぶ良い機会を与えます。</p> <p>【歌劇「カルメン」より前奏曲/G.ビゼー(高昌帥 編)】 初心者でも振りやすい2拍子の楽曲の中でも、自身がイメージしている楽曲のテンポと指揮をする時の手の動きをより具体的に想像しやすいように、学校の授業や、テレビでも取り上げられている、耳馴染みのある楽曲としてこの曲を選曲しました。</p> <p>【見上げてごらん夜の星を～ファイブ・サクソ・コンチェルト/いずみたく&L.アンダーソン(宮川彬良 編)】 聴いて、見て楽しむエンターテイメントとしての音楽を、鑑賞会の締めくくりとして選曲することで、いつまでも心に残る楽しい思い出となっただけのよう、パフォーマンス要素のあるこの楽曲を選曲いたしました。</p> <p>【宝島/和泉宏隆(真島俊夫 編)】(共演可) 日本のフュージョン・バンド T-SQUARE のヒット曲を、吹奏楽のオリジナル作品を数多く作曲している真島俊夫が、楽しいラテン調のリズムにアレンジし、吹奏楽界で高い人気がある楽曲です。とてもノリが良く、自然に手拍子ができることから選曲いたしました。また、希望により鼓笛隊や金管バンド、吹奏楽部、軽音楽部との合同演奏が可能です。</p> <p>【東京オリンピックマーチ/古関裕而】 2021年に東京オリンピックが開催される事で、2020年春からNHK連続テレビ小説で本曲の作曲者をモデルとした「古山裕一」が主人公のドラマ「エール」が放送されていることもあり、日本人作曲家の吹奏楽オリジナル作品としての楽曲を紹介するため、公演演目に選曲いたしました。</p> <p>【校歌(選択式)】 各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。自分たちの校歌が吹奏楽による、豪華な伴奏で合唱する事で、子ども達の心に残る機会を作ります。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。</p>		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	体験・参加型プログラムとして 1.指揮者体験:代表生徒に実際の指揮を体験し、音楽の構造と関わりを学びます。 2.校歌(選択式):当団の伴奏で合唱し、参加者全員で一つの音楽を作る体験をします。 3.吹奏楽部との共演(選択式):当団演奏の中に入り一緒に演奏を行い、曲想と音楽の構造との関わりについて学びます。		
出 演 者	指揮:堀俊輔 吹奏楽:オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 47名 スタッフ: 5名 合計: 52名	機材等 運搬方法	積載量 4t 車長 8.3m 台数 1台

【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・○無) 会場設営の所要時間(1 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	11 時	11 時～12 時 30 分	13 時 30 分～15 時	15 分	15 時～16 時	16 時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	500 名程度(体育館の場合はその広さに応じて)				
	本公演	2,000 名程度(体育館の場合はその広さに応じて)				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>時間を大きく2コマに分け実施します。</p> <p>本公演のテーマである「吹奏楽」を理解していただくため、前半に管楽器の構造や成り立ちを実演奏やスライド映像を交え、分かりやすく説明しながら、音の出る仕組みを学び吹奏楽で使用される楽器について学びます。写真やイラストで楽器の形や名前を覚えていただく事で、本公演で実際の楽器を目にした時の印象は大きく異なります。</p> <p>後半では公演で聴く楽曲の説明や作曲された背景を学びます。また、聴き所を実演奏やスライドを交えてわかりやすく説明し本公演に向けてより興味を持って聴けるような準備をいたします。</p> <p>最後に楽団員によるアンサンブル演奏を実演し、小編成ながらも、合奏の仕組みを実際に感じてもらい、本公演への関心を高めます。</p> <p>また、ワークショップから本公演までの期間中、課題を一つ決め、取り組んでいただきます(例として本公演の演奏曲を毎日昼休みに流すなど、当楽団の演奏 CD を授業で聴いておく。指揮者コーナーの練習、全員合唱の練習など)。</p> <p>これにより児童、生徒のモチベーションが上がり本公演までの期間が生きたものになり、公演への期待も高まります。</p> <p>中学校で吹奏楽部との合同演奏の希望がある場合は、共演曲などを題材に基礎練習など、合奏でのポイントや音楽の楽しみを体感していただきます。</p> <p>楽団員 4 名(木管楽器 1～2 名、金管楽器 1～2 名、打楽器 1 名)を予定。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>管楽器は「吹く」ことにより音が出る楽器ですので、その吹くことによって「なぜ音が出るのか」実際に楽器を使いながら分かりやすく構造を説明し、生身の人間が創る音楽芸術の素晴らしさを感じ取っていただきます。また、予習を通じて、音楽は聴くだけではなく、自分自身が実際に体感することによって得られる要素を合わせて学び、本公演への準備をいたします。</p> <p>また吹奏楽部との合同演奏では、自分自身が演奏することにより奏でる音を通じて、音との結びつきも合わせて学び、実演芸術の素晴らしさを体感できます。</p> <p>本公演では、鑑賞教室のスタイルは取っているものの、あくまでも演奏会として楽しんでいただきたいと考えており、当日、難しい説明ではなく、聴く側と同じ目線に立った進行を心</p>					

	<p>がけます。本公演までの準備期間を活用するため、下記の通り、ワークショップ後に簡易な課題例をお示しいたします。各学校で何か1つでも積極的に取り組んでいただくことで、児童・生徒の皆さんが純粋に生の音楽に触れ、作り込まれた音の1つ1つを身体全体で受け止めていただき、鑑賞体験がよりスムーズで豊かなものになるように願っております。</p> <p>1) 演奏曲の中の数曲を校内放送などで継続的に流していただき、当日への期待感を高める。または、授業でCD鑑賞の時間を持っていただく。</p> <p>2) 校歌を選択された学校では、参加される児童・生徒のみなさんと、放課後やオリエンテーションの時間を利用してクラス単位で練習してもらおう。</p> <p>3) 合同演奏を希望されるクラブ活動におきましては、できれば当日の演奏やパフォーマンスに集中できるよう暗譜できるレベルまで練習してもらおう。</p> <p>上記の取り組みにより、児童・生徒の皆さんのモチベーションが上がり、本公演までの経験も生きたものとなり、公演への期待も高まり、公演の成功へと導きます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>楽団員のジェスチャーやプラカードなどの表示を使い、現在行われている内容を聴覚だけではなく、視覚からも理解できるようにし、児童・生徒により多くの観点から音楽芸術の素晴らしさを理解してもらえようします。さらに本公演では、演奏している楽団員が曲によっては立奏することにより、いま、どの楽器が演奏しているのかも視覚的に理解できるようにもします。また、各学校の事情に合わせ、説明する方法や一部の内容に対しては柔軟に対応し、児童・生徒にとって実りある鑑賞会となるような対応をいたします。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

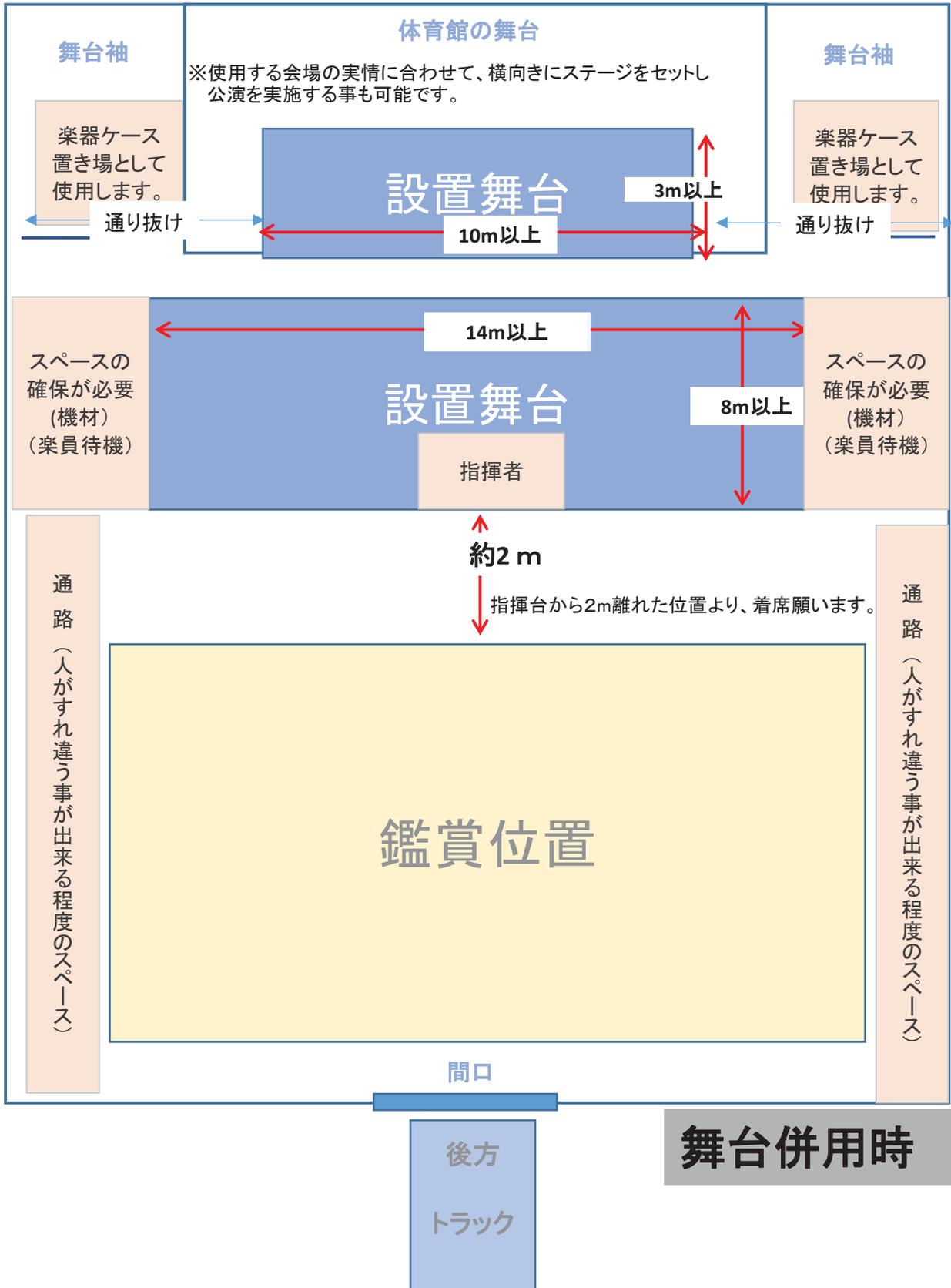
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	214	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra			制作団体名	公益社団法人 大阪市音楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件	指揮者1名1室、男性(約35名)1~2室、女性(約15名)1室。着替えの為に隠し可能な部屋。					
搬入について	可	来校する車両の大きさや台数 *		4tトラック 1台		大型バス 2台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		4tトラック1台						
	可	搬入車両の横づけの要否 *		要						
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *		100m以内						
	可	搬入経路の最低条件		<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根がある経路 ・幅2m、高さ2.1m程度が確保できる経路 ・舗装された経路が望ましい。 						
		理由		専用台車を使用し楽器搬入を行うため						
	—	設置階の制限 *		体育館が2階以上に設置されている場合は要相談。						
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.2m以上	高さ	2m以上				
WSについて	可	参加可能人数		500名程度(体育館の場合はその広さに応じて)						
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *		なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分程度						
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	可	鑑賞可能人数		2,000名程度(体育館の場合はその広さに応じて)						
	可	舞台設置場所 *		ステージ上・フロアの両方						
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14m以上	奥行	8m以上	高さ	指定なし	
	可			舞台袖スペースの確保 *		要				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの条件 *		楽器ケース等が置けるスペース				
	—			緞帳 *	不要		バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		基本的には不要		理由		基本的には遮光不要ですが、時期・時間により演奏位置に直射日光が差す場合は遮光出来ることが望ましい。		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		要		演奏には使用いたしません。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		家庭用電源(100V)が舞台近くで確保できれば問題ありません						
	その他特記事項									
可	寒い時期での開催の場合、会場と控室で暖房器具の使用が可能な事 (器具の持ち込みを予定していますが、可能であれば学校備品をお借りする事もあります。)									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.2m以上	高さ	2m以上が望ましい。
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		100m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ ともしび ----- 株式会社ともしび		
代表者職・氏名	代表取締役 齊藤 隆		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0033 東京都豊島区高田 1-12-17 (都バス早稲田 都電早稲田駅 副都心線雑司ヶ谷駅)		
電話番号	03-6907-2731	F A X 番号	03-6907-3812
ふりがな 公演団体名	オペレッタげきだん ともしび ----- オペレッタ劇団ともしび		
代表者職・氏名	代表 本道 亮		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同上		
制作団体 設立年月	昭和 47 年 3 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 齊藤隆 取締役 丸山堅司 取締役 清水正美 他		団体構成員:「ともしび」の音楽文化を創造し、普及しようとするもの。 加入条件: 上記要件を認め、活動しようとするものはだれでも。
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	高柴秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	小松原奈々子

制作団体沿革	<p>1954 歌声喫茶灯開店 1968 オペレッタ劇団ともしび発足 1969 音楽文化集団ともしび結成 1971 株式会社ともしび設立 (この間) 歌声喫茶灯新宿店 亀戸店 吉祥寺店 オペレッタ「べっかんこ鬼」「お月さんももいろ」首都圏中心に公演 日本児童演劇協会主催僻地巡回公演 茨城・千葉・高知公演など 1989 「金剛山のトラたいじ他」韓国より招聘公演(以後5次にわたり韓国各地で公演) 1992 芸術振興基金助成公演「金剛山のトラたいじ他生野野外公演」 1993 「懐かしの歌声喫茶」全8巻 CD・CT発売(全国通販) 沖縄キジムナフェスタ立ち上げ参加/日本EU優秀児童劇招聘公演 1994 「金剛山のトラたいじ他」平成6厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財 1996 出前歌声喫茶開始(以後毎年200日公演) 2002 アシテジ(国際児童青少年演劇協会)世界大会・ソウル招聘公演 「金剛山のトラたいじ他」(文化庁フェスティバル助成) 2004 歌声喫茶50周年記念事業 CDなど出版 2009 日本・メコン交流記念オペレッタ「シンプルプレイ 3びきのこぶた」ラオス、カンボジア、ベトナム公演 2018 「トラの恩がえし」厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財受賞 2019 「トラの恩がえし」一般財団法人 児童健全育成推進財団 2019年度児童福祉文化財受賞 現在に至る</p>
学校等における公演実績	<p>1967年 学校公演開始オペレッタ「カップ沼の宝物」年間30公演程度公演 幼稚園・保育園公演「ごんべえかかし」「狼五郎」 1980年代 オペレッタ「べっかんこ鬼」、「お月さんももいろ」等年間100日程度公演 1980年代 オペレッタ「ねこの家」オペレッタ「金剛山のトラたいじ」など年間150日程度公演 1990年代 オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」など年間120日程度公演 2000年代 ともしび「バラエティ劇場」「金剛山のトラたいじ」など年間80日程度公演 2010年代 オペレッタ「トラの恩がえし」ともしび「バラエティ劇場」など年間80日程度公演 主に首都圏を中心に公演 この間、オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」は文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 「トラの恩がえし」は2019年(令和元年)、2020年(令和2年)に「文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 公益社団法人日本児童演劇協会地方巡回公演は、ほぼ毎年採択され、首都圏以外の学校公演を多数行う。</p>
特別支援学校における公演実績	<p>公演実施校:埼玉県立蓮田特別支援学校 都立町田養護学校 埼玉県立和光養護学校 岡山県 健康の森学園養護学校 長野県立稲荷山養護学校等 高知県立盲学校 埼玉県立毛呂山特別支援学校 東京都立鹿本学園等、多数 公演演目:「お月さんももいろ」「金剛山のトラたいじ」「おもしろどんどん」「トラの恩がえし」等</p>

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=u4R_f89pM-I
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

対象	小学生() 低学年・中学年・高学年) ・ 中学生()		
企画名	「トラの恩がえし」		
本公演演目	オペレッタ「トラの恩がえし」		
原作 / 作曲	原作 韓国・朝鮮民話 /		
脚本	音楽:リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から		
演出 / 振付	脚本:中西明+韓国・朝鮮と日本チーム		
	演出:大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム		
	美術:内山勉 新井真紀		
	公演時間(80 分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>◆あらすじ</p> <p>大昔は仲良く暮らしていたという人間とトラ、いつしかお互いを敵として、憎みあって暮らすようになっていました。</p> <p>山奥に母親と 2 人で暮らす木こりが、ある日けがをして苦しんでいるトラを助けます。思いがけず命を救われたトラは、木こり親子に恩がえしをはじめ、最後には自分の命をかけて一計を案じます。</p> <p>敵同士という垣根を越えて生まれる普遍の友情が胸を打つ朝鮮民話がベースとなっています。</p> <p>◆上演にあたって</p> <p>●録音やマイクなどの拡声器材を一切使わず、すべて生で歌い、演奏するオペレッタです。子どもたちが思わず声を上げて応援したり爆笑したりと、舞台と客席との交流が豊かで、演者と観客との心の交流が一層の臨場感を生み出す構成になっています。</p> <p>●韓国・朝鮮の伝統的な楽器、歌、美術、独特のリズムを取り入れ、隣国との文化的な相違や共通点を知る機会ともなります。大道芸の妙技も楽しんでいただけます。</p> <p>●演劇には悪条件と言われてきた体育館の構造を逆に活かして、「体育館演劇」と呼ばれる独特の空間を作り出します。具体的には、体育館の舞台も利用してスタジアム風の客席を設営し、後方でも見やすくする、音響器材を使わないことで余分な反響音をなくし、歌やセリフを聞き取りやすくする、などの工夫をしています。</p> <p>●役者たち自身が構成を練り、場面場面を話し合い、試し合って創る「デバイジング」方式をとっています。役者たちがお互いを認め合い、作品のテーマである人と人が共に生き「生かしあう力」を舞台で表現する支えになっています。</p>		

演目選択理由	<p>●人間同士の「心の垣根」が諍いや対立、戦争など大きな不幸を生み出している今日、その「垣根」を取り払う思いやりや優しさ、相手への理解の大切さを描きたく、この作品を選びました。また、人の役に立つこと、人に喜ばれることが自分の喜びともなる、そんな生き方、人と人とが共に「生かしあう」姿を伝えたいと願っています。</p> <p>●あわせて、隣国の文化に触れるきっかけとなることを期待しています。</p>		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	<p>●朝鮮半島の伝統的なリズムを、2グループの児童・生徒が手拍子でかけ合い、ひとしきり独特の味わいを楽しんだ後に、そのリズムに乗せて演技者がオープニングの歌を歌います。エンディングでも同様にリズム遊びで参加します。</p> <p>●小学校では、歌唱が可能であれば、オープニングの歌と、それに続く「わらべ唄」をいっしょに歌います。</p> <p>●中学校では数名の生徒に、ラストの大道芸に参加してもらいます。</p>		
出演者	中西明 李在浩 藤崎健太 本道亮 宋明花 金嬉仙 千足咲菜		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7名 スタッフ: 1名 合計: 8名	機材等 運搬方法	積載量 2t 車長 6.5m 台数 1台

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時30分	9時30分～ 12時30分	13時30分～ 14時50分	0分	15時～ 16時30分	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。状況により途中10分程度の休憩時間をとることができます。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	リズム遊びは制限無し。歌で参加は20名程度				
	本公演	300人まで。				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>およそ2時限で行います。朝鮮半島の民族楽器「チャンゴ」の演奏を聴いてもらった上で、基本的で特徴的なリズムを手拍子で練習します。</p> <p>次に2グループに分かれ、それぞれがちがうリズムをたたいて、複雑なリズムを作り出す練習をします。</p> <p>中学校ではカヤグムの演奏と歌唱も楽しんでもらいます。歌唱が可能であれば、小学校ではオープニングの2曲を練習し、リズム遊びとあわせて本公演に参加します。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>韓国・朝鮮とは古代から多くの交流があり、文化的にも様々な共通点を持ちながら、また、まったく違う面もあります。特に、3拍子をベースとしたリズムは日本とはまったくちがうもので、ぜひ体験してもらいたいと考えます。</p> <p>また、劇(Play)が「遊び」の延長であることを楽しく感じ取ってもらえるワークショップにしたいと思います。</p>					
特別支援学校で の実施における 工夫点	<p>盲・聾学校では事前に楽譜、台本を提供し、物語の内容が伝えられるよう配慮します。</p> <p>客席は劇団が設営しますので、車椅子スペースや寝て観るスペースなど、先生方と相談してなるべく見やすい空間にします。</p> <p>ワークショップも、障がいに応じて、リズム中心、歌中心、踊り中心など興味を持てる形態にします。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

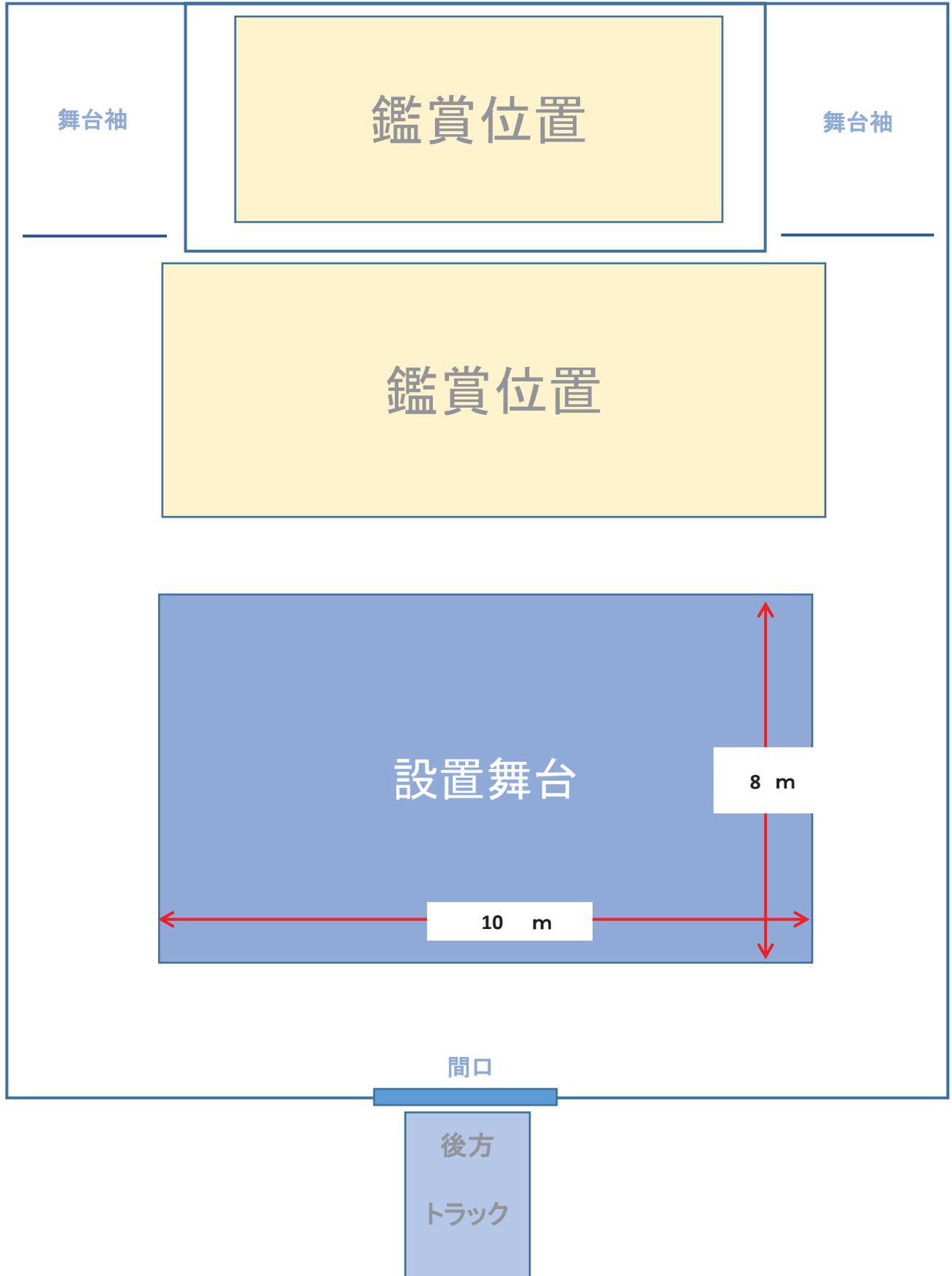
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	411	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	オペレッタ劇団ともしび				制作団体名	株式会社 ともしび			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	着替え用であるため窓にカーテンがある部屋				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック 長さ6.4M 幅2.2M 高さ3.2M				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来れば階段など高低差が少ない。 登校時間と搬入時間が重ならない時間設定。				
		理由			俳優が裏方も兼任するので、できるだけ負担を軽減したい。				
	可	設置階の制限 *			3階以上相談				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSIについて	可	参加可能人数			20～40名程度(リズムあそびは制限無し)				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			おおよそ2時限				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			300人まで				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	10m	奥行	8m	高さ	8m	
	可				舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *				
	可				緞帳 *	不要		パトン *	不要
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			一部要	理由	西日等を遮るため		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	フロアに客席を劇団が設置します。段差を付けて観客が見やすくするためです。								
可	ベンチ椅子・台など劇団が持ち込みます。折りたたみ椅子などを拝借する場合があります、ご相談します								
可	ピアノは公演で使用しませんが、俳優の発声練習などでお借りします。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m ご相談します。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財
一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財



トラの恩がえし

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より

子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から
人と人の「生きあう力」へ

民族楽器の生演奏
韓国・朝鮮の大道芸も楽しい!!
思いやりとやさしさが、
トラと木こりの心をつなぐ!!
笑いあり涙ありの物語。

原作:韓国・朝鮮の民話から
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽、李在浩
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム
美術:内山勉、新井真紀
出演者による集団創作(デバイジング)

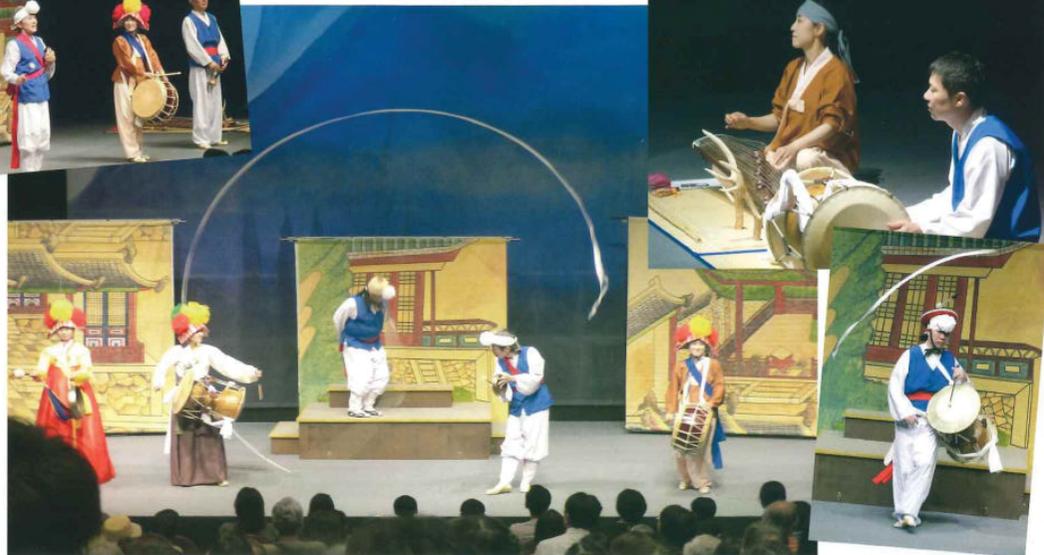
オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇劇団協同組合 加盟
国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター 加盟

エンディングは、韓国・朝鮮の大道芸

民族楽器の
生演奏の楽しさが、
うたごえが
会場いっぱい
あふれます。

チャンゴ、ブク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンモ。
コミカルで楽しくダイナミックなボナ回し(皿まわし)。
思わず、歓声と拍手が…。



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつがれているお話です。トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。

たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎み合うという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。

優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育てます。芸術作品は子どもたちの心を育てます。

昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



●お申し込み、お問い合わせは月～金10時～18時 土曜10時～17時

オペレッタ劇団ともしび

〒171-0033 東京都豊島区高田1-12-17

TEL 03-6907-2731 FAX 03-6907-3812

<https://tomoshihi.co.jp>

Email info@tomoshihi.co.jp



あれ?お前、こんなにひどいケガが… 動くんじゃないよ!



何かのどに刺さっている
おいらがとってあげよう。



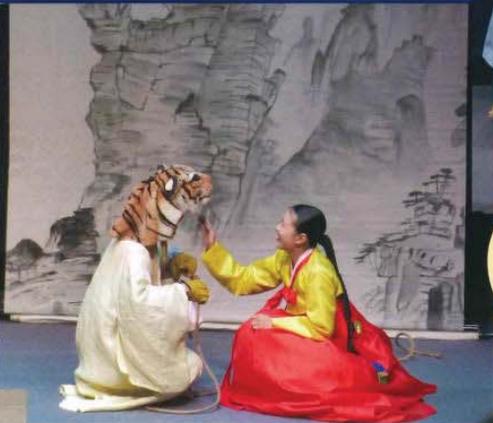
今日も山に木を切りー。



なんだが、
気分だけ、
とっても楽しい
あんなに喜んで!!

「お〜い
ず〜っと
トラよ!
友だちだからな〜」

「おれも
おれも
ただちだぞ!!」



どうだ。
この見事な毛皮!
こいつは
高く売れるぞ!



「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。
人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに怖れあい、憎み合っていました。
山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。
思いがけず助けられたトラは、怪我がなると木こりへの恩がえしを始めるのです。
さて最後の恩がえしは…

上演時間80分(休憩なし) 構成7名 暗幕不要

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
- (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
- (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
- (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんかぜのこ		
制作団体名	有限会社 劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大潤弘幸		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅:高尾(JR、京王線) バス停:縄切(西東京バス)		
電話番号	042-652-1001	F A X 番号	042-652-1013
ふりがな	げきだんかぜのこ		
公演団体名	劇団風の子		
代表者職・氏名	代表取締役 大潤弘幸		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0152 東京都八王子市美山町 1320-1 最寄り駅:高尾(JR、京王線) バス停:縄切(西東京バス)		
制作団体 設立年月	1950年 7月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 大潤弘幸 事務局長 高垣信子 制作部長 大森靖枝 創造部長 浅野井優子	俳優 20名、制作 11名、文芸・演出 3名 加入条件 ・劇団風の子国際児童演劇研究所卒業及び一定の経験者 ・18歳以上の健康な方	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	岡本圭
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	西川恵美子

制作団体沿革	<p>1950年7月、子どもの為の専門劇団として創立。以来『子どものいるとどこへでも』を合言葉に、全国を巡演。</p> <p>1983年より全国に地域劇団風の子を発足させる。劇団風の子北海道、劇団風の子中部、劇団風の子関西、劇団風の子九州がそれぞれ法人独立し、現在「有限会社劇団風の子」は首都圏を拠点に活動している。</p>		
学校等における公演実績	<p>2019年度公演実績</p> <p>小学校公演:3作品 237公演 「スクラム☆ガッシン」82ステージ、「ペコと秘密の樹」109ステージ、「風の子バザール」46ステージ</p> <p>幼稚園・保育園・子ども劇場その他の公演:11作品 677公演 「まるさんかくしかく」203ステージ、「ポロロンシアター」109ステージ、「風の子バザール」129ステージ、「風的一座」46ステージ、「小さい劇場」42ステージ、「とんからり」33ステージ、「ソヒカギリ美術館」32ステージ、「ないしょないしょのしっぽがぼん」26ステージ、「ペコと秘密の樹」16ステージ、「黄金の実」16ステージ、「スクラム☆ガッシン」25ステージ</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>都立南大沢学園、岡山県新見市健康の森学園、宮崎県日南市くろしお支援学校、福島県会津若松市特別支援学校、広島県庄原市特別支援学校、埼玉県日高市特別支援学校、静岡県伊豆の国市東部特別支援学校、青森県青森市青森県立青森若葉養護学校、北海道黒松内町北海道余市養護学校しりべし学園分校、北海道札幌市手稲養護学校</p>		
参考資料の有無		申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
	A	申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	“一回しかない子ども時代を子どもらしく生きる”「スクラム☆ガッシン 準備完了!第2号計画(ダッシュ)」		
本公演演目	「スクラム☆ガッシン 準備完了!第2号計画(ダッシュ)」		
原作/作曲 脚本 演出/振付	作・脚本/田中つとむ 演出/中島 研 音楽・効果/曲尾友克 美術/浅野井優子・風の子大道具プロジェクトチーム 制作/大森靖枝		
	公演時間(80 分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>いろいろな色や、いろいろな音があるように、私たち人間も一人ひとり、皆ちがう感性や個性をもって生きており、それは、とても素敵なことです。この作品では、五人の子どもたちが、いろいろな価値観や考え方の違いにぶつかりながら、笑い、泣き、怒り…、一人ひとりが自分と相手と真剣に向かいあい、お互いをちょっと認めあい、仲間と一緒に一本のお芝居をつくりあげるまでを描いています。</p> <p><あらすじ> 小学四年生の男子四人と女子がひとり、そんな五人の物語。 自分たちでつくったひみつ基地がマンション建設のため壊された。皆、走って走って走って…、着いたところは橋の下。「新しいひみつ基地をつくるまでは、ここを集まる場所にしよう」</p> <p style="text-align: center;">*</p> <p>今度の学年お楽しみ会の出し物に、自分たちのやりたいことをやろうと言い出したものの、歌は無理だし、ダンスはもっと無理。 「じゃ、劇やらない?」「えー!」と、劇に決まる。 テキスト『小学校劇の本』を読みながら、ますだ屋のおばさんから借りた本『熊と弓』を台本にして、斉藤、五郎ちゃん、たつあん、ブーヤン、島ちゃん、そして女神の役をクラスの人気者安田さんに頼むことになり、六人での劇の練習が始まった。しかし、いろいろな困難が押しよせてくる。さあ、六人はこの大きな壁を乗り越えることができるのでしょうか…。</p>		
演目選択理由	<p>新型コロナウイルス感染症やさまざまなことで我慢を強いられている今の子どもたち。一回しかない子ども時代を、仲間と群れて遊び、豊かな、そしてずっしりとした体験を通して、子どもらしく生きて行ってほしい。そんなことを思い、この作品を選びました。</p> <p>一人遊びの時間が増え、他者と深く関わりあうことを避ける風潮の中で、子どもたちが主体的に他者とのコミュニケーションをとるようになるためには、「やりたい!」という強い気持ちを持つことだと思います。この劇を観た子どもたちに「あんな友だちがほしい」「あんなことをしてみたい」「友だちと一緒に楽しいことをやりとげたい」など、いろいろな気持ちが沸き上がることを願い、この作品を申請します。</p>		

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>① 「森がいくつ」 お芝居の中で、5人の子どもたちは学年お楽しみ会で、『熊と弓』という本を劇で演じることにしました。5人は図書室で熊について調べ、熊の生態や人間社会との関わりなどを知っていきます。参加する子どもたちには、この場面で、俳優たちと一緒に「森がいくつ」という歌を身体表現しながら歌っていただきます。 自然と人間の間を考えた台詞と、森の木々や電車などの身体表現をしてもらいます。体育館全体が大きな森のように感じられるようになりたいシーンで、子どもたちの豊かな表現力が生かされます。</p> <p>② 「妖精のシーン」 劇中劇の主人公の若者役になった島ちゃんが、なかなかセリフを覚えられず夢でうなされるシーンで、不思議な妖精たちが出てきます。「逃げちゃダメ〜」「正面からぶつかれ〜」と励ます妖精の役を、劇団で用意した衣裳(妖精の羽根と花の髪飾り)をつけて、俳優と一緒にコミカルに演じていただきます。台詞を覚えられなくて悩んでいる島ちゃんが一歩踏み出す、そんなきっかけを作る大事な役どころです。</p> <p>*令和元年度のこの事業で公演した際、子どもたちの自由な心でたくさんの感動的な台詞が生まれ、笑いが溢れ、舞台がおおいに盛り上がりました。今回はソーシャル・ディスタンスを守りながら、新たな表現方法を模索してより楽しくしていきたいと思ひます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>大堀鷹、川島夏、松田琢也、井部直人、中瀬かほ、竹内菜由架(予定)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 6名 スタッフ: 1名 合計: 7名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 3 t 車長 6.99 m 台数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度) <table border="1" data-bbox="389 779 1433 1093"> <thead> <tr> <th data-bbox="389 779 491 860">到着</th> <th data-bbox="491 779 721 860">仕込み/リハーサル</th> <th data-bbox="721 779 911 860">本公演</th> <th data-bbox="911 779 1118 860">内休憩</th> <th data-bbox="1118 779 1310 860">撤去</th> <th data-bbox="1310 779 1433 860">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="389 860 491 1093">7:30</td> <td data-bbox="491 860 721 1093">7:30～10:30/ 11:00～12:00</td> <td data-bbox="721 860 911 1093">13:30～14:50</td> <td data-bbox="911 860 1118 1093">0分 *暑い時期は水分補給等で10分程休憩を入れることも可能です。</td> <td data-bbox="1118 860 1310 1093">15:00～17:00</td> <td data-bbox="1310 860 1433 1093">17:00</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="389 1133 1318 1167">※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	7:30	7:30～10:30/ 11:00～12:00	13:30～14:50	0分 *暑い時期は水分補給等で10分程休憩を入れることも可能です。	15:00～17:00	17:00
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
7:30	7:30～10:30/ 11:00～12:00	13:30～14:50	0分 *暑い時期は水分補給等で10分程休憩を入れることも可能です。	15:00～17:00	17:00													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	「森がいくつ」最大40名、「妖精のシーン」最大30名																
	本公演	450名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p data-bbox="389 1283 1441 1395">事前に各学校に作品全体のわかるDVDとCDおよび楽譜、ワークショップの内容、目的、準備してもらうもの等を記したものを送ります。各学校で参加学年を決めていただきます。</p> <ol data-bbox="389 1395 1441 1547" style="list-style-type: none"> 1.初めに、ウォーミングアップとして簡単な表現あそびをして、子どもたちの心と身体をほぐします。 2.劇のストーリー、参加場面の背景をDVDを見ながら説明します。 3.グループに分かれて練習します。 <p data-bbox="389 1547 1441 1850">①「森がいくつ」</p> <ul data-bbox="443 1592 1441 1850" style="list-style-type: none"> ・まず体育館でおおまかな動線を説明して動いてもらいます。 ・別室に行き、四つのグループに分かれます。 <p data-bbox="443 1671 1441 1738">森の木が切り倒され、大きな道路が出来たことで何が起きるのか、どう思うのかをグループ内で話し合い、“一言台詞”や森の中の身体表現を考えます。</p> <ul data-bbox="443 1738 1441 1850" style="list-style-type: none"> ・体育館に戻り、実際の舞台の寸法できっかけの台詞と共に動きと歌を練習します。 ・本番までに台詞や動きを練り直して、自分たちらしい表現を追求してもらいたいことを伝えます。 <p data-bbox="389 1850 1441 2107">②「妖精のシーン」</p> <ul data-bbox="443 1895 1441 2107" style="list-style-type: none"> ・まず二つ(人数によっては四つ)にグループ分けをします。 ・本番で自分の座る位置と衣裳(羽根と髪飾り)を確認します。 ・妖精がどんな動きをするのか、どんな声を出すのか、あそびながら考えます。 ・お芝居の中のきっかけの台詞を覚え、どこで衣裳を身に着けて立ち、舞台へ出るのか、そしてどう動いてどこで台詞を言うのかを繰り返し練習します。(台詞は役者の後に繰り返す形なので、覚えておく必要はありません) 																	

	<p>・本番までに自分たちらしい表現方法がもつとないか、考えて練習してほしいことを伝えます。</p> <p>4.全員で集合して、練習したことを互いに見せ合います。(最終に通した演技の動画を撮っておいてもらい、本番までのおさらいに活かしてもらいます)</p> <p>5.本番までにやっておいてもらいたいことを確認し、当日は本番前にリハーサルで役者たちと実際のステージが組まれたところで練習することを説明します。</p>
ワークショップ 実施形態の意図	<p>『熊と弓』という本に出会った子どもたちが、図書室で熊の生態を調べるうち、人と自然の共存のことなどに思いを馳せ「森がいくつ」という歌が生まれます。その歌と一緒に歌い森を表現することで、森や自然の動物・植物たちに目を向けてもらえたらと思います。</p> <p>主人公の島ちゃんの悩みや心の揺れは、現代を生きる子どもたちが共感してくれる場面です。その主人公を励ます妖精を演じることによって、悩みや壁を乗り越えるための工夫を考え、それを観た他の子どもたちにも元気や勇気を伝えられたらと思います。</p>
特別支援学校での実施における工夫点	<p>① 「森がいくつ」では、一緒に歌ったり、ハミングしたり、身体をゆすったり、その子その子の可能な方法で参加することができます。リズムにのって身体を動かすだけでも可能です。</p> <p>② 「妖精のシーン」では、その場で立ち上がったたり、座ったままでも、その子なりの表現をしていただきます。みんなで一緒に、楽しさ・嬉しさを共有することが目的です。</p>
実施可能時期	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

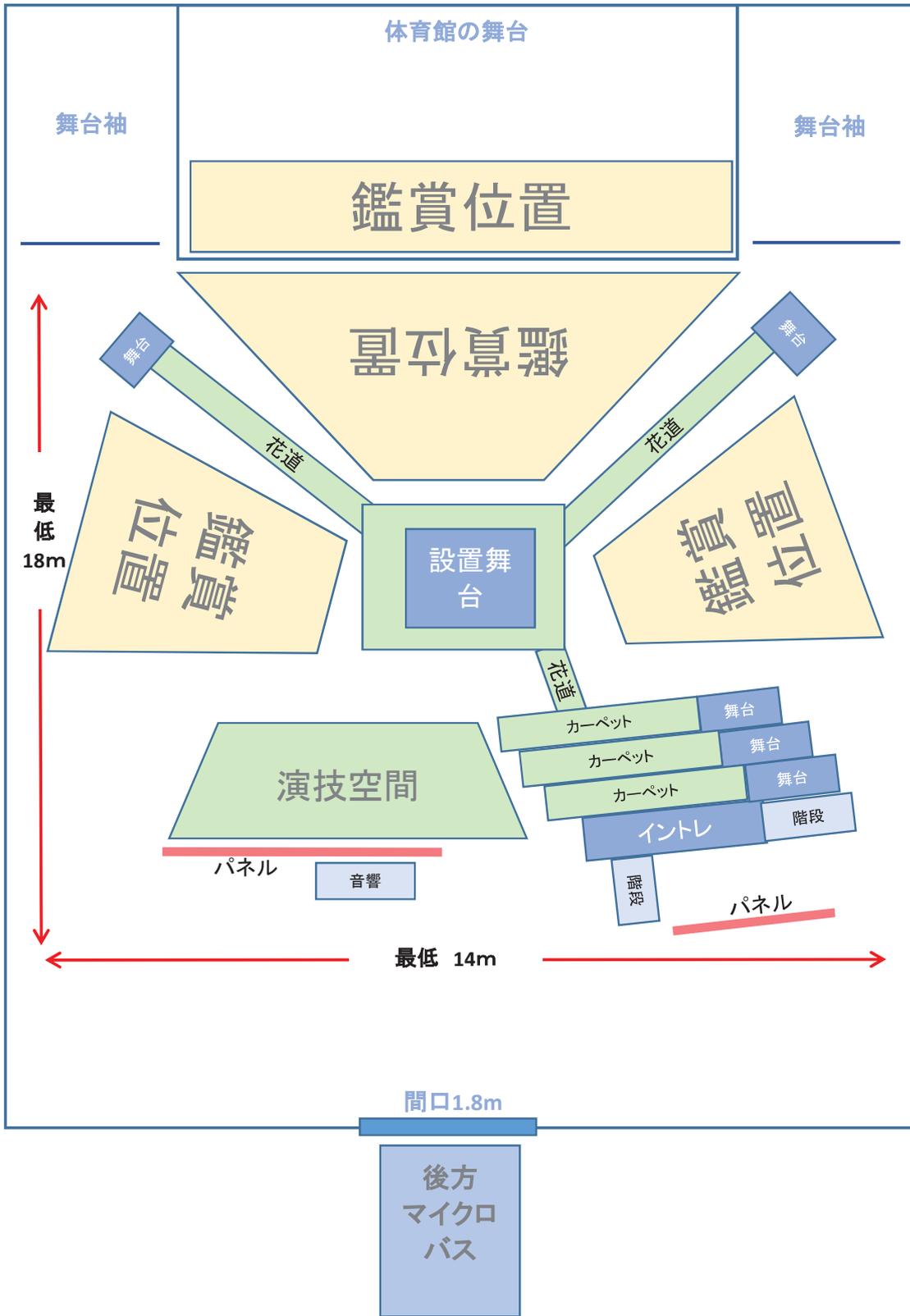
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	423	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	劇団風の子			制作団体名	有限会社 劇団風の子				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	廊下や外から見えないようカーテンがあることが望ましい。体育館内でまかなうことも可				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス 1台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			マイクロバス				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・入り口、経路、階段とも、幅1.8m以上が望ましい ・屋根のある経路が望ましい				
		理由			舞台大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	2m			
WSIについて	可	参加可能人数		「森がいくつ」最大40名、「妖精のシーン」最大30名					
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし(3～4年生が望ましい)			
	可	所要時間の目安 単位:分		およそ90分(二時限分)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		450名					
	可	舞台設置場所 *		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	14m	奥行	18m	高さ		
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保 *			不要		
	—			舞台袖スペースの条件 *					
	可			緞帳 *	不要		バトン *	要 照明用に借用する場合あり	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	直射日光が入る部分は閉める			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		80A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
可	舞台設置に必要な広さについては、一般的な小学校の体育館ならば可能です。フロア内に舞台スペースをとるため、狭い場合は鑑賞可能人数が減ることがあります。								

会場図面



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
	搬入車両の横づけの要否		要	
	横づけができない場合の搬入可能距離		10m	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団風の子

スクラム★ガッツン

準備完了！第2号計画



絵／神門やすこ

作／田中つとむ 演出／中島 研 音楽・効果／曲尾友克 美術／浅野井優子・風の子大道具プロジェクトチーム 制作／大森靖枝

スクラム★ガッツ

準備完了！
第2号計画（ダッシュ）



小学四年生の男子四人と女子がひとり、そんな五人の物語。
自分たちでつくったひみつ基地がマンション建設のため壊された。
「くそっ！」
皆、走って走って走って…、着いたところは橋の下。「新しいひみつ基地をつくるまでは、ここを集まる場所にしよう」

＊
今度の学年お楽しみ会の出し物に、自分たちのやりたいことをやるうと言いだしたものの、歌は無理だし、ダンスはもつと無理。「じゃ、劇やらない？」「えー！」と、劇に決まる。

テキスト『小学校劇の本』を読みながら、齊藤は、まずだ屋のおばさんから借りた本『熊と弓』を台本にして、五郎ちゃん、たつつあん、ブーヤン、島ちゃんの五人の劇の練習が始まった。しかし、いろんな困難が押しよせてくる。さあ、五人はこの大きな壁を乗り越えることができるのでしょうか…。

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, <u>演劇</u> , ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かわせみざ		
制作団体名	かわせみ座		
代表者職・氏名	山本 由也		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0016 東京都杉並区成田西 1-4-17 (京王井の頭線「西永福」駅)		
電話番号	03-3315-3102	FAX番号	03-3315-3102
ふりがな	かわせみざ		
公演団体名	かわせみ座		
代表者職・氏名	山本 由也		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒166-0016 東京都杉並区成田西 1-4-17 (京王井の頭線「西永福」駅)		
制作団体 設立年月	1982年 10月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	山本由也(代表・人形美術・人形操作) 益村泉(製作・俳優) 益村充子(会計・経理)	団体構成員…役員3名及び団体7名の10名 主な俳優指名…山本由也、益村泉、冬木、 田辺誠二、速名美佐子 加入条件…代表を山本由也と定め、益村泉を 副代表とする。新入組織員は、代表 及び副代表の合議により決定する。	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	益村 泉
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	益村 泉

制作団体沿革	<p>1975～1982 代表の山本はプロの劇団を経て、竹田人形座（東京都無形文化財）の竹田扇之助、竹田喜之助両氏に師事する。</p> <p>1982.10 代表の山本が独立し、「かわせみ座」を創立。</p> <p>1987～ 脚本・演出家の吉永淳一先生のご指導のもと、芸術的創作活動に励む。</p> <p>1994～ 俳優の益村泉が参加。現在山本・益村が中心となり、舞台での空間芸術としての新しい形のオリジナルパフォーマンスを発表し続けている</p>		
学校等における公演実績	<p>年間、約 10～20 公演を小・中学校を対象に行っている。</p> <p>また海外では 1996 年スペイン、1999 年と 2001 年にはアメリカ、2002 年モロッコ、2003 年韓国、2008 年メキシコ・セルヴァンティーノ、レオン、メキシコシティー、2015 年リトアニアとエストニア、2013 年と 2016 年にはアメリカ・ナッシュビル、にて小・中学生を対象として「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」公演をおこなった。</p> <p>「まほろばのこだま (Where Spirits and Fairies Poems)」は 2005 年にイタリアと英国、2007 年に香港で公演をおこなった。</p> <p>2012 年 5 月には、中国の成都、南充にて「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」公演をおこない、ウニマ・第 21 回世界人形劇フェスティバルにて優秀作品賞を受賞。</p> <p>その他、年間 2～3 回の自主公演活動を行っている。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成 17 年度より 21 年度まで 5 年間連続で「ことばのないおもちゃ箱 (Silent Poems)」を小・中学生を対象として上演。5 年間で全 74 校になる。</p> <p>平成 25～令和元年度には「まほろばのこだま」を小・中学生を対象に上演。令和 2 年度には同作品を小・中学校 17 校で上演予定。</p> <p>これまで約 10 校の特別支援学校での公演及びワークショップを実施。ワークショップも普通学級と同等の内容のものをやさしくかみくだいて実施し、好評を得ている。</p> <p>また普通学級でも、特別支援クラスの生徒がワークショップに多く体験参加している。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 かわせみ座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	構造・操作法も世界唯一の人形達を遣った、独創的で優れた本物のマリオネット表現をどうぞ		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	まほろばのこだま 作・原案/山本由也・益村泉 人形美術・舞台美術/山本由也 構成・演出/高畑勲(アニメーション映画監督) 公演時間(60 分)		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>この作品は、日本の伝説、民話をモチーフに、夢・現・幻をつづったオムニバス形式の小品集です。わらべ唄と音楽とヴォイス・パフォーマンス、表現者自身と人形で表現した舞台空間芸術です。</p> <p>かわせみ座はこれまでに世界に日本を紹介するため、河童や烏天狗といった“もののけ”が登場する作品として「まほろば」を上演していました。そしてかねてよりスタジオ・ジブリの高畑勲氏の構成・演出を熱望し依頼したところ、かわせみ座の世界に共感された氏のご快諾くださり、2000年10月に「まほろばのこだま」として生まれ変わりました。同上演は、2001年演劇雑誌『テアトロ』3月号にて、特集「2000年舞台ベストワン・ワーストワン」で“ベストワン”に選ばれました。</p> <p>『人形芸術への深い傾倒、自分らの仕事を信じている、その強度を感じさせる舞台である。』(演劇評論家、岩波剛氏の劇評より一部抜粋) ※コピー添付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2000年 東京2000年祭「千年文化芸術祭」入選作品賞受賞 ・2000年 中央児童福祉審議会特別推薦作品受賞 ・2005年 エジンバラ国際演劇祭フリンジ参加(英国) ・2005年 ラベンナ国際演劇祭招待公演(イタリア) ・2007年 香港アートフェスティバル招待公演(中国) 		
演目選択理由	<p>2000年にアニメーション映画監督の高畑勲氏により、再構成・演出された「まほろばのこだま」は、その後国内外で公演を重ね、非常に高い評価をいただいております。日本の伝説や民話に登場する生き物、精霊、魔物や自然そのものが主役の本作品は、現代日本人の意識から薄れている、日本の心の原風景を感じさせ、日本の良さや奥深さを再認識させられる舞台です。五感に響く独自の人形表現から生み出される舞台世界は、イマジネーションと感性をくすぐります。今、日本人の私たちが考えるべき事の一つである、自然環境と人間の共存を、ナチュラルな感性で再考することができるこの舞台は、子供たちの情操教育として大変意義のある作品です。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>小学校は、高学年の生徒。中学校はどの学年でも可。1本の小作品(約15分)で、かわせみ座の出演者とのコラボレーションをおこないます。</p> <p>予定参加人数：クラス・学年単位・20～60名程度(これ以上の人数の参加をご希望の場合も実施可能です。ご相談させてください。)</p> <p>舞台セットのないシンプルなステージで、人形、オブジェ、身体を表現媒体として演じ、日本の伝統的な所作を踏まえた、美しい詩のような小作品を上演します。</p> <p>舞台空間に共にひとつの作品を創造することの素晴らしさが実感できるでしょう。</p> <p>また、公演終了後15分程度、人形の素材や製作過程、操作方法を解説し、生徒さんの質問にお答えする交流会(アフタートーク)を行います。</p>		

出 演 者	山本由也、益村泉、三国谷花、八木澤賢、脇田あやこ		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 5 名 スタッフ: 5 名 合 計: 10 名	機 材 等 運搬方法	積載量 2 t 車 長 6.4 m 台 数 2 台

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	8:00～ 13:30	13:30～15:00	0分	15:00～17:00	17時頃
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	20～60人程度(これ以上の人数の参加をご希望の場合も実施可能です。ご相談させてください。)				
	本公演	100～500人				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>～人形やオブジェを使って、子ども達と共に舞台を遊ぶ～ 「狐森のキツネ達と子いたち」(約15分の短編作品)</p> <p>かわせみ座の出演者と共に、ワークショップで1本の小作品を創り上げ、本公演のエンディングで上演します。身体と物(人形・オブジェ)を使い、想像力を膨らませて表現することの面白さや難しさ、なした後の達成感を体験してもらいます。</p> <p>作品内で使用する仮面のオブジェ(狐面)は、ワークショップの最初に指導しながら一緒に作成します。その後各自で作った狐面を使いながら、全身を使っての表現(踊る、飛ぶ、見得を切る、声を出す等)を学び、からだ全体で音楽や台詞、人形の動きに合わせて表現することを体験してもらいます。そしてこの表現方法を活かした作品にそって、人形と共に物語を演じます。</p> <p>公演当日にも約1時間、本番通りの照明、音響の中リハーサル(ゲネプロ)を行います。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>ヨーロッパの学校教育では「演劇および表現」を取り入れた教科があります。子供たちは、言葉によるコミュニケーションはもとより、言葉を使わないでコミュニケーションを取る、様々な表現手段を学習します。そして、その表現の延長上に演劇があることを学び楽しみます。生きる上でも、表現力を培うことが重要であると実感できる授業です。</p> <p>今回のワークショップでは、生徒たちが狐役の声を発声したり、台詞を喋るだけでなく、自身の体とオブジェを使って、生き物や自然現象を表現します。安易に生徒たちを部分的に参加させるのではなく、一つの作品全体に参加して、本公演に向け劇団員と協力し合い創り上げていきます。生徒たちはワークショップの中で作品に対するイメージ力を高め、本格的な指導を経験します。このワークショップは、感性、想像力、表現力、努力、協力など多くの事を培うことのできる格好の情操教育と位置づけております。</p> <p>部分的な参加ではなく、作品全編に渡り生徒と劇団員が共に、一つの作品を完成させます。生徒はその過程と上演を経験することで、生の舞台芸術をまるごと体験することが出来ます。与えられた小道具ではなく、自分が使う狐面を作ることから始めるため、ゼロから創り出す喜びを実感します。作品へ向けた“自分の為のお面”を自作し自演する事への喜びが、作品づくりの意欲へとつながります。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>これまでの特別支援学校では、本番で生徒がマイクを使用したり、先生も中に混じって共に参加をしたり、台詞を短く削るなどの工夫をおこなってまいりました。本番で出演するかどうか、生徒の意志や先生のご意見を尊重し、ご本人が全身で演劇を楽しめるよう努力、協力いたします。臨機応変に生徒達の体調や、学校側の意向に合わせて、内容を調整します。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

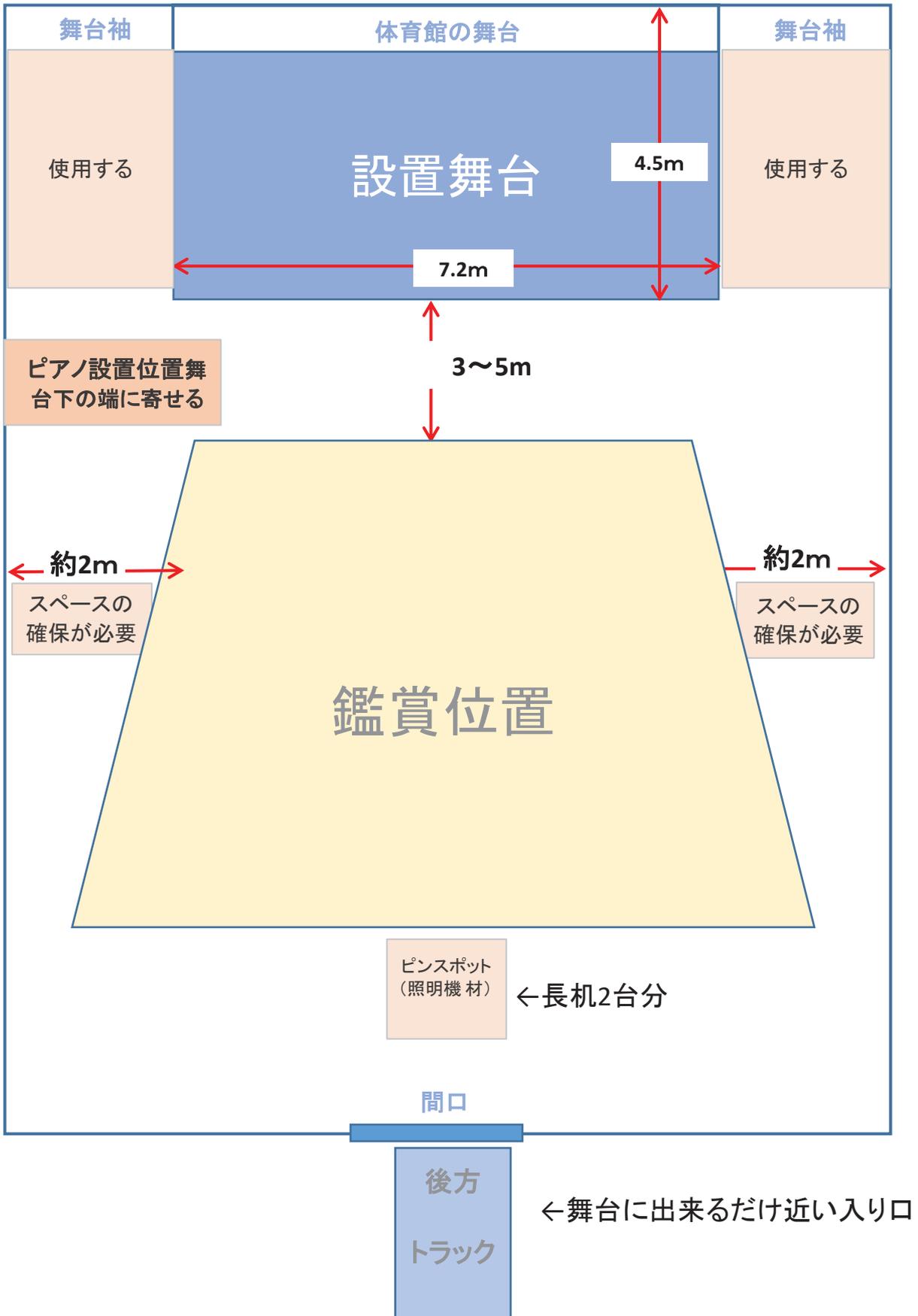
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	508	分野	演劇	種目	演劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	かわせみ座			制作団体名	かわせみ座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	不要	条件	仕込みのため基本的にずっと体育館にあります					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・階段のない経路が望ましい ・屋根がある経路が望ましい 					
		理由			重い荷物が多く、人形や道具を雨に濡らしたくないため					
	可	設置階の制限 *			問わないが1階が望ましい					
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	2m				
WSIについて	可	参加可能人数			20～60名程度まで(実際に出演するのは40名程度まで)					
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学生は高学年・中学生は全学年			
	可	所要時間の目安 単位:分			120分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			100人～500人程度					
	不可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7.2m	奥行	4.5m	高さ	70cm以上		
	不可				舞台袖スペースの確保 *		要			
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		袖中に荷物が無い状態			
	不可				緞帳 *	不要	バトン *	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	会場が暗くなると照明が映えて綺麗なため			
	不可	ピアノの調律・移動の要否			指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	不可				ピアノの事前調律		不要			
	不可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			60A以上		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	不可	ピアノは不使用。ピアノが舞台上にあり袖中が狭い場合、ピアノを舞台下におろす必要があります。								
可	会場が2階以上の場合、先生もしくは生徒さんに荷物の搬入出をお手伝いいただきたいです。									
不可	上演の都合上、舞台上と両袖中の荷物はできる限りどけていただきたいです。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

まほろばのこだま

作・原案／山本由也・益村泉
構成・演出／高畑勲・山本由也

ののさまたちが目を覚ます



『気配』という言葉をおぼえていますか。
気配りも大切ですがこちらは、『けはい』です。
この世に生きているのは人間だけではありません。
こころの目をこらし、心の耳をかたむければ、
まほろばに暮らす様々な命の気配が感じられます。
そして、それらが見えてきます、聞こえてきます、
昔の人々のように・・・。
ほら、ひっそりと、いたずらっぽく、
あらあらしく、まほろばのこだまたちが、
暗がりの中から、いきいきと姿を
あらわしはじめますよ。

アニメーション映画監督 高畑勲
（「まほろばのこだま」 演出家）

かわせみ座



花鬼のぐじとごべ

<プログラム>

*プロローグ

ゆうく とき すけ
夕暮れ時--- いたちのチョコ口助

ひとごと はなまに
*人里---花鬼のぐじとごべ

いりりばた ざしきわらし ひなに
*田炉裏端---座敷童子 雛子

あきまつ きつねむすめ へんげ
*秋祭り---狐娘の変化

やまがみ からすてんく か しゅく
*山神---烏天狗の呵と酌

ふぶき なか ゆきへんげ
*吹雪の中で---雪変化

*エピローグ

せつげん あさ すけ
雪原の朝--- いたちのチュイとチョコ口助

*ワークショップ 作品『狐森のキツネ達と子いたち』

〜人形やオブジェを使って、生徒達と共に舞台を遊ぶ〜



烏天狗の呵と酌



児童生徒と一緒に、
1本の作品を上演します。

狐森のキツネ達と子いたちのチュイ



ワークショップでお面を作成し、生徒自身が作ったお面を使いながら、からだ全体で狐を演じます。音楽や台詞、人形の動きに合わせて表現することの面白さや、難しさを体験してもらいます。かわせみ座の人形たちと共に、物語を演じます。



2013年10月 愛知県の中中学校での本番の様子

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, <input type="checkbox"/> ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ おべらしあたーこんにやくざ		
制作団体名	有限会社オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表取締役 萩 京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
電話番号	044-930-1720	F A X 番号	044-930-1721
ふりがな	おべらしあたーこんにやくざ		
公演団体名	オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表 萩 京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
制作団体 設立年月	1988年6月 法人設立 (1971年4月 劇団創立)		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 萩 京子 取締役 大石哲史		代表・音楽監督・座付作曲家/萩 京子、歌役者/ 40名、制作/7名、事務/2名、経理事務/1名 加入条件:団体の活動に全面的に参加できることが必要。歌役者はオーディションを、制作や事務は面接を行なう。
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	土居 麦
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	土居 麦

制作団体沿革	<p>1966年に東京芸術大学に発足した「こんにやく体操クラブ」を母体として、1971年、オペラ小劇場こんにやく座創立。日本においてオペラを普及させるために欠くことの出来ない条件として、日本語の明瞭な歌唱表現を追求しながら、小・中・高校生を主な対象とした全国巡回公演を開始。1985年4月にオペラシアターこんにやく座と改名。1988年6月、有限会社オペラシアターこんにやく座設立。創立以来、林光(故人)、萩京子作曲のオリジナルオペラを数多く創作、上演している。活動は国内に留まらず、過去7ツアー延べ19カ国の海外公演も行なっている。</p> <p>1989年、ジローオペラ賞特別賞、文化庁芸術祭賞、音楽之友社賞受賞。1997年、山本安英の会記念基金賞、三菱信託音楽賞受賞。2000年、『ロはロボットのロ』の成果により、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の3賞受賞。2014年、小泉文夫音楽賞受賞。</p> <p>1998年より継続して文化庁の現・文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)に採択される。また本巡回公演事業に2003年より継続し採択されている。</p>		
学校等における公演実績	<p>2017～2019年度の3年間において、学校公演は、『銀のロバ』60公演、『タンゲ-まほうをかけた舌-』57公演(本巡回公演事業以外)、『ロはロボットのロ』6公演(本巡回公演事業以外)、『森は生きている』32公演(本巡回公演事業以外)、『ネズミの涙』46公演、『おぐりとてると』12公演、「コンサート」7公演の計220公演を実施。このほか公文協一般公演や子ども・おやこ劇場、演劇鑑賞会など、旅公演193公演を実施。</p> <p>『ロはロボットのロ』は、1999年初演以来、小、中、高校、保育園幼稚園など、あわせて277公演を実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>1984年～2019年までに計30ステージ、約4200名の児童生徒が鑑賞している。作品は『森は生きている』、『ロはロボットのロ』、『ピノキオ』など。その他コンサート企画などの依頼を受け、実施している。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
Aの提出が困難な場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペラシアターこんにゃく座】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生					
企画名	オペラ『口はロボットの口』					
本公演演目	オペラ『口はロボットの口』					
原作/作曲	作曲:萩京子					
脚 本	台本:鄭義信					
演出/振付	演出:鄭義信/振付:伊藤多恵					
	公演時間(105分)					
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	許諾の有無	
演 目 概 要	<p>オペラ『口はロボットの口』は 1999 年初演。萩京子作曲による代表演目の一つです。初演以来、小学校公演や子ども・おやこ劇場公演を中心に展開。2005 年を最後に一度休演期間に入りましたが、全国の子ども・おやこ劇場からの再演を強く望む声に応え、2015 年より新演出版として再びツアーを廻るようになりました。2001 年に国際交流基金主催によるインドネシア・タイ・インド 3 カ国ツアー。2005 年に韓国公演を実施。【平成 12 年東京都優秀児童演劇選定において、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の 3 賞を受賞】</p> <p>物語は、歌い手 8 人が計 30 以上の役を演じながら、多層な場面構成により展開していきます。鄭義信の「ことば」と萩京子の「音楽」と魅力的な登場人物たちによって、笑って、泣いて、どきどきしながら、自分にとって一番大切なものを探す、旅のお話でもあります。困難に出会っても、負けずにまっすぐと前を向く主人公の視線に、(舞台にも登場する)できたてのパンを食べたときのように、心が温かなもので満たされてゆくオペラです。</p> <p>～ものがたり～</p> <p>ウェストランドのパン工場で働くパン製造ロボット‘テト’はパン作りが得意で大好き。ところがある日、作れるパンの数が減ってきてしまいました。テトは体を直してもらうため、自分を作ったドリトル博士の住むイーストランドを目指して旅立ちました。七日七晩歩きイーストランドにたどり着いたテトは、そこで‘ココ’という女の子と出会います。ロボットを目の敵にする魔女ノーマが支配するイーストランドで、テトはパンを作ることでココの窮地を救います。テトのパンは人々を幸せにしていますが、このパンのおいしさの虜になったノーマの娘‘ジーン’の策略よって、テトとココはふたたび窮地に立たされます・・・。</p>					
演目選択理由	<p>「こどもたちと、こどもだったすべてのおとなたちに贈る SF ファンタジーオペラ」をキャッチコピーとした本作は、冒険や出会いを通じて、主人公のロボットに血の通った感情が芽生えてゆく成長の物語です。心優しく、大切に思う人のために一生懸命なテトの姿に、子どもたちは自身を重ね、他人を思いやることの大切さや困難に立ち向かう勇気への気づきがあると期待します。</p> <p>昨今、人工知能の発達が報道される機会が多くなってきました。将来、関わりが密になっていくであろう人間とロボットとの共生に私たちはどのように向き合っていくのか、本演目にその示唆する所は多くあります。ひいては人間同士が自己と他者との違いを認め、友情や愛情を育む素地が自分にあることの発見と理解を、ワークショップや本公演を通じ、子どもたちに促していく所存です。</p> <p>本事業での取り組みも 4 年を経て、子供たちからの感想も数多く寄せられました。新たな楽しさの気づきや発見を、自分自身の言葉として伝えてくれる感想文には、前述した私たちの思いが届いていることを感じるものも多く、手ごたえを感じています。</p>					

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>ロボットや人工知能についての知識を深める事前学習に取り組んでもらいます。 本公演において全校児童生徒に劇に参加してもらいます。 1/「テトのパンはあ」を歌う場面で、出演者と一緒に演じながら歌います。 2/アンコール曲として「テトのパンはあ」をもう一度一緒に歌います。 学校の希望により、仕込みバラシの見学や、給食時間を一緒に過ごす工夫をします。</p>		
<p>出演者</p>	<p>相原友代、佐藤敏之、泉まどか、金村慎太郎、武田茂、飯野薫、小田藍乃、泉篤史(以上オペラシアターこんにゃく座歌役者)、服部真理子(ピアノ・フリー) ※経歴別紙</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 9名 <u>スタッフ： 7名</u> 合計： 16名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4 t 車長 8.4 m 台数 1台</p>

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>1／動きが独特で、すぐに真似をしてみたくなる「こんにやく体操」を導入に行なうことで、初対面の講師と子どもたちとの距離を一気に縮めるねらいを持ちます。かつ、無駄な力を抜きながらまっすぐ立つことを意識した体操から、こんにやく座が培ってきた日本語を歌う方法を子どもたちに分かりやすく伝え、各自が本来持っている声を引き出す準備運動を行ないます。</p> <p>2／短いひとつのシーンを、演劇で台詞だけで演じる場合と、オペラやミュージカルで台詞に歌がある場合の両パターン実演し、その違いを解説します。初めて目の当たりにする子どもも多いであろう“オペラ”への理解を促し、またこの後の時間で実践する、「歌いながら演じる」ことのイメージを膨らませてもらいます。</p> <p>3／本公演で共演してもらおう場면을創作し練習していきます。児童生徒が本公演に参加する意識をしっかりと持ち期待を高めてもらえるように、言葉を添えながら実践していきます。劇中歌「テトのパンはあ」が歌われるのは、主人公テトが、ココとその父であるパン屋のエドのピンチを救うために得意なパン作りを披露する場面です。ロボットと人間たちのあいだに信頼が生まれ、明日へと向かう「希望」を歌で表現しています。歌っていてうきうきしてくる気持ちにうまく振りをつけられるよう指導していきます。</p> <p>4／例えば、どのようなロボットがいたら楽しいか、そのようなロボットと共存する社会とはどのようなものかななどを子どもたちの視点で語ってもらい、将来への希望や夢を育むことを目的とします。各自が思い描いたイメージと友人のイメージとを比較したり、本公演で舞台に登場するロボットや人間に思いを寄せることで、未来への可能性をより広げてもらえることでしょう。</p> <p>5／最後に児童生徒(また教師)から、この時間で体験したことに対する質問や意見を受ける時間を作ります。疑問を抱いたことをそのままにせず、また繰り返しの確認を言葉で行なうことで、理解の定着を計ります。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>上記と変更なく実施することが可能ですが、事前打ち合わせで学校との相談の上、子どもたちの習熟レベルに合わせて対処し、やりかたを決めていきたいと思えます。</p> <p>基本的な考え方として、特別支援学校(学級)に在籍する子どもたちにも普通学級の子どもたちと同様に芸術に触れる機会を提供できるように工夫していきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

オペラシアターこんにゃく座

オペラ『ロはロボットのロ』 出演予定メンバー表

- ①相原友代・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学別科声楽専攻中退後、1988年入座。『ロはロボットのロ』魔女ノーマ役ほか多数のオペラに出演。
- ②佐藤敏之・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟県立巻高校卒業後、1995年入座。『ロはロボットのロ』エド役ほか多数のオペラに出演。
- ③泉まどか・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武庫川女子大学声楽学科卒業後、2009年入座。『ロはロボットのロ』ジーン役ほか多数のオペラに出演。
- ④金村慎太郎・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。埼玉県立芸術総合高校卒業後、2010年入座。『ロはロボットのロ』テト役ほか多数のオペラに出演。
- ⑤武田 茂・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。明治大学中退後、1980年～1985年こんにゃく座に在籍、2010年に再入座。『ロはロボットのロ』マニー役ほか多数のオペラに出演。
- ⑥飯野 薫・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学専攻科演劇専攻修了後、2012年入座。『ロはロボットのロ』ココ役ほか多数のオペラに出演。
- ⑦小田藍乃・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業後、2012年入座。『ロはロボットのロ』ハロー役ほか多数のオペラに出演。
- ⑧泉 篤史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟大学卒業後、2015年入座。『ロはロボットのロ』シオン役ほか多数のオペラに出演。
- ⑨服部真理子・・・フリーのピアニスト。ピアノを吉田よし、辛島輝治両氏に師事し、東京芸術大学附属音楽高校を経て同大学を卒業する。同年渡仏。G. ムニエ女史に師事。1981年エピナル国際コンクールに入賞。ソロ、室内楽の分野で数々のコンサートを各地で行う。1999年、パリにおいてのコンサートでは作曲家をはじめ様々な分野から絶賛される。1987年よりオペラシアターこんにゃく座との共同作業を開始し、数々の初演に参加する。2000年秋にはラヴェルのコンチェルトを名古屋フィルハーモニーと共演、好評を得る。サクソフォンニストとの共演も多く、近年はファブリス・モレティとフランス、日本で定期的にコンサートを開催している。

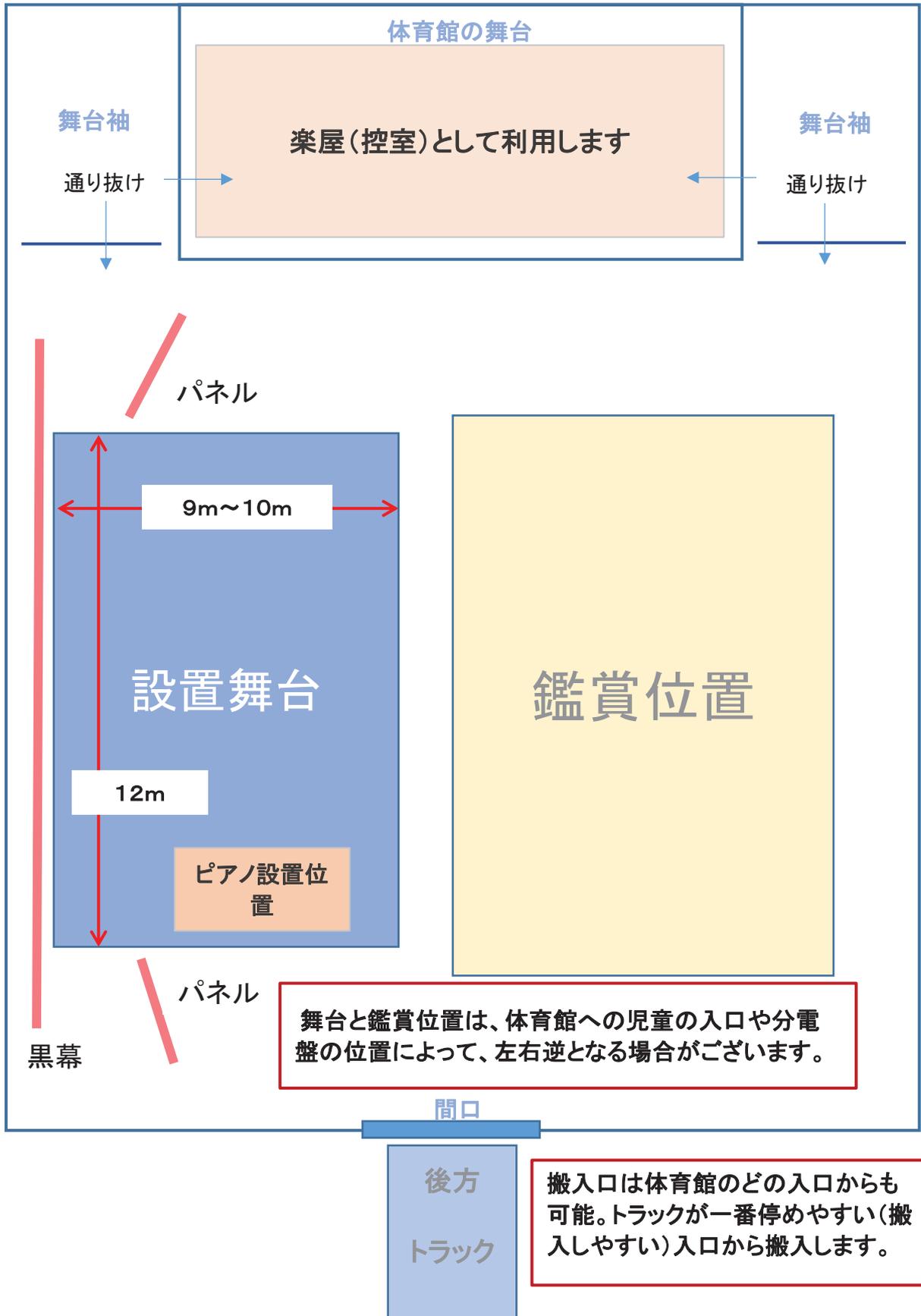
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	611	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック		区分	A区分
公演団体名	オペラシアターこんにやく座				制作団体名	有限会社 オペラシアターこんにやく座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	体育館緞帳を閉めステージ上を控室(楽屋)とします。他に昼食時の控室をご用意下さい。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	バン	2台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車幅2.3m×車長8.4m×車高3.3m)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			20m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・できる限り屋根のある経路が望ましい。				
		理由			舞台大道具の搬入をするため				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2.0m		
WSIについて	可	参加可能人数			450名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			450名程度まで				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	9~10m	高さ	5.4m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *				
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *			バトン *	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を出すため		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場図参照。上げ下ろしが必要な場合、当日一緒に行います。			
	可			ピアノの事前調律 *	要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			100A (最低65A)	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
不可	ピアノの状態(調律)が悪い場合は、必ず本公演までに調律をお願いします。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.0m
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			20m	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

とってもこころがあったかくなりました。

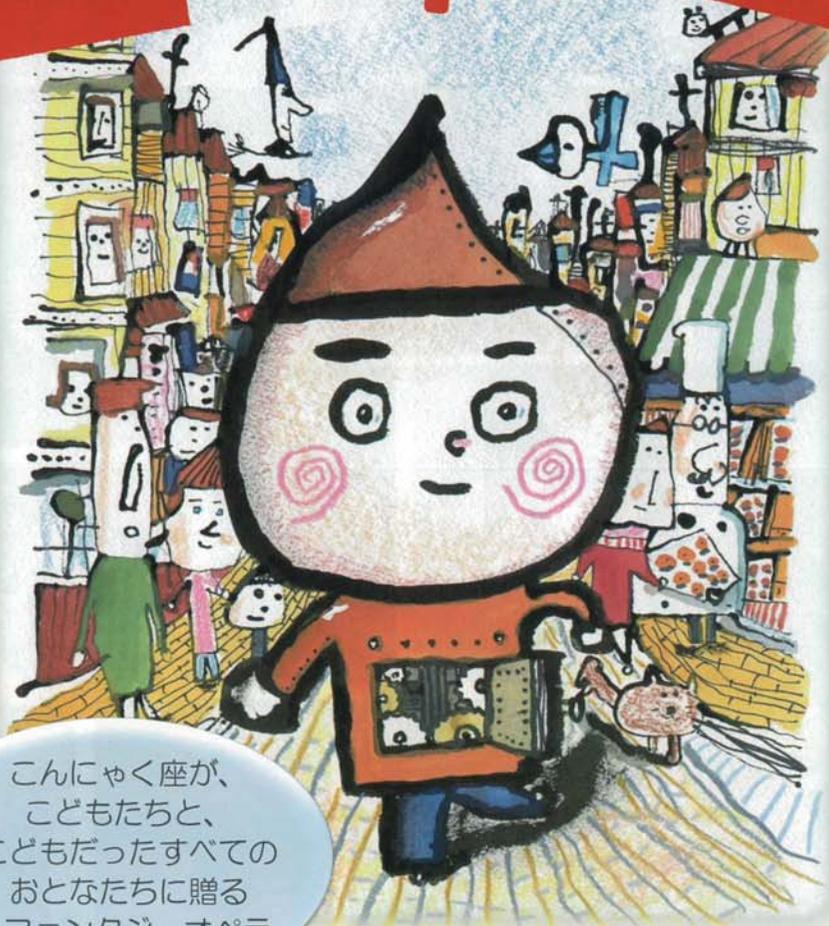
とてもエネルギーで笑いも悲しみも希望も有りて
最初から最後まで一気にあったという間でした。

～アンケートより～

オペラシアターこんにゃく座

はロボットの

台本・演出 鄭義信
作曲 萩京子



初めまして、ほく、テト。
パン製造ロボットRKJ502A001です。
空は飛べません。

こんにゃく座が、
こどもたちと、
こどもだったすべての
おとなたちに贈る
SF ファンタジーオペラ。



あらすじのあ

ほく、パン製造ロボットRKJ502A001、名前はテト。ほくのたった一つだけ得意なこと、それはパンをつくることです。

パン工場では親方のママ・モンローのもとパンロボたちが毎日楽しくパンを作っています。ところがある日から毎日千個つくれたはずのパンが1個づつ減ってきました。

テトはドリトル博士に直してもらうために、たったひとり東のはずれにあるイーストランドへ旅に出ます。しかしそこでは魔女たちが町を支配していました…。

人間の女の子ココに出会い、町中の人々が魔女のせいだで困っていることを聞きます。

テトは町の人々を助けるために、パンを作り続けボロボロになってしまいます。

魔女の一味がココの家に火をつけたことを知ったテトは自分の体を顧みず助けに行きます。

エネルギーを使い果たしたテトは、もう2度と動くことができなくなってしまいました。ココと父のエドはテトがいつか帰ってくることを信じて「テトのパン屋」で今日も元気にパンを作ります。

テトは果たして戻ってくるのでしょうか！？



写真：青木司・姫田剛

ロボットだって

人間だって



こどもだって

たいせつで守りたいものがある。

おとなだって、



みどころのみ 作曲 萩京子

自分にとっていちばんたいせつなことはなんなのか、テトといっしょに考えてみませんか。オペラ『口はロボットの口』は、音楽でお話が進んでいきます。楽しい歌がたくさんあります。思わず口ずさみたくなる歌も。それから、歌が会話になっているところもあれば、合唱もあります。ロボットたちの不思議なダンスもあります。8人の出演者が30人以上の役を演じます。1台のピアノがオーケストラに負けないくらい、いろいろな音を出して、登場人物の嬉しさや悲しさや悔しさ、そして喜びを表現します。

スピーディーな場面展開、とてもコンパクトにしてダイナミック。オペラのさまざまな要素がみんな入っています。そして、とても懐かしい気持ちにさせてくれるオペラです。

「テトのパンはあ。あいうえおのあ。忘れていた青空のあ。」

オペラを見た帰り道、歌ってください。

台本・演出 鄭義信

人はだれでもいつでも、自分にとって大切に、絶対守りたいものがひとつはあるはずだと思う。どんなにちっぽけな夢、希望、愛であっても。それを守るためなら、子どもだって大人だって、どんなに弱い人間だって一生懸命立ち上がっていけるんだって思う。自分にとって大切なものは何だろうって思ってほしい。

そしてこの作品を、生きることへのエールみたいに思ってもらえたらいいな。



オペラシアターこんにゃく座

日本語がはっきりわかるオペラを創作上演するオペラ劇団として1971年に創立。マイクをとおさない歌声、ピアノ、様々な楽器の生演奏による作品を数多く上演。歌役者の歌い語り演じる力によって、劇場に限らず、体育館その他様々な会場を一日だけのオペラハウスに変えていきます。

オペラ『口はロボットの口』受賞歴

東京都教育委員会優秀賞

(社)日本演劇協会賞

(財)都民演劇賞



台本・演出：鄭義信

作曲：萩京子

美術：乗峯雅寛

衣裳：太田雅公

照明：増田隆芳

振付：伊藤多恵

舞台監督：久寿田義晴

特殊小道具：渡辺数憲

音楽監督：萩京子

宣伝美術：長谷川義史（絵）



ちよみうしん
鄭義信 / 劇作家・脚本家・演出家 / 兵庫県出身
舞台・映画・テレビ等の脚本やシナリオを数多く手掛ける。
『ザ・寺山』(岸田國士戯曲賞) 『愛をさぐると』(日本アカデミー賞最優秀脚本賞) 『焼肉ドラゴン』(読売演劇大賞) 他受賞多数。



はぎきょうこ
萩京子 / 作曲家 / 東京都出身
オペラシアターこんにゃく座、座付き作曲家兼ピアニスト。
1997年より音楽監督、2004年6月より代表に就任。
代表作『おぐりととて』『アルレッキーノ』他多数。

オペラシアターこんにゃく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1

TEL 044-930-1720 FAX 044-930-1721 MAIL info@konnyakuza.com URL http://www.konnyakuza.com

VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

B区分(令和2年度採択 延長)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	<u>バレエ</u> , 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじんとうきょうしていばれえだん		
制作団体名	公益財団法人東京シティ・バレエ団		
代表者職・氏名	代表理事 依知川悦子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅)		
電話番号	03-5638-2720	FAX番号	03-3634-8845
ふりがな	とうきょうしていばれえだん		
公演団体名	東京シティ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 安達悦子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0004 東京都江東区森下1-6-14 レックス森下303号室 (都営新宿線・大江戸線「森下」駅)		
制作団体 設立年月	1968年	6月	
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:依知川悦子 理事:金井利久 中島伸欣 小林洋 壺 石井伸夫 森隆一郎 山本千絵 評議員:石井清子 渡邊洋子 鳥海 壮宜 長谷川孝男 監事:石井紀男	団体構成員:140名 加入条件:バレエ団員としての実力を認められた者	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	山本千絵
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	山本千絵

制作団体沿革	<p>1968年、合議制によるという理念の下、創立。以降、この精神を大切に、古典バレエと創作バレエ(オリジナルバレエ)を両輪のごとく上演し続けている。1994年より日本バレエ界において初めて東京都江東区と芸術提携を結ぶ。これにより、ティアラこうとう(江東公会堂)において、毎年4演目(古典バレエ、創作バレエ、ティアラこうとうオリジナル企画「オーケストラ with バレエ」、オーディションで選ばれた子どもたちのとの共演が話題の「くるみ割り人形」)を提携公演として、低廉な料金で質の高いバレエ公演を企画・実施している。その他、江東区主催事業として、小学校を訪問しての「アウトリーチ事業」、同じく芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との「オーケストラ&バレエ体験」などのエデュケーションプログラムも意欲的に実施し、地域への貢献にも力を入れている。その他、全国子ども劇場や海外公演、学校主催芸術鑑賞教室等も実施している。</p> <p>2009年一般財団法人設立。2016年7月1日より公益財団法人に移行する。</p>		
学校等における公演実績	<p>1984年 都立深川高校記念行事にて「レ・シルフィード」、八王子市・純心女子高校にて「パキータ」「白鳥の湖」第2幕(1987年)、「 Coppélia」(1991年)、東京都(主催)中高校生のためのバレエ鑑賞教室「Coppélia」(2003年)、「真夏の夜の夢」(2004年)、私立三輪田学園中学校・高等学校 芸術鑑賞教室「真夏の夜の夢」(2005年)「ジゼル」(2011年)「Coppélia」(2017年)。平成14年度、15年度、17年度、20年度、21年度、文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)。平成22年度子どものための優れた舞台芸術体験事業(巡回公演事業)。平成23年度～25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)。平成26年度～30年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)。令和1年度文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)。日生劇場国際ファミリーフェスティバル2005年「真夏の夜の夢」、2011年「Coppélia」、2017年「Coppélia」</p> <p>2006年より「ティアラこうとうアウトリーチ事業」にて、毎年江東区内小学校3～6校で実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成14年度文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」佐賀県立ろう学校。平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」埼玉県立坂戸ろう学校、埼玉県立東松山養護学校。平成25年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)「Coppélia」長崎県立佐世保特別支援学校</p> <p>平成26年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)「Coppélia」岩手県立一関清明支援学校、札幌市立豊成養護学校、北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校</p> <p>平成29年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)「Coppélia」香川県立善通寺養護学校。2017年Tiara Ballet Daysサテライト企画 東京都立城東特別支援学校ワークショップ。</p> <p>2019年ティアラこうとう社会包摂事業アウトリーチとして都立墨東特別支援学校(2019年11月実施予定)</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		有 ・ 無	
※公開資料有の場合 URL		https://youtu.be/ygih4kdA2B0	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

東京シティ・バレエ団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	ようこそ、バレエ「コッペリア」の世界へ		
本公演演目	第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」 第2部「コッペリア」より〈コッペリアの仕事部屋〉 第3部「コッペリア」より〈鐘の祭り〉 ■作曲:レオ・ドリーブ ■原作:ホフマン ■原台本:ニュイッテル サン・レオン ■原振付:サン・レオン ■演出・振付:石井清子 ■演出助手:長谷川祐子、加藤浩子 ■衣裳:八重田喜美子、石井清子 ■照明:有限会社ハロ ■音響:株式会社シグマコミュニケーションズ ■大道具:ユニ・ワークショップ ■舞台監督:浅田光久 公演時間(休憩2回含め100分)		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	第1部「バレエってなあに?～バレエを楽しもう!～」では、バレエの歴史や、バレエ用語、マイムをどの学年の方にも解りやすく解説し、クラシックバレエのレッスン風景を見学します。第2部は「コッペリア」から《コッペリウスの仕事部屋》のシーンを、第3部では、同演目の《鐘の祭り》を上演します。「コッペリア」は、青年フランツが窓辺で見かけた美しい少女に心を奪われた事を知った恋人のスワニルダが、やきもちを焼いて、少女の家に忍び込みます。すると、その美しい少女は、コッペリウスという人形作りの老人が作った人形コッペリアでした。てんやわんやの騒ぎの末に、フランツとスワニルダは仲直りをして、めでたく結婚する、という物語です。《コッペリウスの仕事部屋》ではコッペリウスとスワニルダが繰り広げる楽しい物語を、《鐘の祭り》では、バレエの美しさをたっぷりとご覧頂きます。		
演目選択理由	この作品は、世界中のバレエファンに愛される古典作品の一つです。明るく楽しい内容と、CM等で聴きなじみのある音楽により、バレエ鑑賞が初めての子どもでも物語に入っていくやすい演目のため、本演目を選択しました。実際の作品を鑑賞しながら、第1部で体験したバレエの要素が第2部の作品の中でどのように活かされ、踊りやマイムにより、ダンサーたちが何を表現しているかを感じることを目的とします。この「コッペリア」体験をとおして、バレエに身近に触れる事により、バレエの魅力的な世界への扉に導く事を目指します。		
児童・生徒の共演,参加又は体験の形態	「バレエ」という様式は、世界共通のものであり、ヨーロッパ、アメリカ、南米、アフリカ、アジア各国において広く文化として根付いているものです。言葉を使わずに踊りで感情を表現しますが、「バレエパントマイム」という動きを用いて、感情を表現する事があります。第1部では、ワークショップでマイムを学んだ皆さんに舞台上でダンサーたちと実演してもらい、身体表現を体験して頂きます。そして、《鐘の祭り》の幕開き部分では、市長・市長夫人・花をまく子ども役として、先生、児童生徒の皆さん数名に出演してもらい、ダンサーと一緒にこの場面を盛り上げて頂きます。また、バレエは、音楽・衣裳・照明・大道具(美術)が揃う「総合芸術」です。一つの作品を創り上げるためには、多くの力と技術が必要となりますが、児童・生徒の皆さんには、舞台スタッフや出演者と一緒に機材や大道具の搬入や作品で使用する簡単な道具の組み立て、衣裳のアイロンがけ等を体験して頂きます。この体験を通して、体育館をステージへと変化させていく過程など、普段知る事の出来ない「総合芸術」の構造を知る事が出来ます。また、当団では、後方で鑑賞する子供たちも舞台が良く見えるように、客席の設営も行っております。緩やかな傾斜のある客席で鑑賞する事で、舞台に集中できる環境になっています。		

【公演団体名

東京シティ・バレエ団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(2時間30分程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時 30分	8時30分～11時	13時30分～ 15時10分	10分 ×2回	15時30分～ 17時	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1学年程度(120名)が望ましい				
	本公演	実施会場の広さにより変動				
ワークショップ 実施形態 及び内容	前半は、ダンサーと一緒にストレッチをしたり、バレエダンサーの基本訓練の様子を、解説を交えながらご覧頂きます。また、実際にバレエの基本動作や、マイム(=身振り手振り)を指導し、体験してもらいます。マイムは本公演にて数名の生徒さんに実演していただきます。後半は、バレエ「コッペリア」より、解説を交えながら4曲の踊りをご覧頂きます。最後は、コッペリアのコーダ(終曲)に合わせて簡単なステップを指導し、全員で踊ります。(体を動かしますので、ワークショップには体操着での参加をお願い致します)					
ワークショップ 実施形態の意図	バレエは、言葉のない「芝居」です。言葉でなく身体で自分の気持ちを表現する方法の一つにバレエ特有のマイムがありますが、この動きに感情をのせ、相手に自分の思いを伝える事を体験してもらいます。また、音楽に合わせて身体を動かす事の心地よさや、バレエのはじまり、衣裳の歴史、バレエの基本動作を体験することで、様々な角度からバレエ芸術および本公演への期待を膨らませることがねらいです。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	過去には、解説部分を先生の手話通訳と共に進めたり、上演時間を調整する事で子供たちの身体への負担を出来る限り少なくする、観賞場所(客席)の設置方法を変更するなど、行って参りました。各校で状況が違うため、どんな事にも可能な限り対応できるよう、都度打合せをしながら進めて参ります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

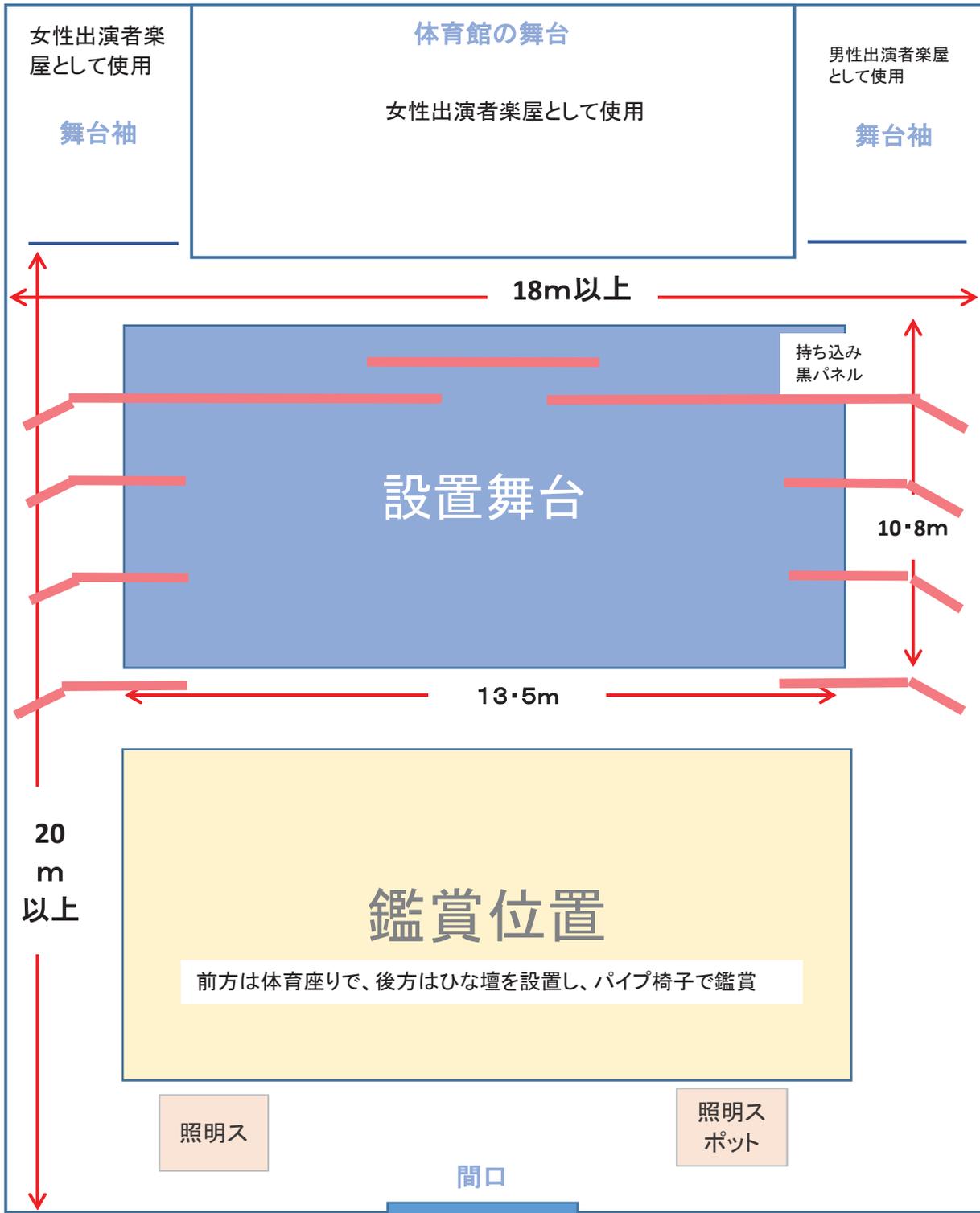
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1607	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	E	区分	B区分
公演団体名	東京シティ・バレエ団				制作団体名	公益財団法人 東京シティ・バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 2台		電源車 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅3m・高さ3.6m・全長9m)2台、 電源車(幅1.8m全長5m)1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					
	/	理由			重量のある機材を多く搬入するため、					
	—	設置階の制限 *			問わない					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m				
WSについて	可	参加可能人数			120名程度が望ましい					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分(休憩含まず)					
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			実施会場の広さにもよるが500名程度が望ましい					
	不可	舞台設置場所 *			フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	10.8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態			
	可				緞帳 *	要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を上げるため			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	—	公演に必要な電源容量			—	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
—	舞台スタッフ・出演者の控室は全て体育館内に設置しますので、別途ご用意は必要ありません。									

会場図面(表記単位:メートル)



トラック 後方

トラック 後方

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れい わ ねん ど
令和2年度

ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかいこうえんじぎょう
—巡回公演事業—

とうきょう だん
東京シティ・バレエ団

バレエ「コッペリア」より



ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わがくにいちりゅうのぶんかげいじゆつだんたい、しょうがっこう・ちゅうがっこうなどにおいてこうえんし、こどもたちがすぐれた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜんワークショップでは、こどもたちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ぶん か ちょう



あらすじ

ある町にコッペリウスという人形作りの老人が住んでいました。ある日、コッペリウスは町の人を驚かせようと、丹精込めて作ったコッペリアと名付けた人形を2階の窓辺に座らせました。コッペリウスの向かいに住むスワニルダは、恋人のフランツがコッペリアに投げキスしているのを見てしまい、二人はけんかを始めてしまいます。ある日、スワニルダは偶然コッペリウスの家の鍵を見つけ、友人たちと一緒に忍び込んで行きます。コッペリウスは、扉が開いているのを不思議に思いながら家の中へ入っていきます。一方フランツもコッペリアに会おうと忍び込みます。

「コッペリウスの仕事部屋」



沢山の人形が置いてあるコッペリウスの仕事場でスワニルダはコッペリアが人形だった事を知ります。そこへ、ひどい剣幕でコッペリウスが入ってきました。スワニルダはカーテンの後に隠れます。するとフランツが入ってきました。でもすぐにコッペリウスに掴まえてしまいます。コッペリウスはフランツの魂をコッペリアに移そうと彼を眠らせ魔法の本を取り出します。

スワニルダはカーテンの陰で、コッペリウスの企みを知り、すばやくコッペリアの洋服を身に付け、コッペリアになりすまして魔法が効いたふりをします。魂を抜かれたはずのフランツがあたりをキョロキョロ、コッペリウスが不思議がっているところへ、スワニルダが来てフランツの手をとり逃げていってしまいます。あとには洋服をぬがされたコッペリア人形が椅子に寄りかかっていた。

「鐘の祭り」

町に「時を告げる鐘」が贈られ、祝典が行われます。そして、スワニルダとフランツの結婚式も行われます。すべてがめでたく解決し、にぎやかな踊りの始まりです。



♪ このバレエに出てくる踊り ♪

- ワルツ …… 3拍子の楽しいリズム。コッペリアの中では「時のワルツ」が有名です。
- マズルカ …… ワルツと同じ3拍子ですが、アクセントの位置に特徴のあるポーランドの曲。
- チャルダッシュ …… ハンガリー地方の民族舞踊。兵士が「酒場(チャルダ)」で踊ったのがはじまり。
- ボレロ …… スペイン風の踊り。コッペリアの中ではスワニルダが扇を持って踊ります。
- ジグ …… アイルランドに伝わる民族舞踊で、とても速いテンポの踊り。

第1部 バレエってなあに?~バレエを楽しもう!~

バレエダンサーは、毎日欠かさず練習をしています。バーレッスン(バーにつかまっの練習)や、センターレッスン(バーを離れての練習)を通して、バレエを踊るために必要な筋力を鍛え、美しい姿勢を身に付けます。

他に、バレエでは欠かせない、男女2人で踊る「パ・ド・ドゥ」や、身振りや表情で感情を表現する「マイム」も紹介します。

【解説】 会田夏代

【パ・ド・ドゥ】 飯塚絵莉 福田建太 / 斎藤ジュン 土橋冬夢

【マイム】 大内麻莉 吉岡真輝人

第2部 「コッペリア」より

<コッペリアの仕事部屋>

【おはなし】 会田夏代

スワニルダ 庄田絢香

フランツ 濱本泰然

コッペリア 春野雅彦



コッペリア 新里茉莉絵

スワニルダの友人 松本佳織 飯塚絵莉 大内麻莉 斎藤ジュン 石井白奈子 三好梨生

中国人形 岡田晃明 / 栄木耀瑠

ロココ人形 石塚あずさ / 築藤佳奈

ムーア人形 土橋冬夢 / 吉岡真輝人

ジャックマール人形 折原由奈 五島茉佑子

第3部 「コッペリア」より<鐘の祭り>

時のワルツ

ソリスト 飯塚絵莉 且股治奈 土橋冬夢 吉岡真輝人

コールド 馬場彩 浅井蘭奈 加瀬裕梨 折原由奈 石塚あずさ 三好梨生 五島茉佑子 築藤佳奈

曙 平田沙織

祈り 大内麻莉 植田穂乃香 山本彩未

仕事 松本佳織 斎藤ジュン 新里茉莉絵 石井白奈子

戦い 福田建太 岡田晃明 栄木耀瑠

平和 庄田絢香 濱本泰然



スタッフ

さつ きょく
作曲
げん さく
原 作
げん だい ほん
原 台 本
げん ぶり つけ
原 振 付
こうせい えんしゅつ ぶりつけ
構成・演出・振付
えんしゅつ じょしゅ
演出助手

レオ・ドリーブ
E.T.A.ホフマン
シャルル・ニューイッテル／サン・レオン
サン・レオン
いしい きよこ
石井清子
はせがわ ゆうこ
長谷川祐子

ぶ だいかんとく
舞台監督
しょう めい
照 明
おん きょう
音 響
おお どう ぐ
大 道 具
い しょう
衣 裳

あさ だ てるひさ
浅田光久
よしだ まこと こ だいらのりお
吉田 信／小平 典夫
かぶ
(株)シグマ・コミュニケーションズ
ゆう
(有)ユニ・ワークショップ
やえだ きみこ いしい きよこ
八重田喜美子／石井清子



とうきょう だん
東京シティ・バレエ団



「ベートーヴェン交響曲第7番」(ウヴェ・ショルツ振付)より

1968年設立。「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」をはじめとする古典バレエのほか、「ロミオとジュリエット」「真夏の夜の夢」「ボレロ」などのオリジナルバレエや海外から振付家を招いて「ベートーヴェン交響曲第7番」などを上演しています。1994年より東京都江東区と芸術提携を結び、地方自治体と提携を結ぶ唯一のバレエ団としてティアラこうとう(江東公会堂)で定期的に公演を行っています。

とうきょう だん
東京シティ・バレエ団ビジョン

Ballet for Everyone

バレエ・フォー・エヴリワン

～バレエの楽しさと豊かさを、すべての人と分かち合おう～



「白鳥の湖」より

『バレエ』とは?

バレエは、美しい音楽に合わせて言葉を使わずに踊りで気持ちを表現します。オペラが自分の気持ちを歌で表現するのと同じです。ですから、バレエは「目で見る音楽」とか「動く絵画」などといわれています。バレエは、ルネッサンス期のイタリアの貴族の館のパーティーで踊られた踊りが起源といわれています。その後、イタリアからフランス王室に嫁いだカトリーヌ・ド・メディシスによりフランス宮廷に広がりました。特にフランスの王様ルイ14世は自分でも踊るほどバレエが好きで、「王立舞踊学校」を設立し、ここで今日のバレエの基礎がつくられ、ロシアで発展していきました。



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<input checked="" type="checkbox"/> 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじん こんごうかい	
制作団体名	一般社団法人 金剛会	
代表者職・氏名	代表理事 種田道一	
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上ル龍前町 590 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅、6番出口より徒歩5分、京都市営バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分)	
電話番号	075-441-7222	FAX番号 075-451-1008
ふりがな	いっばんしゃだんほうじん こんごうかい	
公演団体名	一般社団法人 金剛会	
代表者職・氏名	代表理事 種田道一	
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上ル龍前町 590 金剛能楽堂内 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅、6番出口より徒歩5分、京都市営バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分)	
制作団体 設立年月	令和2年4月	
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	<ul style="list-style-type: none"> ●会長 金剛永謹(金剛流26世宗家) ●代表理事 種田道一(金剛流職分家) ●理事 弘田幸稔(金剛流職分家)・金剛龍謹 ●監事 吉村彰彦 ●本巡回公演担当グループの構成 事業企画グループマネージャー: 弘田幸稔 事業企画グループリーダー: 豊嶋晃嗣(金剛流職分家) 企画制作担当: 山田伊純、向井弘記	※別添⑤定款参照

	事務担当: 田中敏文、豊嶋祐三子 経理担当: 吉田和正(税理士)、和田次夫		
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	田中敏文 豊嶋祐三子
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	吉田和正(税理士) 和田次夫
制作団体沿革	<p>金剛流は能楽シテ方五流のひとつで、古くは奈良の法隆寺に奉仕した猿楽座の坂戸座を源流とし、室町初期には春日興福寺に勤仕する大和猿楽四座のひとつとなり、のちに金剛座、そして現在の金剛流へと至りました。現在では、能楽五流のうち四流の宗家が東京を本拠地に行っている中で、関西・京都に宗家が在住する唯一の流儀です。芸風は、豪快でめざましい動きの中にも、華麗・優美さがあり、「舞金剛(まいこんごう)」といわれます。また、豊臣秀吉から拝領した「雪の小面」や、金剛孫次郎自作の本面「面影」など、所蔵する能面・能装束に名品が多く、「面金剛(おもてこんごう)」とも言われています。</p> <p>昭和56年に、先代家元である二世金剛巖(25世宗家)、流儀能楽師、愛好家によって創設された任意団体である「金剛会」は、流儀の伝承、普及、後継者養成に長年にわたって寄与して参りました。そして令和2年4月に一般社団法人となり、旧金剛会の目的と活動を継承し、さらなる発展に取り組んでいます。</p>		
学校等における 公演実績	<p>平成27年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 3クール計12校、追加公演3校にて能「絵馬」の上演</p> <p>平成28年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 2クール計8校、追加公演5校にて能「絵馬」の上演</p> <p>令和28年度 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」 新町小学校(京都府) (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)</p> <p>平成29年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 4クール計8校にて能「絵馬」の上演</p> <p>平成30年度 「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 金剛流「船弁慶」)</p> <p>平成30年度 「京都府次世代文化継承・発展事業」 (舞鶴市立白糸中学校 公益社団法人能楽協会委託事業)</p> <p>令和元年度 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」 竹田小学校(京都府)、納所小学校(京都府) (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)</p> <p>令和元年度 「夏休み芸術体験教室・発表会」 小中学生が体験教室で能楽の仕舞を学び、本物の能舞台上で発表 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)</p> <p>令和元年度 「能楽体験 教員セミナー ～能楽に触れてみよう～」 小中学校教員を対象とした能楽鑑賞および体験 (※文化庁、公益社団法人能楽協会 委託事業)</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>平成27年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 第1クール(6月25日)の青森県立若葉養護学校にて公演</p>		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人金剛会】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中学生		
企画名	みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>① 能のお話（５分） ア、始まりの挨拶(能のお稽古は必ず挨拶から始まります) イ、能・狂言のお話(歴史、なりたち、能舞台の説明、舞台での役割分担)</p> <p>② 狂言「柿山伏」の上演（１５分）</p> <p>③ 狂言「柿山伏」について(5分) 鑑賞した狂言「柿山伏」の特徴的な所作などを解説し、全員で体験します。</p> <p>④ 能「鞍馬天狗」参加しよう！～稽古・リハーサル～（１０分） ワークショップで習得した稚児役と地謡役の最終稽古とリハーサルを行います。 稚児役/舞台での立ち位置、動線などの確認 地謡役/全員で謡う、小謡「花咲かば」の確認</p> <p><休憩>（１０分）</p> <p>⑤ 能「鞍馬天狗」の鑑賞にあたって（５分）</p> <p>⑥ 能「鞍馬天狗」の上演（４０分）字幕付き</p> <p>⑦ 能楽師との交流の時間～感想と質問～（１０分） 能・狂言を体験・鑑賞した子供たちが感想を発表しあいます。また能楽師も、感想を伝え、質問に答えます。</p> <p>⑧ 終わりの挨拶(能の稽古は必ず挨拶で終わります)</p> <p>※マイク1本、スクリーンをご用意ください。 ※稚児役の児童・生徒は白足袋または白ソックスをご用意ください。 ※コロナウイルス感染の状況により、ご担当の先生と綿密に打ち合わせを行い、適切な上演方法を模索します。</p> <p style="text-align: right;">公演時間（ 90分）、休憩時間（ 10分）</p>		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>▼狂言「柿山伏」について 典拠:「宇治拾遺物語」の「実ならぬ柿の木」に説話がみられる。 あらすじ: 山伏が修行を終えて故郷に帰る途中、喉が渇いてしまい、ふと見上げると見事な柿があることに気づく。木の下から落とそうと試みるが、なかなか上手くいかなかったため、木に登って柿を食べてしまう。ところが、誤って口にしてしまった渋柿を投げ捨てたところ、見廻りに来ていた持ち主に当たり、無断で柿を食べていたことに気づかれてしまう。柿の木に登っているのは犬だ、猿だ、鳥だ、鳶だと言われる度に、それらの動物の鳴き真似でその場を凌ぐものの、最後に鳶は飛ぶものだ、と言われ、飛んではみるものの、大怪我をして悪事が露呈してしまう。自分の罪を覆い隠そうとする山伏の滑稽な姿を、面白おかしく描いている。</p> <p>▼能「鞍馬天狗」について 作者:宮増某(一説に世阿弥とも) 典拠:源義経の幼少期を題材とした能。「平治物語」の牛若丸の條、幸若の「未来記」などの伝説から取材したものと考えられる。 あらすじ: 鞍馬山西谷の花見の招待を受けた東谷の僧は、稚児たちを連れて西谷へ行き、花見の宴を開く。そこへ一人の見知らぬ山伏が侵入して来たので、僧たちは座を立てて帰って</p>		

しまう。沙那王(牛若丸)は、一人居残って山伏に対し好意を示す。山伏は沙那王を連れて花の名所を見せて廻った後、実はこの鞍馬山に住む大天狗であることを明かし、明日の再開を約して僧正ヶ谷へ飛び去る。翌日沙那王は、約束の場所に来て待っていると、大天狗が配下の天狗を従えて現れ、沙那王に兵法の奥義を伝え、平家を滅ぼす時に力を添えることを約束して、夕影の暗くなった鞍馬山の杉の梢に飛び去って行く。



能「鞍馬天狗」稚児



能「鞍馬天狗」前場

演目選択理由

ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「能楽」は、能と狂言の両方を指します。能と狂言は、古来よりセットで上演されてきました。シリアスな能の合間にコミカルな狂言を楽しむ趣向は、現在行われている多くの有料公演にも引き継がれています。本巡回公演でも、このような本格的な形式に則り上演します。

▼狂言「柿山伏」について

狂言の代表作で、小学校の教科書にも採用されている演目です。

見た目の面白さだけでなく、子供たちにも十分に理解出来るストーリーの可笑しさもあり、バランスの取れた秀作です。擬音や動物の鳴き声の場面は、子供たちが思わず真似をしたくなり、いつまでも記憶に残ります。

狂言は、中世の庶民の日常をコミカルに生き生きと描いています。また、ほとんどが面をつけずに行われセリフにより演じられます。能と狂言を同時に鑑賞することで、その違いをより実感できます。

▼能「鞍馬天狗」について

「鞍馬天狗」は、稀代の英雄で、子供たちにも馴染みのある源義経(幼名:牛若)が活躍します。義経が登場する能は数多く残っていますが、鞍馬天狗では、今回、鑑賞する子供たちと同じ年頃の義経が描かれており、親近感を持って物語を楽しむことができます。

物語は、義経が鞍馬寺へ預けられ、学問に精を出す一方、夜な夜な寺を抜け出して武芸の稽古に励み、その相手役を務めたのが、鞍馬山の天狗たちといわれていることに由来しています。この天狗たちが生涯義経を助けることとなります。

義経と天狗たちとの出会いは、みんなから敬遠された1人の山伏を優しく受け入れた義経の行動がもたらしたものです。子供たちには、異なった文化を持ち、異なった身なりをしている人でも歓迎し、受け入れ、一緒に時間を仲良く過ごし、お互いの理解を深め信頼関係を構築することが重要であることを物語から読み取ってもらい、情緒溢れる健全な心身づくりの一助となればと考えます。

前場は、山伏と牛若との愛情を主眼に、甚だ人情味豊かな場面が展開され、後場では、大天狗が、牛若に兵法の奥義を伝授する場面が描かれています。曲中を通して緩急変化に富んでおり、華やかに、そして強々と展開し、ひとときわ明朗闊達な秀作となっており、子供たちにも最後まで集中力を持って鑑賞してもらえる内容です。

実際、プロとして活躍する能楽師の幼少期には、本曲の「稚児役」で初舞台を踏むといったケースは殊に多くみられ、プロの入り口を垣間見られる曲となっています。本巡回公演事業を通し、たくさんの児童・生徒たちにもこれを経験していただくことで、古典芸能へのより深い理解や親しみが得られると考えます。



能「鞍馬天狗」後場



狂言「柿山伏」

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

能「鞍馬天狗」を共演・体験します。事前ワークショップでは、児童・生徒全員が、稚児役、地謡役の「舞」や「謡」の一部を能楽師による指導で習得します。公演当日は、稚児役として一部の児童・生徒が舞台に立ち、全員が鑑賞位置から地謡役として参加します。子供たちは、稽古を重ね、実際の舞台へ出演することで、能の手法や面白みを、より鮮明に感じることが出来ます。

※稚児役の子供・生徒は、制服・平服に、白足袋または白ソックスの服装で演じます。

出演者

金剛流若宗家・金剛龍謹(こんごうたつのり)をはじめ、金剛流職分家一門の能楽師を中心に、能楽界において第一線で活躍中のシテ方、ワキ方、狂言方、囃子方が出演します。なお、出演予定者は以下の通りです。

※仮番組と主な出演者のプロフィールは別添②参照

●シテ方(開催日により下記より、計12名)

金剛龍謹、◎種田道一、◎廣田幸稔、◎豊嶋幸洋、◎今井克紀、◎豊嶋晃嗣
宇高竜成、宇高德成、田中敏文、谷口雅彦、和田次夫、重本昌也、山田伊純
惣明貞助、向井弘記、湯川稜

●ワキ方(開催日により下記より1名)

◎江崎欽次朗、原大、有松遼一、岡充

●狂言方(開催日により下記より、計3名)

大蔵流狂言方・茂山家一門

●囃子方(開催日により下記より、計4名)

(笛方)◎杉市和、◎森田保美、◎左鴻泰弘、杉信太郎
(小鼓方)◎林吉兵衛、◎吉坂一郎、◎曾和鼓堂、林大和、林大輝
(大鼓方)◎河村大、◎石井保彦、◎谷口正壽、◎井林久登、渡部論
(太鼓方)◎前川光長、◎井上敬介、前川光範

(◎は国定重要無形文化財総合指定保持者、日本能楽会会員)

●金剛会事務局スタッフ(開催日により下記より1名)

本事業に関する企画制作・監修・コーディネートに携わり、出演者補助・調整・連絡・進行を遂行する者(能楽の専門知識を有する)

	<p>豊嶋祐三子(中学校教諭二種免許状(音楽)/文化庁「国内専門家フェローシップ制度」2015年度研修者) 田中敏文(金剛流師範/大阪電気通信大学総合情報学部非常勤講師/京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究員)</p> <p>●舞台・運搬スタッフ(4名) OFFICE-ONE (代表:奥野豊)</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 20名 スタッフ: 1名 舞台・運搬スタッフ: 4名 合 計: 25名</p>	機材等 運搬方法	積載量 2t 車長 6.5m / 車幅 2.2m/ 車高 3.2m 台 数 1台

<p>公演に当たっての 会 場 条 件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>												
<p>会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安</p>	<p>前日仕込み(有・<input type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(2時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="403 1966 1444 2045"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:30</td> <td>8:30～11:30</td> <td>13:30～15:15</td> <td>10分</td> <td>15:20～17:20</td> <td>17:20時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 設営終了後、本公演のリハーサルを行う場合があります。(40分程度)</p>	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8:30	8:30～11:30	13:30～15:15	10分	15:20～17:20	17:20時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出								
8:30	8:30～11:30	13:30～15:15	10分	15:20～17:20	17:20時								

児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1桁～1,000人(全校生徒)
	本公演	1桁～1,000人(入場スペースがあれば上限はこれに限らない)
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>能楽全般や本公演で鑑賞する能「鞍馬天狗」と狂言「柿山伏」について、実演を交え、プロジェクターの映像や動画を見ながらわかりやすく解説します。また、本舞台で使用する面(おもて)を実際に見て体験します。</p> <p>公演当日に、児童・生徒たちが、能「鞍馬天狗」へ参加するための指導を下記のとおり行います。ワークショップ実施後から本公演までの期間も、学校やご家庭で稽古を続けられるように、お手本のテキスト動画を金剛会ホームページに掲載いたします。DVDでのお渡しも可能です。</p> <p>▼事前ワークショップ みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」 所要時間(90分)、休憩(10分)</p> <p>○基本的に能楽師4名で伺います(シテ方3名・狂言方1名・スタッフ1名) (児童・生徒数が750名を超えた場合はシテ方1名を増員します。)</p> <p>○マイク1本、スクリーン、長机2個をご用意ください。</p> <p>※コロナウイルス感染の状況により、ご担当の先生と綿密に打ち合わせを行い、適切な指導方法を模索します。</p> <p>① 始まりの挨拶(5分) 能楽のお稽古は必ず挨拶から始まります。挨拶することの意味や大切さのお話。</p> <p>② 「能」・「狂言」とは?(10分) ・実際の能の動画を観てみよう(プロジェクター使用) ・能舞台・演者構成等についてのお話(プロジェクター使用) ・歴史やなりたち、演者の役割など、能・狂言の基礎的なお話。</p> <p>③ 絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」(10分) 能「鞍馬天狗」ってどんなお話し? 子供たちの理解を深めるため、「絵本で読む鞍馬天狗」をプロジェクターで映し出し、能楽師が読み聞かせます。※添付資料1(A・B)参照</p> <p>④ 謡(うたい)を全員で体験してみよう(20分) 鞍馬天狗の小謡「花咲かば」を中心に、「詞章」・「節」・「発声」などの説明を含め、能楽師が丁寧に実演指導します。児童・生徒の理解や興味を促すため、「オリジナル謡本」を使用します。(プロジェクター使用) ※添付資料2(A・B)参照 ※「③絵本で読む鞍馬天狗」と「④オリジナル謡本」をわかりやすく纏めたテキスト冊子を、児童・生徒全員にお渡しします。</p> <p>⑤ 能面をつけてみよう(5分) 児童・生徒代表者は「能面」をかけ、視野の狭さ、平衡感覚、声の聞こえ具合などを体験します。 ※能面体験コーナーを設置いたします。休憩時間等を利用し、児童・生徒に直に体験していただけます。 <休憩>(10分)</p> <p>⑥ 「能」・「狂言」の舞(まい)や所作を全員で体験してみよう(15分) 能楽師による仕舞や狂言の実演を行い、能の基本動作の「構える」・「歩む(摺り足)」や狂言の基本所作などについて詳しく説明し、子どもたちがこれらを体験します。また能と狂言の表現方法(喜・怒・哀・楽)の違いなども、実演を交え詳しく解説します。</p> <p>⑦ 能「鞍馬天狗」を演じてみよう(20分) ・稚児役と地謡役に分かれ、能「鞍馬天狗」の花見の場面を実演してみます。 ・プロジェクターで実際の能の様子を観た後、場面の説明や実演方法など、わかりやすく丁寧に指導します。</p> <p>⑧ 質疑応答(5分)</p>	

	<p>⑨ 終わりの挨拶</p> <p>▼公演当日のワークショップ</p> <p>*狂言「柿山伏」について(5分) 鑑賞した狂言「柿山伏」の特徴的な所作などを解説し、全員で体験します。</p> <p>*能「鞍馬天狗」参加しよう！～稽古・リハーサル～(10分) ワークショップで習得した稚児役と地謡役の最終稽古とリハーサルを行います。 稚児役/舞台での立ち位置、動線などの確認 地謡役/全員で謡う、小謡「花咲かば」の確認</p>
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>「能楽」は、「能」と「狂言」からなる古典芸能です。2つの対照的な芸能を、本公演やワークショップを通じ、一度の機会に学ぶことにより、より深い理解を得られると考えます。稽古を通して、「構え」・「歩み」・「舞」・「謡」といった能・狂言の基本型を学びます。そして、自分たちが稽古をした内容が実際の舞台ではどのように演じられるのか、本公演を鑑賞することで、より理解を深めることが出来ます。能楽師が常より行っている、「稽古を重ね舞台へ上がる」ことを体験し、より身近に伝統芸能の世界に共感出来得る、一連のプログラム構成となっています。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>各支援学校における様々な形態を確認した上で、伝統芸能の本質・特徴を子供たちにより深く理解し経験していただくべく、担当の先生と綿密に協議し、子供たちと伝統芸能との最善の接点を模索して参ります。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

出演予定メンバーによる仮番組

能「鞍馬天狗」

前シテ(山伏)	金剛龍謹
後シテ(大天狗)	◎廣田幸稔
ツレ(牛若丸)	山田伊純
子方(花見の稚児)	児童・生徒
ワキ(東谷の僧)	◎江崎欽次朗
間狂言(西谷の能力)	◎茂山 茂

囃子 (笛)	杉信太朗
〃 (小鼓)	◎曾和鼓堂
〃 (大鼓)	◎谷口正壽
〃 (太鼓)	◎前川光長

後見	◎種田道一
〃	◎豊嶋幸洋

地謡	◎豊嶋晃嗣
〃	宇高竜成
〃	宇高德成
〃	田中敏文
〃	惣明貞助
〃	向井弘記

働き	湯川 稜
----	------

狂言「柿山」

狂言シテ	◎茂山千五郎
狂言アド	◎茂山逸平

(◎は国定重要無形文化財総合指定保持者、日本能楽会会員)

主な出演者のプロフィール

●金剛龍謹(こんごう たつり) シテ方金剛流

■略歴

1988年、二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。5歳で仕舞「猩々」にて初舞台。10歳で半能「岩船」にて初シテ。自らの芸の研鑽を第一に舞台を勤めながら、大学での講義や部活動の指導や、各地の学校での巡回公演など学生への普及活動にも取り組む。2012年に発足した自身の演能会「龍門之会」をはじめとして、京都・東京を中心に全国の数多くの公演に出演。同志社大学文学部卒業。京都市立芸術大学非常勤講師。

公益財団法人 金剛能楽堂財団理事。

一般社団法人 金剛会理事。

■主な演能

○金剛龍謹能の会 龍門之会

○宝生和英×金剛龍謹 合同演能会

○海外公演

2010年 スペイン・ポルトガル公演

2015年 「樂一茶碗の中の宇宙展」開催記念ロシア公演「羽衣 盤渉」

2017年 日本バチカン国交樹立75周年記念バチカン勸進能「羽衣 盤渉」

○新作・復曲

2017年 新作能「面影」(フランスの詩人ポール・クローデル「女と影」原作)

京都・パリ友情盟約締結60周年記念 プレ事業

2018年 新作能「沖宮」

女流作家・石牟礼道子の原作『沖宮』、染色作家・志村ふくみの装束制作による、3都市での新作能公演の主演・作曲。

○教育関係

2014年 京都市立芸術大学芸術資源研究センター開設記念事業

「舞と謡の過去・現在・未来 ―記譜法と身体伝承―」

2016年 スタンフォード大学・立命館アート・リサーチセンター共同研究プロジェクト

「能楽を言語・音楽・視覚的要素の統一体として分析する」

ウェブサイト『Noh as Intermedia』<http://noh.stanford.edu/> (2020年5月公開)

■金沢能楽美術館 現代能面美術展の審査委員

■茶道裏千家 月間茶道誌『淡交』にて「茶人の嗜み 能を学ぶ」連載

●廣田幸稔(ひろた ゆきとし) シテ方金剛流

1957年、京都市生まれ。父・廣田陸一、25世宗家金剛巖に師事。

同志社大学法学部卒業。

1988年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

1999年、京都市芸術新人賞。2005年、文化庁芸術祭新人賞。

(公社)能楽協会本部理事・京都支部副理事長。

2020年、京都府文化賞功労賞。

(一社)金剛会理事。

●江崎欽次朗(えざき きんじろう) ワキ方福王流

1973年、兵庫県姫路市生まれ。本名は敬三。

祖父・10世江崎治郎、父・11世江崎治郎、16世福王茂十郎に師事。

2014年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

(公社)能楽協会神戸支部常議員。

2019年兵庫県芸術奨励賞。2020年姫路市芸術文化賞。

●**茂山千五郎家(しげやま せんごろうけ) 狂言方大蔵流**

江戸時代から京都で活躍した狂言の家。江戸時代後期に9世茂山千五郎正虎(初世千作)が登場して以降は大蔵流の名門として名を馳せた。

11世千五郎真一は1976年、その子の12世千五郎七五三は1989年、それぞれ人間国宝に認定された。現在の当主は14世千五郎正邦。

●**種田道一(たねだ みちかず) シテ方金剛流**

1954年、京都市生まれ。

立命館大学産業社会学部卒業。

1993年、京都市芸術新人賞。

1988年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

(公社)能楽協会本部理事。(一社)金剛会代表理事。

●**豊嶋晃嗣(てしま こうじ) シテ方金剛流**

1973年、広島市生まれ。祖父・豊嶋豊、叔父・豊嶋彌左衛門、25世宗家・金剛巖に師事。

慶應義塾大学環境情報学部卒業。

2000年、北九州市民文化奨励賞。

2014年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

2017年、京都市芸術新人賞。2018年、京都府文化賞奨励賞。

(公社)能楽協会京都支部常議員。

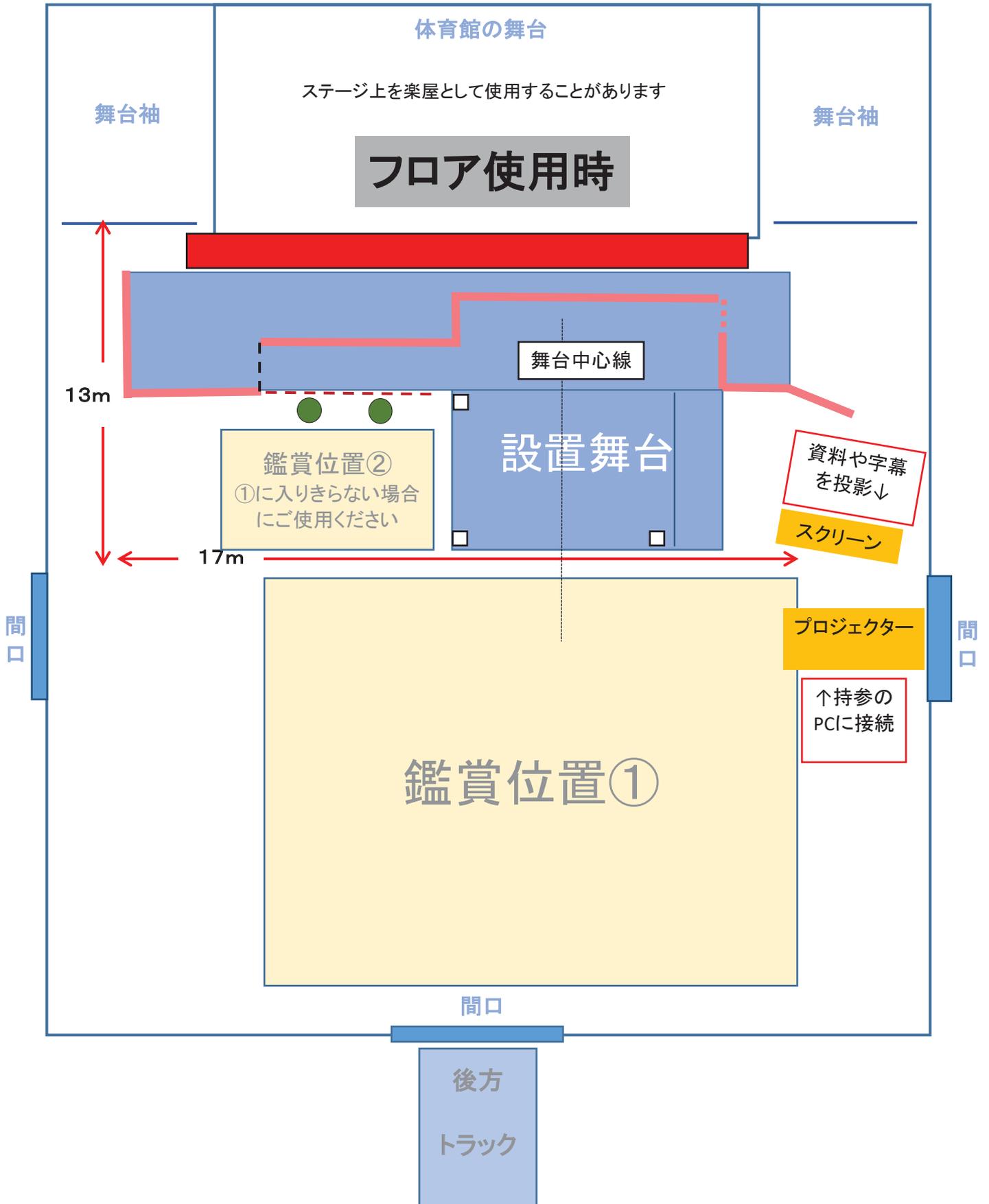
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	907	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 金剛会				制作団体名	一般社団法人 金剛会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	食事用の部屋25名 (舞台裏の楽屋スペースとは別に必要)				
搬入について	不可	来校する車両の大きさや台数 *			2tトラック 1台	大型バス 1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2t車アルミ＝車長6.5M/車幅2.2M/車高3.2M				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30M以内				
	可	搬入経路の最低条件			できるだけフラットで屋根がある経路が望ましいが、ステップがある場合、屋根がない場合も状況によっては相談可能。				
		理由			貴重なもの長尺のもの重量物があるため				
	可	設置階の制限 *			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2M	高さ	2M			
WSIについて	可	参加可能人数			1,000名				
可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
可	所要時間の目安 単位:分			100分程度(休憩10分込)					
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
可	鑑賞可能人数			1,000名程度					
可	舞台設置場所 *			フロア					
可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	17M	奥行	13M	高さ	3M	
可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
可				舞台袖スペースの条件 *		上記の舞台必要寸法の確保			
可				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	スクリーン部付近は暗い方がより見やすい。			
可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
可			ピアノの事前調律 *		不要				
可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
可	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				
その他特記事項									
可	舞台設置の場所及び広さは、会場や鑑賞人数に応じて柔軟に対応いたします。								
可	ハンドマイク、スクリーンを使用出来ればありがたいです。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2M	高さ	2M
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離		30M以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

～みんなで体験・共感してみよう『能・狂言』～

能「鞍馬天狗」

社会の教科書に出てくる源義経（牛若）のお話です。



狂言「柿山伏」

国語の教科書に出てくるいたずら好きな柿泥棒の山伏のお話です



この場面は「鞍馬天狗」の最初の場面です



京都の桜満開の山でお花見を楽しんでいる稚児（こどもたち）をお友達と一緒に舞台に出演して楽しみましょう！

牛若と天狗の出会いの場面



牛若が長刀（なぎなた）を持って登場



一般社団法人金剛会

〒602-0912
京都府京都市上京区烏丸通中立売上ル龍前町590番地
TEL (075)441-7222
FAX (075)451-1008
URL <https://kongou-assoc.com/>
E-mail support@kongou-assoc.com



文化芸術による子供の育成事業

— 巡回公演事業 —

小学校・中学校において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導、又は鑑賞指導を行います。

事前ワークショップ

- ① 始まりの挨拶
- ② 「能」・「狂言」とは？
舞台の映像を使いわかりやすく説明
- ③ 絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」
「絵本で読む鞍馬天狗」を使い能楽師が読み聞かせ
- ④ 謡（うたい）を全員で体験してみよう
オリジナル謡本を使い能楽師が丁寧に実演指導
- ⑤ 能面をつけてみよう
〈休憩〉（10分）
- ⑥ 「能」「狂言」の舞（まい）や所作を
全員で体験してみよう。
- ⑦ 能「鞍馬天狗」を演じてみよう。
- ⑧ 質疑応答
- ⑨ 終わりの挨拶

本公演当日

- ① 能のお話
始まりの挨拶
（能のお稽古は必ず挨拶から始まります）
- ② 狂言「柿山伏」の上演
- ③ 狂言「柿山伏」について
鑑賞した狂言「柿山伏」の特徴的な所作などを解説し、全員で体験します。
- ④ 能「鞍馬天狗」に参加しよう！
～稽古・リハーサル～
ワークショップで習得した稚児役と地謡役の最終稽古とリハーサルを行います。
〈休憩〉（10分）
- ⑤ 能「鞍馬天狗」の鑑賞にあたって
- ⑥ 能「鞍馬天狗」鑑賞（字幕付き）
- ⑦ 能楽師との交流の時間～感想と質問～
あらゆる疑問に能楽師が直接答える
- ⑧ 終わりの挨拶
（能の稽古は必ず挨拶で終わります）

「鞍馬天狗」ってこんなおはなし

むかし、京都の鞍馬山に牛若という男の子がいました。

ある日、牛若はお友達とお花見に出かけると、ひとりの山伏のおじさんがやってきて、いっしょにお花見をしたそうにしていたのですが、「誰だかわからない人といっしょにお花見はできません！！」と行って帰ることになりました。（この場面を一緒にお稽古します）

山伏は仲間に入れてもらえずかなしんでいましたが、牛若は「いっしょに花見をしよう！！」と声をかけると山伏はとてもよろこんでいっしょにお花見をしたあと、「わたしは鞍馬の山の天狗さんなんです！！わたしの住んでいる僧正ヶ谷まできたら武道を教えてあげよう！！」と言うと、雲の上まで飛んでどこかへ行ってしまいました。

びっくりした牛若は、はち巻きを結んでなぎなたを持って、気合十分！とってもカッコいい姿で天狗に会いにいきました。すると、さきほどの山伏が大天狗の姿で現れ、武道をいっぱい教えてもらうことができました。楽しく過ごした牛若でしたが、いよいよ大天狗とお別れの時。牛若はとてもさみしくなり、天狗さんの服を引っぱって返そうとしましたが、天狗さんは、「だいじょうぶ！！いつもあなたを見守ってるよ！！」と言って、またお空へと帰っていきました。



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	<input checked="" type="checkbox"/> 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ まんさくのかい 株式会社 万作の会		
代表者職・氏名	代表取締役 野村 二郎		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒112-0014 東京都文京区関口 2-2-7 (東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅)		
電話番号	03-5981-9777	FAX番号	03-5981-9789
ふりがな 公演団体名	まんさくのかい 万作の会		
代表者職・氏名	代表者 野村 万作		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒112-0014 東京都文京区関口 2-2-7 (東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅)		
制作団体 設立年月	1992年3月		
制作団体 組織	役員 代表取締役 野村二郎 取締役 野村武司・野村若葉子・ 三藤葉子	団体構成員及び加入条件等 (1) 団体構成員…狂言師、または修業中の者 (2) 加入条件…野村万作が各分野で必要と認めた者	
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	小俣 美登里 小山田 智美
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	黒澤 理英

制作団体沿革	<p>1992年株式会社として設立。 人間国宝・文化功労者の狂言師、野村万作と、その長男・野村萬斎を中心に、年10回程の主催公演を始め、劇場主催公演の企画制作など、国内外で公演を行い、狂言の普及に努める。</p> <p>主催公演:「万作を観る会」(東京公演1992以前～、名古屋公演1998～) 「狂言ござる乃座」(東京1987～年2回、名古屋1998～、京都2006～) 「野村狂言座」(東京1998～年4回) よこはま「万作・萬斎の会」(横浜2000～) 「狂言ざん座」(東京2006～)「狂言このあたり乃会」(東京2018～)など</p>		
学校等における公演実績	<p>令和元年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文京区立青柳保育園 狂言ワークショップ ・世田谷区内小学校対象公演(狂言ワークショップ、狂言「附子」上演) 12回 ・練馬区内小学校公演(狂言ワークショップ、袴狂言「盆山」) 8回 ・大森第三小学校 狂言ワークショップ(狂言ワークショップ、狂言「柿山伏」上演) ・開成中学校 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演) ・芝浦工業大学附属柏中学校 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演) ・東京都教育庁主催 中学・高校生対象狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演) ・大泉学園中学校 狂言鑑賞会(狂言ワークショップ、狂言「盆山」「附子」上演) <p>令和二年度実績・予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練馬区内小学校公演(狂言ワークショップ、袴狂言「盆山」上演予定) 8回 ・開成中学校 狂言鑑賞会(解説と狂言2番上演予定) 		
特別支援学校における公演実績	<p>平成26年度本事業で、山梨県立ろう学校にてワークショップ・公演を実施。 平成25・27・29年 大阪府の国際障害者交流センター ビッグアイ主催「バリアフリー狂言会」に出演。解説と狂言2番をあらゆるハンディに対する鑑賞サポート付きで上演。 令和元年度本事業で、栃木県立盲学校にてワークショップ・公演を実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	① ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	① ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 万作の会】

対象	小学生(低学年・ 中学年・高学年)・ 中学生		
企画名	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>【解説】 「狂言を楽しもう」(約20分)</p> <p>【鑑賞】 狂言「盆山」(約15分)・狂言「附子」(約20分)</p> <p>【共演体験】 狂言「蝸牛」より…囃子言葉の掛け合いの場面(約20分)</p> <p style="text-align: right;">※古典狂言の作品のため、いずれも作者未詳 公演時間(休憩等の時間を含め、約90分)</p>		
著作権	○ 制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>解説「狂言を楽しもう」</p> <p>日本の伝統芸能「狂言」について、その歴史や題材・内容の特徴、洗練された豊かな表現技法、舞台や装束、演目の見どころや楽しみ方を解説します。</p> <p>・狂言「盆山(ぼんさん)」 ある男が、知人の家に盆山(盆の上に風景を作った置物)を盗みに入るが、さっそく見つけられてしまう。家主は物陰に隠れた男を、盗人かと思えば猿だ、犬だとからかう。必死の物真似でごまかそうとする男だが、最後に難問を出され…。</p> <p>・狂言「附子(ぶす)」 主人に留守番を言いつけられた太郎冠者と次郎冠者。猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身を怖々探ると、何と正体は砂糖！二人は夢中で食べてしまう。さて言い訳をどうしようと、相談を始める二人だが…。</p> <p>・狂言「蝸牛(かぎゅう)」※共演体験として囃子言葉の掛け合いの場面上演 主人の命で、長寿の薬になる蝸牛(かたつむり)を取りにきた太郎冠者。かたつむりと間違えられた山伏は、太郎冠者をからかってかたつむりのふりをし、かたつむりの囃子言葉によって浮かれながら家に行こうと言い…。</p>		
演目選択理由	<p>いずれも鑑賞を通じて狂言や日本文化の特徴が感じられ、表現する楽しみを理解しやすい演目です。「盆山」には様々な動物の物真似、パントマイム的な動きや見立て等、想像力を働かせて楽しむ、狂言の「型」による表現が多く登場します。「附子」は狂言の代表的な作品で、日常を舞台に人物の喜怒哀楽が豊かに表現される、親しみやすい演目です。「蝸牛」では謡と舞の掛け合いで、日本古来の間やリズムを楽しく体験することができます。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>本公演の「蝸牛」では、児童・生徒はじめ参加者全員に太郎冠者役を受け持ってもらい、その囃子言葉と浮きの所作との掛け合いで山伏役の演者が舞うかたちで共演します。事前ワークショップでは全員で囃子言葉と浮きの所作を稽古し、本公演までの期間も、出来る範囲での復習と、本公演のみ参加する児童・生徒への指導をお願いしております。本公演では最後の復習をしてから本番に臨みます。先生方にもワークショップへ積極的に参加していただき、授業の盛り上げと、復習時の指導に御協力をお願いしております。</p>		
出演者	<p>監修:野村 万作(重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者)</p> <p>出演:石田 幸雄・深田 博治・高野 和憲(重要無形文化財総合認定)</p> <p>月崎 晴夫・竹山 悠樹・野村 太郎・岡 聡史・中村 修一・内藤 連・飯田 豪・石田 淡朗</p>		
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者: 5~6名</p> <p>スタッフ: 1名(兼任の場合あり)</p> <p>合計: 5~7名</p>	機材等 運搬方法	<p>積載量 2 t</p> <p>車長 5 m</p> <p>台数 1 台</p>

【公演団体名 万作の会】

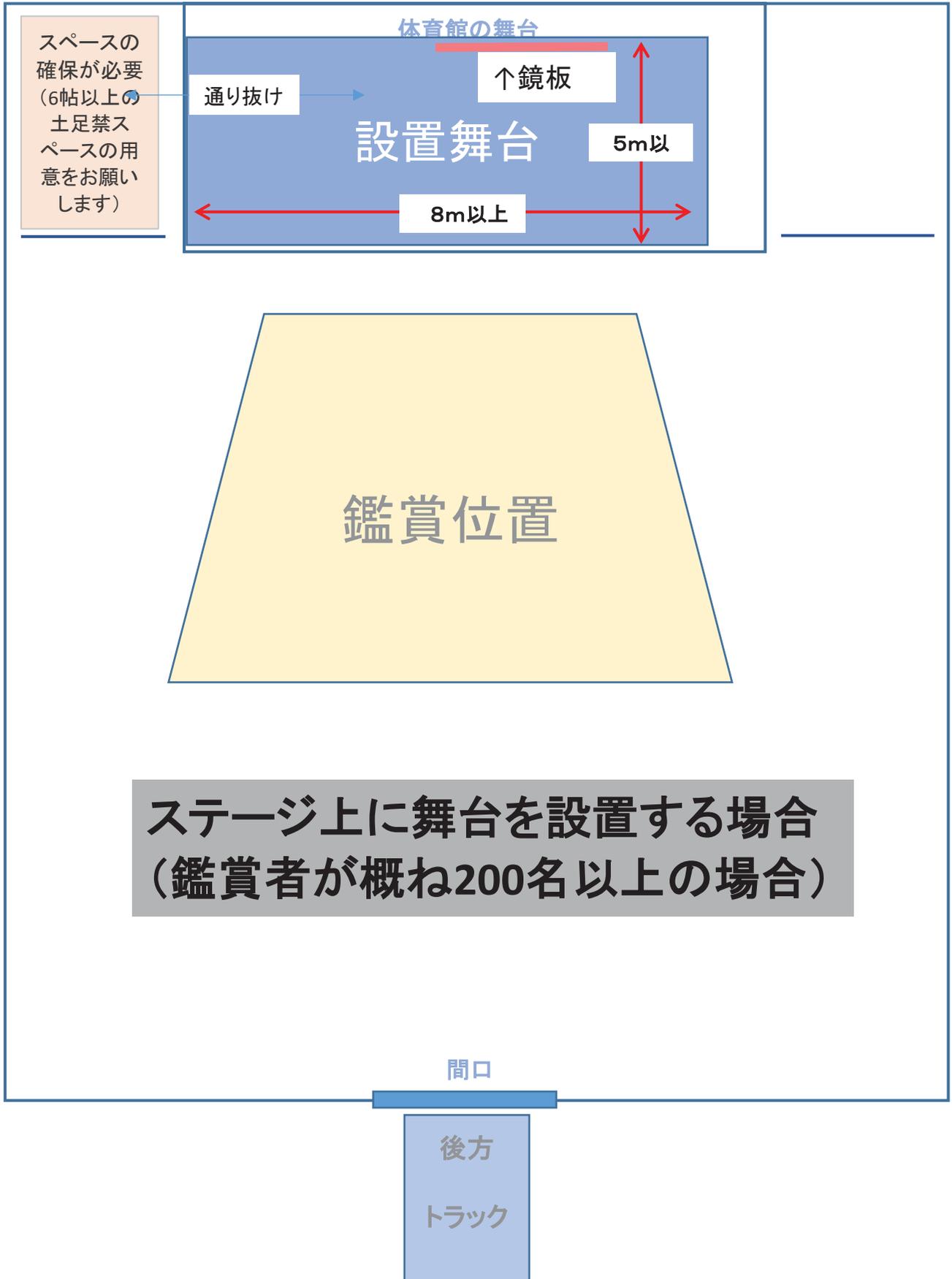
公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ <input type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(40分～1時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	11:00	11:00～12:00	13:00～14:30	10分	14:30～15:00	15:30
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	20名～200名ほどが最も効果的です。				
	本公演	100名(未満でも可)～400名程度				
ワークショップ 実施形態 及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館のフロアを広く使います。見本を見せるためステージを使う時もあります。平均台や三角コーンがお借りできれば、フロアに能舞台の形を作り説明に使います。 ・児童・生徒さんは、運動しやすい服装(体操服)に靴下の格好で参加をお願いします。 ・狂言の歴史や特徴について説明した後、狂言のセリフ・動きの基礎を体験します。狂言の稽古にならない、挨拶から始め、指導者の真似を繰り返す形ですおすすめ。 ・本公演で共演する狂言「蝸牛」の実演(袴狂言、部分)を鑑賞した後、囃子言葉と浮きの型を稽古します。 					
ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・本公演と内容的につながりを持たせ、事前に狂言への理解を体験的に深めて頂くことで、本公演への興味と教育効果をいっそう高めます。 ・挨拶・正座など、日本の伝統的な礼儀作法への理解を深めます。 ・狂言の「型」による表現と稽古を通して、基本の大切さを感じて頂きます。 ・大きな声ではっきりとセリフをいい、大きく体を動かして所作をすることで、自ら体を使って表現することの本質的な魅力を体感して頂ければと存じます。 					
特別支援学校で の実施における 工夫点	演目は変えず、解説が理解の助けとなるよう工夫します。効果的な機材、方法があればぜひ使用させて頂きたく、事前の打合せを入念にできればと存じます(ろう学校での開催の際は、結末を伏せた台本を用意し、必要な生徒さんにだけ学校側から配布していただきました)。ワークショップも、開催校の先生方と相談の上、児童・生徒の皆さんが無理なく参加し、楽しみながら狂言の身体表現術を体感できる形をとらせて頂きます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	910	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・音楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	万作の会				制作団体名	株式会社 万作の会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数*	1室	条件	舞台の下手袖に、衣装の着付けをする「装束部屋」を設置します(6帖以上の土足禁スペース)。場所は応相談					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数*			2tトラック	1台	乗用車	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック					
	可	搬入車両の横づけの要否*			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			30m以内					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 					
		理由			鏡板等、舞台大道具の搬入をするため					
	可	設置階の制限*			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m			
WSIについて	可	参加可能人数			20名～200名程度が最も効果的です。					
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			基本的に90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			400名程度まで					
	可	舞台設置場所*			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m	奥行	5m	高さ	3m	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*			要		
	不可				舞台袖スペースの条件*			舞台下手(向かって左側)袖に、装束部屋として6畳以上のスペースの確保が必要		
	—	遮光(暗幕等)の要否*			緞帳*	不要		バトン*	不要	
	—				指定位置へのピアノの移動*			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。	
	—	ピアノの調律・移動の要否			ピアノの事前調律*			不要		
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	可	舞台をステージ上に設置する場合、ピアノを含めステージ上にはできるだけ物が無いことが望ましいですが、演技・鑑賞の妨げにならなければ置いたままでも結構です。								

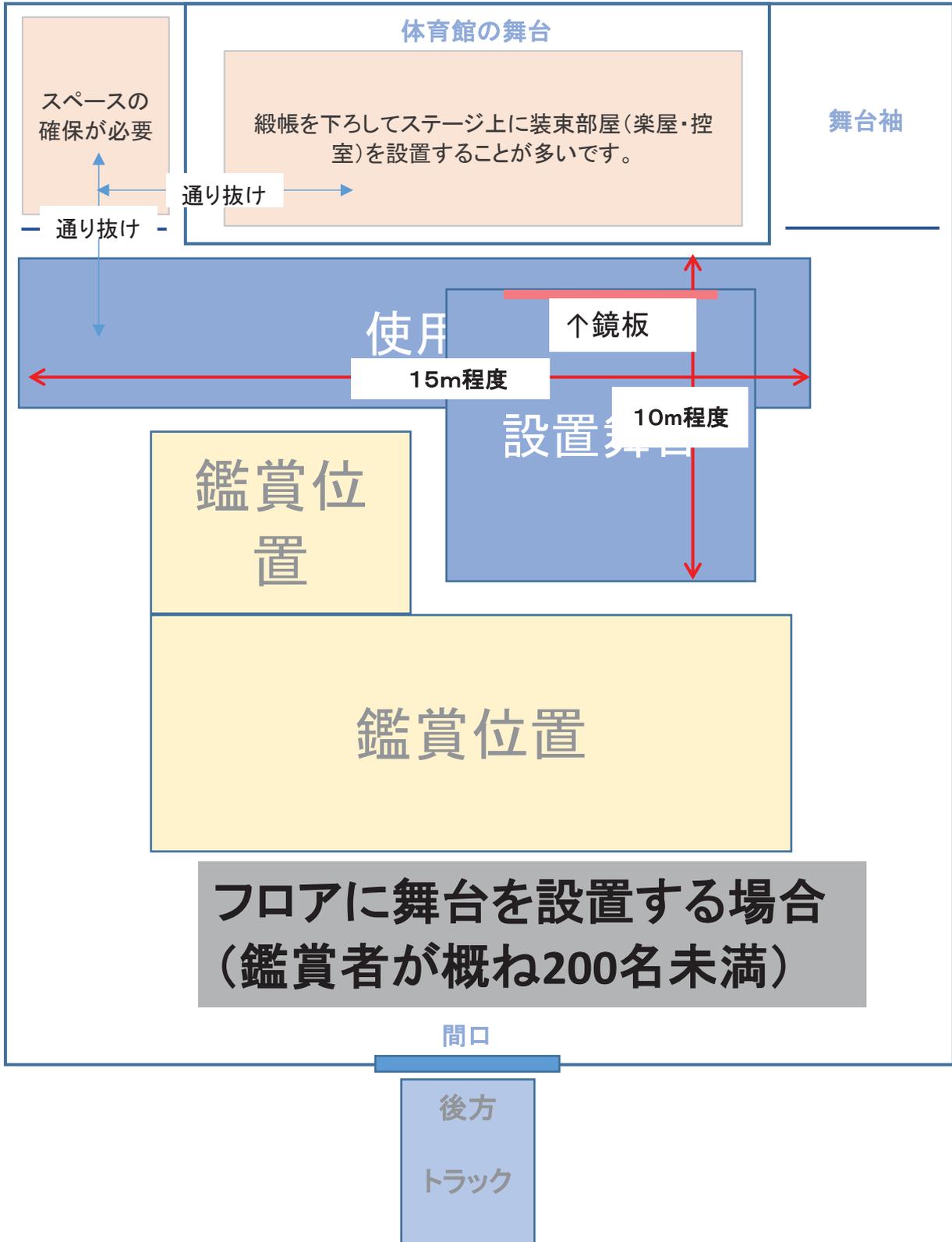


スペースの確保が必要
(6帖以上の土足禁スペースの用意をお願いします)

**ステージ上に舞台を設置する場合
(鑑賞者が概ね200名以上の場合)**

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



**フロアに舞台を設置する場合
(鑑賞者が概ね200名未満)**

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

じょうえんないよう
● 上演内容 ●

【解説】「狂言を楽しもう」(約20分)

【鑑賞】狂言「盆山」(約15分)

【鑑賞】狂言「附子」(約20分)

【共演】狂言「蝸牛」(約20分) 一大きな声で囃子言葉を唱えて一緒に浮かれよう!

きょうげん ほんさん
狂言「盆山」

…登場人物：2人(男, 何某)

ある男が、流行りの盆山(お盆の上に風景を作った置物)を盗もうと知りあい(何某)の家に忍び込むが、すぐに見つかってしまい物陰に隠れる。家主は隠れている男に、あれは盗人ではない、猿だ、犬だと言ってからかう。男は必死に動物の物真似をしてごまかそうとするが、最後に難問を出され…。

動物の物真似や、パントマイムのてきな動き、見立てなど、狂言の特徴的な「型」がたくさん登場する演目です。想像力を膨らませてご覧ください。

言葉の説明

ほんさん(盆山)…箱庭のように、盆や浅い鉢の上に石や砂で山の形などを作ったもの。

あんない(案内)…あいさつすること。

しわいひと(吝い人)…けちな人。

よしがき(葎垣)…葎を結んで作った垣。

つぼ(坪)…中庭。

ひとおと(人音)…人のいる音、気配。

なむさんぼう(南無三宝)…驚いたり、失敗にきづいた時に発する語。大変だ。

なぶる(鬪る)…からかう。

みぜせり(身ぜせり)…身体を細かく動かすこと。

きょうげん ぶす
狂言「附子」

…登場人物：3人(太郎冠者, 主, 次郎冠者)

太郎冠者と次郎冠者は主人(主)から留守番を言いつけられる。二人は主人から、猛毒の附子が入っているのだから決して近づくな、といわれた桶の中身が気になって仕方がなく、何とか桶の中を見ようと知恵を絞る。ようやく中を見ることに成功すると、今度はそれを食べてみたいと太郎冠者が言い出して…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的な演目です。太郎冠者と次郎冠者の活躍とともに、「型」を使って豊かに表現される登場人物たちの喜怒哀楽にご注目下さい。

言葉の説明

ぶす(附子)…トリカブトという草の根を乾かして作った毒薬。

めっきやく(滅却)…死ぬこと。

じゅもん(誦文)…まじない。

きのどく(気の毒)…心配事。

どうしんでない(同心でない)…賛成しない。

わざをするものはかならずだまる[業をする物は必ず黙る]…ことわざ。崇りをするような者は決して騒ぎ立てたりせず、黙ってしずかに物事をするという意味。

りょうぜられる…魅了される。とりこにされる。

さとう(砂糖)…当時は黒砂糖。水あめの状態で保存されており、貴重品であった。

よいことめされた…実は良くないことを、わざと反対に言うことば。

きこえぬ(聞こえぬ)…道理のない。わからない。

ざれごと(戯れ事)…冗談。

もっけいおしょう(牧谿和尚)…中国の絵描きの僧。
その絵は日本でも好まれた。

ひそう(秘蔵)…大切にしまっている物。

だいてんもく(台天目)…台にのせた大きな天目茶碗。

てどり(手取)…相撲が上手な人。

なんぼう…どれだけ。いかほど。

かしらかたの(頭固の)…丈夫な。頑丈な。

がっきめ…こいつめ。

おうちゃくもの(横着者)…ずるい奴。

きょうげん かぎゅう きょうえんたいけん 狂言「蝸牛」 一 共演体験

主人の祖父のため、長寿の薬になるというかたつむり(蝸牛)を取りにきた太郎冠者に、かたつむりと間違われた山伏(山で修行して超能力を身につけた僧)が、かたつむりのふりをして、太郎冠者と一緒に囃子言葉で浮かれる場面を演じます。

★児童・生徒の皆さんは、太郎冠者になって、大きな声で山伏を囃してください。

山伏：さあさあ、囃せ囃せ

太郎冠者：心得ました。雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ

山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし

太郎冠者：雨も風も吹かぬに でざかまうちわろ でざかまうちわろ

山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし

(後、演技が終わるまでくりかえし)

※でざかまうちわろ…「でざ」は「出すば」の縮まったもの。「かま」は「殻」のこと。

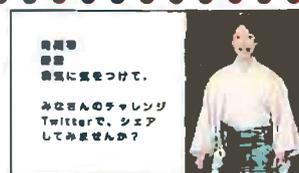
「出てこないなら、殻を打ち割るぞ」という意味。

だんたいしょうかい まんさく かい 団体紹介 — 「万作の会」

「万作の会」は、人間国宝・野村万作を中心に公演を行う狂言師のグループです。万作をはじめ、野村萬斎・石田幸雄ほか「万作の会」の狂言師たちは、国内外で多くの狂言・能公演に出演しています。また、学校や劇場などで観客に狂言を体感してもらうワークショップを行ったり、大学やカルチャースクール、専門学校などで講師として指導を行うなどし、狂言の普及活動に努めています。また、狂言の優れた表現技法を生かした新しい試みにもしばしば取り組む、その演技・演出でも高い評価を受けています。

万作の会ホームページ <http://www.mansaku.co.jp>

- ★万作の会のYouTubeチャンネル・Twitter「野村萬斎@狂言ござる乃座」では、野村萬斎をはじめとする万作の会の狂言師が、狂言の「型」をレクチャーする動画を配信しています。ぜひご覧ください。



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <input checked="" type="checkbox"/> 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

~~あり~~ ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん ----- 特定非営利活動法人 日本音楽集団		
代表者職・氏名	代表理事 尾崎 太一		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F (京王線笹塚駅より 徒歩8分)		
電話番号	03-3378-4741	FAX番号	03-3376-2033
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん ----- 特定非営利活動法人 日本音楽集団		
代表者職・氏名	代表理事 尾崎 太一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F (京王線笹塚駅より 徒歩8分)		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体 組織	役職員 代表-尾崎太一、副代表-米澤浩 運営委員長-元永拓 運営委員-久保田晶子・田野村聡・原郷 隆・久本桂子・福嶋頼秀・山崎千鶴子 事務局-中山美穂子 監事-宮田耕八朗・三田村典昭	団体構成員及び加入条件等 団体構成員/正会員65名、協力会員48名、 賛助会員 法人4、個人17人 (以上、計130名、4法人) 主な構成員/指揮: 稲田康、尺八: 米澤浩、箏: 熊沢栄利子、 三味線: 杵家七三、琵琶: 久保田晶子、打楽器: 尾崎太一、他 加入条件/本団の趣旨に賛同し、プロとしての音楽活動を行う 事。または、本団の趣旨に賛同し協力・支援する事。	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	米澤 浩
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	経理責任者名	中山 美穂子

制作団体沿革	<p>1964年に、演奏家と作曲家の14名で設立され、同年11月に第1回定期演奏会を開催した。</p> <p>1999年特定非営利活動法人に認定され、年3回の定期の他、全国各地の鑑賞団体や文化施設、小・中・高等学校での鑑賞会、CD、放送、映画、演劇の音楽担当などの演奏活動を行う。</p> <p>1981年には、ライブチャピ・ケヴァントハウス・オーケストラ命名200年記念委嘱作品「急の曲」(三木稔作曲)を音楽監督クルト・マズア氏指揮により初演。海外の音楽祭にも多数参加し、2001年には邦楽アンサンブルとしては初めて「プラハの春」に招聘された(第25次海外公演)。</p> <p>2008年ブラジル移住100周年記念事業「ブラジル日本移民百周年記念音楽祭」(第28次海外公演)、2009年カナダ(第29次海外公演)、2010年ユーラシア音楽祭を含むロシア、モンゴル公演(第30次海外公演)を実施した。</p> <p>定期演奏会は、2020年7月までに229回を数える。</p>		
学校等における公演実績	平成10年度以前(任意団体)／723公演以上(但し、昭和57年以前の創立から13年間のデータは不明) 平成11年度以降(NPO法人)／約400公演以上(文化庁巡回公演「ごんぎつね」101公演を含む)		
特別支援学校における公演実績	<p>平成26年度／愛知県立豊橋特別支援学校</p> <p>平成27年度／滋賀県立三雲養護学校・大阪市立平野特別支援学校</p> <p>平成28年度／福岡県立福岡聴覚特別支援学校・長崎県立盲学校</p> <p>平成30年度／青森県立八戸聾学校・盲学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 日本音楽集団】

対 象	<p style="text-align: center;">(小学生)・(低学年)・(中学年)・(高学年) ・ 中学生</p> <p style="text-align: center;">※附記／本公演の鑑賞対象は【全学年】(1～6年生)ですが、共演(ワークショップ)の対象学年は、「ごんぎつね」を学習している【4～6年生】です。</p>		
企画名	『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>(1)『宮崎駿アニメ・メドレー』(秋岸寛久編曲)</p> <p>(2)～(6)『日本の楽器たち』(古典作品) ／六段の調、鹿の遠音、春の海、那須の与一、幕間三重・獅子狂い五段</p> <p>(7)『子どものための組曲』(篠田大介作曲)</p> <p>～休憩～</p> <p style="text-align: center;">児童生徒代表と共演</p> <p>(8)『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～ (作:新美南吉、音楽:川崎絵都夫、作詞:佐藤万里)</p> <p style="text-align: right;">公演時間(100分)</p>		
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演 目 概 要	<p>第1部では、色々な日本の楽器について司会者(協力俳優)と演奏者とのお話しで紹介しながらそれぞれの古典作品と現代の合奏曲を聴いて頂きます。</p> <p>第2部では、児童生徒代表の皆さんと『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～で共演します。</p> <p>『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～は、NHK 東京児童合唱団をゲストに迎えて2013年第210回定期演奏会においても再演されている作品で、教科書に掲載されている原文のままで7種類の日本の楽器と共演できる作品です。</p> <p>国語の授業で「ごんぎつね」を学習した中・高学年の児童生徒の中から、学校側で代表の学年を選出して頂き、日本音楽集団の演奏者と共演して頂きます。</p>		
演目選択理由	<p>小学校では4年生の国語の授業で新美南吉の「ごんぎつね」を学習しますが、この身近な物語をメイン・プログラムにおいた公演を鑑賞することで、日本の楽器をより身近に感じてもらうように意図・構成しています。</p> <p>「ごんぎつね」で児童生徒の代表と演奏者が一緒に音楽朗読劇を作り上げる《共演体験》を持つこと、本公演での発表を通じて児童生徒の代表が演奏者と《達成感を共有》すること、そして児童生徒代表と日本音楽集団との共演を全校で鑑賞することにより、全校児童生徒の皆さんで《間接的体験》を共有することも意図しています。</p> <p>又、上記の演目内容にある『日本の楽器たち』では、それぞれの古典作品を紹介することはもちろんのこと、それぞれの演奏家が現在に至る「演奏家としての個人史」にも触れて《キャリア教育的要素》を盛り込むことも意図しています。</p> <p>併せて、共演する児童生徒代表がワークショップにおいて《自らが体験した日本の楽器(箏)と共演》する体験や、日本音楽集団の演奏者と協働して作品を作り上げること等、《参加型体験要素》も盛り込むことを強く意図して構成しています。</p>		

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>『ごんぎつね』を国語の時間に学習した4年生以上の児童生徒が代表となり、《ごん之歌》で日本音楽集団と共演し、児童生徒代表の皆さんと日本音楽集団の演奏者が「音楽朗読劇を作り上げる過程」を共有し、「協働の場」を児童生徒代表と演奏者とで持つことを意図しています。</p> <p>そして本公演において、<u>児童生徒代表と演奏者が協働した成果を全校児童生徒に発表し、共に作り上げた「音楽朗読劇」の鑑賞を通じ、全校児童生徒の皆さんに《間接的体験》を共有</u>してもらうことも意図しています。</p> <p><u>児童生徒代表の皆さんとの共演形態</u>は学校側の要望により色々ありますので、その基本パターンは<u>巡回公演公演の実施が決まった各校に配布する【実施の手引き】に記載</u>してあります。</p>		
<p>出演者</p>	<p>笛／竹井誠・新保有生・あかる潤、尺八／元永拓・原郷隆・田野村聡、三味線／杵家七三・山崎千鶴子・簗田弘大、琵琶／久保田晶子・藤高理恵子、箏(こと)／熊沢栄利子・桜井智永・三宅礼子、十七絃箏／城ヶ崎美保・久本桂子・石井香奈、打楽器／臼杵美智代・多田恵子・盧慶順、他</p> <p>以上、<u>7名7種(笛・尺八・三味線・琵琶・箏・十七絃箏・打楽器)</u> の日本音楽集団団員</p> <p>司会と朗読／飛山真利子・竹井沙紀・宝本夢子(助演)</p> <p>(7名の奏者と語り手1名、計8名を派遣)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 8名 スタッフ: 1名 合計: 9名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量／ 1.25t 車長／ 4.69m 台数／ 1台</p>

【公演団体名 特定非営利活動法人 日本音楽集団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 1088 1431 1167"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み&リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:40</td> <td>9:40-10:25/10:50-12:25</td> <td>13:45-15:25</td> <td>10分</td> <td>15:30~16:00</td> <td>16:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p> <p>注記／</p> <p>① 基本的に「前日仕込み」は不要ですが、これまで学校側のご希望でワークショップを1時間目から実施しなければならなかった場合に「前日仕込み」が発生しました。 しかし、この場合には「前公演地と宿泊地」が関係します。</p> <p>② 日本音楽集団では「給食交流」を推奨しています。</p>						到着	仕込み&リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	9:40	9:40-10:25/10:50-12:25	13:45-15:25	10分	15:30~16:00	16:00
到着	仕込み&リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
9:40	9:40-10:25/10:50-12:25	13:45-15:25	10分	15:30~16:00	16:00													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	<p>最大160名 (1コマ45分でクラス単位で実施し、最大4クラスまで。) ※例 - 1校時目:搬入・楽器(箏)準備、2~5校時目:クラス単位 で箏体験(4クラス)、6校時目:合唱での共演練習</p>																
	本公演	50名~300名																

《お箏体験》と《合唱での共演》リハーサル

① 『箏体験プログラム《さくらリレー》』

(1コマ45分、クラス単位で実施)

【ワークショップ会場設営の様子】



公演の1ヶ月程度前に日本音楽集団の演奏者（尺八・三味線・二十絃箏・十七絃箏・打楽器の5名）と協力俳優が実施校に伺いワークショップを実施します。

最初に『ごんの歌』で共演する児童生徒代表の皆さんを対象に『箏体験プログラム《さくらリレー》』を実施します。

【箏の弾き方の説明】



箏の弾き方は、日本音楽集団がビデオカメラ（モニターカメラ）やカメラの三脚、接続コード類を持ち込み、写真のように判りやすく演奏者が解説します。

（モニターには、学校の電子黒板かテレビモニターを使用します。）

② 《合唱共演》のリハーサル（45分、クラス・学年合同で実施）

お箏を体験した後に『ごんぎつね』で朗読を担当する協力俳優の指導で『ごんの

歌』での共演リハーサルを行います。歌のリハーサルは共演する児童生徒代表の皆さん全員の合同で行い、所要時間は45分です。

【歌の練習の伴奏】



ワークショップ 実施形態の意図

ワークショップにおいて実施する『箏体験プログラム《さくらリレー》』は、単純にお箏を弾いて見るというプログラムではありません。2人1組になったペア同士が協力して「さくら」を演奏し、かつクラス全体でリレーして行く内容で、ペア同士だけでなくクラス全体が協力してはじめて「さくら」が演奏できるプログラムです。

皆で協力して演奏する協力要素も盛り込んだ「参加型体験学習」として『箏体験プログラム《さくらリレー》』を実施しています。

そして「ごんぎつね」での共演リハーサルでは、自分達で体験した日本の楽器(箏)と共演することによって「邦楽器をより身近」に感じ、《音楽作品を演奏家と一緒に作り上げる経験》を持つことで、演奏家と協働体験も共有することを意図しています。

尚、『箏体験プログラム《さくらリレー》』は体験の密度を維持するため、1校時分の時間(45分)を掛けてクラス単位(最大40名)で実施するワークショップ体験プログラムです。

特別支援学校での実施における工夫点

【パイプ椅子を利用した箏の設置】



【ベッド等の児童生徒の補助】



特別支援学校での本事業の実施にあたっては、これまでご担当の先生との事前打ち合わせを丁寧に行い、学校毎に実施内容を調整して行ってきました。

平成26年度愛知県豊橋特別支援学校、平成27年度滋賀県立三雲養護学校・大阪市立平野特別支援学校の2校、平成28年度福岡県立福岡聴覚特別支援学校・長崎県立盲

	<p>学校の2校、平成30年度青森県立八戸聾学校・盲学校等々での事業実施では、各校ごとに「どのような形でワークショップや本公演を実施(児童生徒の参加方法)するのが望ましいか」が異なり、各支援学校の児童生徒さん方の個性に合わせ、ご担当の先生方の協力を仰ぎつつ実施プログラムを修正しながら対応して参りました。</p> <p>楽器の体験においては、体育館で正座できない児童生徒にも対応できるよう上の写真のようにパイプ椅子やテーブルを使ってお箏を設置したり、車椅子やベッド等の児童生徒にも対応できる補助方法などを学校側と協力して工夫し、実施して来ています。</p>
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

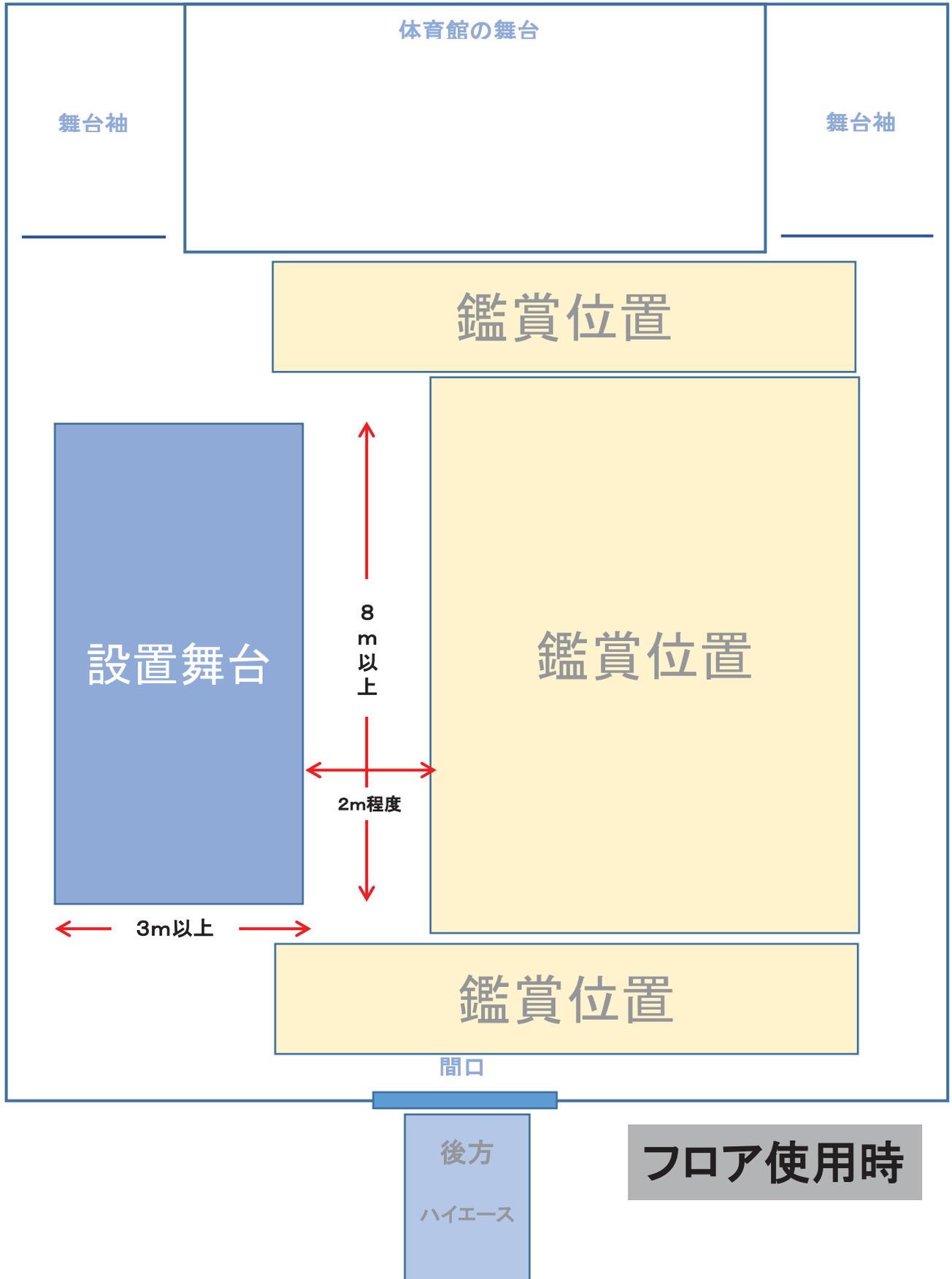
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—実施条件等確認書①】

ID	1105	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 日本音楽集団				制作団体名	特定非営利活動法人 日本音楽集団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	演奏者の控室として使用します。体育館のステージを利用したケースもありましたが、時期によっては【暖房必須】です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			ハイエース	1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエース(W 1.88m、L 4.84m、H 2.1m)				
	不可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内(屋根のある経路必須)				
	可	搬入経路の最低条件			楽器類を搬入するため、当日の天候の条件にかかわらず、 楽器を濡らさずに搬入できることが必須条件 です。体育館への「屋根付きの渡り廊下」等は可です。				
		理由			WSでは体験用の楽器(箏20面)、本公演では演奏用の楽器を搬入するため。				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m以上		高さ	2m程度		
WSについて	不可	参加可能人数			《最大4クラス(160名)まで》 楽器体験はクラス単位で実施し最大4クラスまで可。 共演リハーサルはクラス合同で実施。				
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校4年生～6年生		
	可	所要時間の目安 単位:分			6校時全てを使う場合、4クラスを対象に実施可。 ①1校時目／【搬入と準備】45分、体験用楽器など ②2～5校時目／【楽器体験】45分×4クラス ③6校時目／【共演リハーサル】45分、楽器体験をおこなった全クラス合同で実施				
	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
可	鑑賞可能人数			300名程度					
可	舞台設置場所 *			フロア					
不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8m以上	奥行	3m以上	高さ	指定なし	
可				舞台袖スペースの確保 *		要			
可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		舞台袖に演出や体育道具等々が置かれていないこと。			
—				緞帳 *	不要		パトン *	不要	
—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
—			ピアノの事前調律 *		不要				
可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
—	公演に必要な電源容量			—		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項									
可	【WS】・【本公演】共に、学校のマイク・スピーカーをお借りします。(ポータブルが望ましい)								
可	【WS】楽器体験で演奏方法を説明するため、TVモニターか電子黒板をお借りします。								
可	【WS】長机1～2、ホワイトボード1、パイプ椅子15脚程度をお借りします。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m程度
搬入車両の横づけの可否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内(屋根のある経路が必須)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

子どもたちへのメッセージ

The Message for Children

1、「新美南吉 生誕百年記念」

ごんぎつね

(新美南吉原作・佐藤万里作詞)

川崎絵都夫作曲…1998年、2011年改訂)

語り…飛山真利子

合唱…NHK東京児童合唱団

2、日本の音たち―伝統楽器紹介のための

《子供のための組曲(長澤勝俊作曲…1964年)より》

3、ひかりのうたげ

(童声合唱と邦楽器のための)

(信長貴富作曲…2005年)

指揮…苦米地英一

合唱…NHK東京児童合唱団

4、八声のコンチエルティノー

(福嶋頼秀作曲…委嘱初演)

指揮…稲田康

5、スーパー歌舞伎「ヤマトタケル」より

ヤマトタケル組曲

(長澤勝俊作曲…1986年)

指揮…田村拓男



VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, <input checked="" type="checkbox"/> 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ ていすいきかくしつ		
制作団体名	有限会社 貞水企画室		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野清太郎		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0034 東京都 文京区 湯島3-32-3 (地下鉄・千代田線 湯島駅より徒歩5分)		
電話番号	03-3831-1555	FAX番号	03-3831-1555
ふりがな	ゆうげんがいしゃ ていすいきかくしつ		
公演団体名	有限会社 貞水企画室		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野清太郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0034 東京都 文京区 湯島3-32-3 (地下鉄・千代田線 湯島駅より徒歩5分)		
制作団体 設立年月	平成16年 設立	団体構成員及び加入条件等	
制作団体 組織	役員 浅野 清太郎 浅野 ゆき子 小池 岳士 小池 将直		
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	小池 岳士
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	小池 将直

制作団体沿革

2004年に有限会社貞水企画室は講談界初の人間国宝、一龍斎貞水により設立された。

講談の普及

「伝統(講談)は今の時代に持て囃され、はじめて守ったことになる」

講談の継承

「先人から受け取った講談を後世に伝える」

講談界の第一人者として一龍斎貞水が果たすべき役割を具現化するのが主な業務。古典講談のあるべき姿を継承しつつも、ジャズダンスや京劇など様々なジャンルとのコラボレーション、また特殊演出効果を駆使した立体怪談の考案など、常に新たな可能性を模索。伝統話芸・講談の魅力を幅広い世代に発信し続けている。

主な活動としては・・・

『伝承の会』の監修、助成

講談協会主催による、講談伝承を目的とした『伝承の会』の監修と助成を行っている。この事業は『伝承』を目的として、会派の垣根を超え、東西の若手、中堅講談師(受講生)と講談師(講師)を結び付け、一年間の稽古を経て発表会を行っている。いまや講談界の一大イベントともなっている。

『連続講談の会』を毎月開催。

講談本来の在り方である連続物。自ら湯島で主催する『連続講談の会』で毎月口演。既に「赤穂義士伝」「緑林五漢録」「田沼騒動」「仙石騒動」「宇都宮釣天井」「四谷怪談」そして「金毘羅利生記」の7シリーズ目に入る。

『東京文化財研究所・実演記録』

貞水のみ知る貴重な読み物(演目)を実演記録。

『学校寄席』の出演

講談普及のため年間30～70本の学校公演に参加。

など

講談師・一龍斎貞水<人間国宝> 現 講談協会会長 主な受賞歴

1975年 文化庁芸術祭優秀賞

1976年 放送演芸大賞講談部門

1999年 下町人間庶民文化賞

2002年 重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。

2003年 文京区区民栄誉章を受賞

2009年 旭日小綬章

座右の銘は「偉大なる未完成」。

<p>学校等における 公演実績</p>	<p>講談普及のため学校公演を毎年30～70</p> <p>平成21年度「本物の舞台芸術体験事業」参加作品 平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」参加作品 平成23年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」参加作品 平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」参加作品 平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」参加作品 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」参加作品 平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」参加作品 平成28年度「文化芸術による子供の育成事業」参加作品 平成29年度「文化芸術による子供の育成事業」参加作品 平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」参加作品</p> <p>子供向けの著書には「一龍斎貞水の歴史講談」(フレーベル館)がある。</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>			
<p>参考資料の 有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	<p>A の 提出が 困難な 場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

有限会社 貞水企画室】

対 象	小学生(低学年)・(中学年)・(高学年) ・ (中学生)		
企画名	一龍斎貞水プロデュース・「講談の世界」 (ワークショップ＝「講談教室」 本公演＝「講談〇〇亭」)		
本公演演目	<p>※読み物(講談では演目を「読み物」といいます)は、年齢層や生徒さんのご様子を見て、公演当日に選択をします。</p> <p>ワークショップから本公演を通し、様々なジャンルの講談をご覧いただけます。</p> <p><ワークショップ> 軍談(修羅場よみ)「三方ヶ原軍記」など ※クイズコーナーでは各ジャンルの特徴的な部分をご紹介します。</p> <p><ワークショップ→本公演> 連続講談 「はろはろ天狗」「海賊退治」「宮本武蔵」など決闘シーン(立ち回り)のある読み物 本来は一席の読み物を途中のいいところで切って、後半は本公演に</p>		
原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p><本公演> 二席の講談は ○いずれかに怪談物を入れる ○江戸と上方 ○新作と古典 など変化を付けて構成します。</p> <p>読み物は 子供が登場する「越の海」など 決闘シーンが迫力の武芸物「荒木又右エ門」や「宮本武蔵」など おどろおどろしい怪談物「四谷怪談」「耳なし芳一」など 歴史上の有名人が登場する「太平記」など いずれも児童生徒さんに親しみ易い読み物を口演致します。</p>		
			公演時間(90分)
著作権	○	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する 事項が含まれる (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無



出演：講談協会・なみはや講談協会・上方講談協会・大阪講談協会



講談とは...

釈台と呼ばれる小机を張り扇で
バンバンと叩いて調子を取り、
独得の七五調で物語を語る、これが講談です。

講談を演じることを「読む」といいます。
これは本来、釈台の上に本を置いて読む事を由来とします。
また演目は「読み物」といいます。
読み物の題材は、主に歴史上で実際にあった出来事や人物。それをそのまま語るのではなく、
聞き手が楽しめるよう、史実をもとに壮大な脚色を加えてゆきます。
江戸の時代から今に至るまで、庶民の娯楽として脈々と生きてきました。
講談は日本が誇る伝統話芸です。

プログラムの目的と構成

日本の伝統話芸・講談の魅力を知り、
「学び」・「体験」・「鑑賞」の三つの柱で構成されています。

学び

実演・映像・クイズを交えながらの解説、
展示ブースなど様々な角度から講談を学ぶ。

体験

張り扇の作成、講談の創作、そして講談にチャレンジ！

鑑賞

本物の話芸を体感。



知る

講談の魅力と面白さを知ってもらう。
そして日本語が持つ本来の美しさを感じてもらいます。

ワークショップの事前

体験

張り扇を作ろう 世界に一つ、君だけの張り扇

※ワークショップまでに作成をしてもらいます。
※事前の作成が困難な場合は、体験用の張り扇を当方で用意します。

ワークショップと本公演で使用する張り扇を、
児童生徒さんに作ってもらいます。

ご準備ご用意いただく物



別紙「張り扇の作り方」
マニュアルを参考に
お作りください。
※動画「講談の世界」でも
作り方の実演があります。

- ・割り箸
- ・水のり
- ・段ボール
- ・白い紙
(半紙)



動画

「講談の世界」DVD

※一龍齋貞水監修によるオリジナル動画です。

ワークショップの事前に、また本公演までの間の
教材としてご利用ください。

講談とは？

この動画を見れば
講談の一通りを知る事が出来ます。

- ◎ 講談のルーツ
- ◎ 枱台と張り扇
- ◎ 高座（舞台）の裏側
(楽屋の様子や前座さんの働き等)
- ◎ 読み物（講談の演目）
ごとの読み方や演出

などなど・・・



講談本公演プログラム

講談〇〇亭

※〇〇には学校名が入ります。



この日、体育館は

講釈場になります。

本公演と合わせてお楽しみ



講談三二博物館 (展示コーナー)

一龍齋貞水所蔵の珍しい
講談グッズを展示

張り扇

貞水が自身で作成し、
使用しているもの



火鉢

(手あぶり)

本牧亭でお客
様に配られていた
小さな火鉢



講談

番付表

相撲の番付表に
倣い、昭和初期
に作成された物



釈台

講談最後の釈場・本牧亭で実際に
使用されていた昭和初期の釈台

講談本
(速記本)

講談を速記して本にしたもの
(明治～大正期)

点取り本

お稽古を受けるときに
自身でポイントを記す本



本格的な釈場を再現

講談の興行（公演）が行われている寄席（劇場）を釈場と言います。江戸時代には江戸の各町内あったそうです。当時、講談は庶民の娯楽の中心にあったんですね。



釈場の運営に参加

児童生徒さんにも半被を付けて、運営をお手伝いしてもらいます。

会場係（10名程度）＝会場のご案内

前座係（3名程度）＝講談発表会の高座返し
(座布団をひっくり返す)



いふいふ
「講談00亭」の開演です

一、 連続講談・後半

二、 講談入門

三、 講談

～お仲入り～

四、 講談発表

五、 色物 紙切りなど

六、 講談

前回（前半）はWSです



連続講談（後半）〈遊龍退治、はらばら天狗、宮本武蔵など〉

※勢いのある若手講談師の講談で元気にスタート！

講談の本来の姿であり醍醐味である連続物を、

ごくごく短い読み物で再現



さて、いふいふ
相まみえる事になりました二人





講談入門 ～新場へようこそ～

1 ワークショップのおさらい

講談をより楽しく鑑賞してもらえよう、ワークショップの内容から「張り扇」の叩き方など、演技特徴を中心におさらいします。

2 講釈場の解説

講釈場を再現した雰囲気たっぷりの舞台（高座）の中で、講談専用の劇場（寄席）である講釈場の説明をします。

座布団の置き方に
ルールがある！

寄席文字（めぐり）
の字の秘密★

舞台の事を高座って
なんで呼ぶの？

前座さんのお仕事～

3 本日の番組紹介

本日の番組（プログラム）のご紹介に合わせ、講談界の仕組みを簡単にご説明します。

講談の世界には
「前座」「二つ目」「真打」
と三つの階級があります

江戸と上方の講談があります

- ◎ 「真打」になると周りの人から「先生」呼ばれお弟子さんも取れるようになります。
- ◎ 休憩の事を「お仲入り」って言います。その意味。
- ◎ 色物は番組に色を添えるから色物。
- ◎ トリ（最後）とは最後に登場する出演者の事。
今日は講談界の大看板真打が登場するよ。
- ◎ 江戸と上方の講談の違い。

三 講談

お仲入り 休憩 15分

四 講談発表会 お稽古（ワークショップ）で選ばれた代表による発表

ワークショップお稽古した成果をここで見せよう！



五 色物 ちょっと奮発め びっくり仰天！妙技の散々を楽しもう

紙切り、曲ごま、曲芸など「目」でお楽しみいただきます。

六 講談

三 六 講談には・・・

- 上方と江戸
- 新作と古典
- どちらか一席に怪談話を入れる

などプログラムにアクセントを入れ構成します。

主な出演者

江戸 (東京)



宝井琴梅



一龍斎貞花



一龍斎貞心



一龍斎貞山



宝井琴星



宝井琴調



一龍斎春水

(アニメの声優でもおなじみ)



一龍斎貞友

(アニメの声優でもおなじみ)



田辺淡鶴



一龍斎貞橋



神田春陽



田ノ中星之助



一龍斎貞寿



神田山録



宝井権湯



宝井琴鶴



神田すず



田辺銀治



一龍斎貞鏡



田辺いちか

※体調が許せば一龍斎貞水 (人間国宝) も出演します。

上方 (大阪)



旭堂南左衛門



旭堂南麟



旭堂南滋



旭堂南湖



旭堂山南綾



玉田玉秀次



旭堂南龍



旭堂南岳



旭堂南斗



旭堂南照

色物



林家正楽

<紙切り>



林家二楽

<紙切り>



三摺紋之助

<曲ごま>



柳貴家雪之介

<大神楽曲芸>



鏡味味千代

<大神楽曲芸>

<p>演目選択理由</p>	<p>これからの日本を担う子供たちに、講談を知っていただきたい・・・</p> <p>学校の先生方へ</p> <p>「講談」は「講釈」と呼ばれていました。それは江戸時代、字の読み書きが出来なかった庶民の人たちに、浪人などの知識人が「太平記」などの歴史の本を解りやすく解説を交え、そう講釈をしながら読んで聞かせていたからです。</p> <p>講談師が前に置く小机＝釈台には本来、本を置きます。今でも演目の事を「読み物」と呼び、講談師(真打)を呼称して「先生」というのは、その当時の名残なのです。講談師の祖先は、今の学校の先生みたいなものだったのです。</p> <p>それが徐々に演芸として発達してゆきます。すると読み物は脚色が増えられ、話にメリハリを付けるために「張り扇」を叩いたりして、聞き手(お客様)が飽きないよう様々な工夫が成されました。</p> <p>こうして講談は時代、時代の人々に愛され、今に繋がれて来ました。</p> <p>講談には、日本人が持つ先人からの知恵、人を思いやる道徳心、そして日本語の美しさがあります。</p> <p>「風化しつつある大切なこと」・・・講談を通して学んでいただけます。</p> <p>～講談から実際にこんなことが学べます～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の大切さ(相手に伝わる話し方) ・人と人との交わり方(友達・親子・先生と生徒) ・目上の人との接し方や、言葉の使い方 ・面倒を見るということの意味(弱者や困っている人を助けること) ・作業も工夫をすれば、こんなに早く終わる などなど <p>このプログラムを通して講談を知っていただき、「また観てみたい、聴いてみたい」と思っただけで幸いです。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●係として公演の運営を、一緒にお手伝いいただきます。 会場係(10名程度)＝会場のご案内 前座係(3名程度)＝講談発表会の高座返し(座布団をひっくり返す) ●ワークショップでは体験を随所に織り交ぜています。 またクイズ形式で問いかけながら生徒さんと一体となって進行してゆきます。 ●ワークショップでは全員がお稽古できる仕組みになっています。 ⇒そして代表の生徒さんが本公演で発表。 		
<p>出演者</p>	<p><講談> 真打3名 二ツ目1名 前座1名 <色物> 1～2名</p> <p>※講談師は講談協会・上方講談協会・なみはや講談協会・大阪講談協会の各団体より出演。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 6～7名 スタッフ: 4～5名 合計: 11～12名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2 t 車長 5.31m 台数 1台</p>

【公演団体名

有限会社 貞水企画室】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="403 860 1445 976"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 時</td> <td>9 時～12 時</td> <td>13 時 30 分～ 15 時</td> <td>10 分</td> <td>15 時～17 時</td> <td>17 時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。 ※基本的には午後公演ですが午前公演希望の場合、前日仕込みをご依頼する場合がございます ※会場の構造により、片付終了が遅くなる可能性があります。</p>					到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9 時	9 時～12 時	13 時 30 分～ 15 時	10 分	15 時～17 時	17 時
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出												
9 時	9 時～12 時	13 時 30 分～ 15 時	10 分	15 時～17 時	17 時												
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	制限なし															
	本公演	制限なし															

ワークショップ プログラム 「講談教室」

ワークショップ時間 60分～90分

※児童、生徒さんの状況、学校様のご都合に応じて調整が可能です。

- 一、講談「三方ヶ原」～修羅場よみ～
- 二、講談の道具説明（釈台と張り扇）
- 三、講談の読み方（語り方）
- 四、みんなでパン！パン！ 張り扇体験
- 五、講談ジャンルクイズ
- 六、学校エピソード講談
- 七、講談稽古
- 八、連続講談（前半）

各項目で知っていただきたい **知識ポイント** を絞り、
講談がどんな芸能なのか？
ワークショップ全体の流れの中で、
講談を知っていただける工夫を施しています

バリバリバリ！ 講談教室スタート 若手3人が 明るく楽しく進行します！

自己紹介も兼ねて、
それぞれが簡単な講談の一節でごアイサツ



主な出演者



旭堂南洲



玉田玉秀斎



田辺漢輔



一熊富貞禰



宝井琴柑



一熊富貞禰



旭堂南庵



旭堂南希



神田春陽



神田山鏡



田辺銀造



神田すず

講談はもとより江戸（東京）と上方（大阪）に存在しています。
また近年では女流講談師が多く活躍するようになり、
今や全体の半数以上を占めるようになりました。
それぞれの特徴を生かしながら、賑やかに進行して参ります。



知識ポイント 講談の雰囲気

一 講談「三方ヶ原」～修羅場よみ～

武田信玄の軍が、徳川軍に城に攻めかかるシーン
講談の迫力の語りと、威勢よくパンパンと鳴り響く張り扇。
まずは講談がどんな芸能なのか？
講談の基本である「修羅場よみ」を鑑賞してもらいます。



「修羅場」とは激しい合戦の場面のことです。
講談師は入門すると先ずこの「修羅場よみ」の修行をします。
そこで腹から声を出すことを覚え、声を鍛えます。
そして講談の独特の調子と間の基本を取得するのです。



そして

武芸物（宮本武蔵など）▶

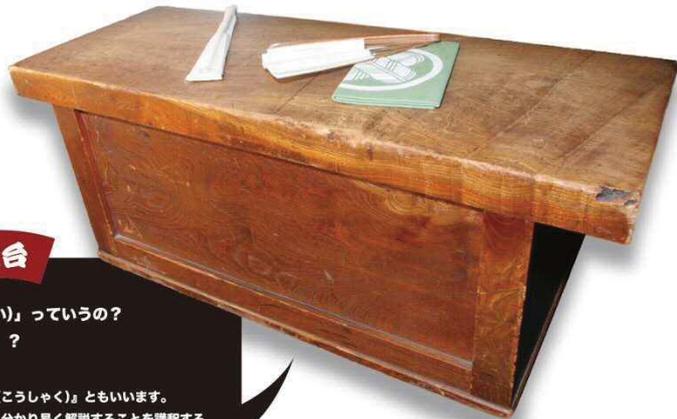
様々なジャンル

と修行は進んでゆきます。

知識ポイント 講談のルーツ、道具、演出法（動き）

二 講談の道具説明（釈台と張り扇）

道具の説明をしながら、講談がどんな芸能なのかを理解してもらいます。



釈台

Q 何で「釈台（しゃくだい）」っていうの？
何のための小机（釈台）？

A 『講談（こうだん）』＝『講釈（こうしゃく）』ともいいます。
講釈で使う道具だから釈台。分かり易く解説することを講釈する
といいますね。江戸の時代、一般庶民の多くは字の読み書きが出来
ませんでした。そこで漢人などの知識人が、昔からある本を面白く、
分かり易く解説（＝講釈）しながら読んで聞かされたのです。これが
講談のはじまり。釈台は本来、本を置くための物なのです。

※実際に「本牧亭」で使われていた、
昭和初期の釈台



釈台の上に本を置いていなくても、一席（演技）の終わりに講談師が
『一席の読み終わりでございます。』
って云うのは、その名残です。



講談師を先生と呼ぶのも、当時では学校の先生みたいなところがあったからです。

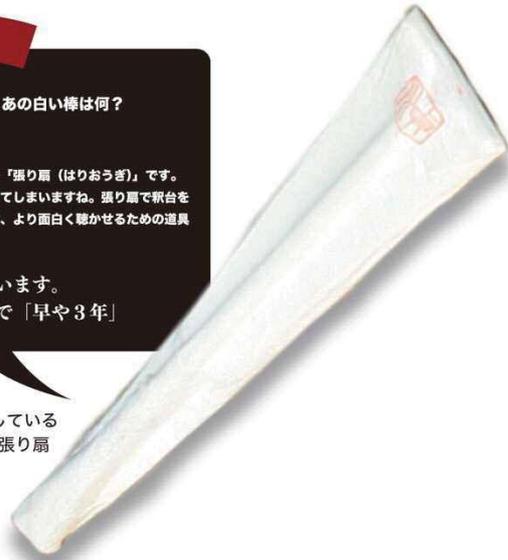
張り扇

Q 釈台をバンバンと叩いていた、あの白い棒は何？

A みんなにも作成してもらった、あれが「張り扇（はりおうぎ）」です。ただ読んでいただけではお客様が飽きてしまいますね。張り扇で釈台を叩きながら話にメリハリと潤子を付け、より面白く聴かせるための道具なのです。

- ◎句読点の役割も担っています。
- ◎張り扇、ボンと一打ちで「早や3年」

※貞水が使用している
（作成した）張り扇



講談師は自分の声の高さや、質に合わせて、
自分で張り扇を作成します。



扇を半分に割り、西の内という丈夫な和紙を巻き付けて作ります。

扇子・手拭

Q 扇子と手ぬぐいは何に使うの？

A 「講談」と並び称される日本の話芸二大話芸といえば「落語」ですよね。落語家さんは程ではないですが、何かに見立てて使います。扇子は・・・広げて「提灯」、構えて「刀」など。手ぬぐいは・・・広げて「本」、そのまま「紙入れ（お財布）」など。



知識ポイント 演出法（語り方）、切れ場、落語との違い

三

講談の読み方（語り方）

昔話「桃太郎」を講談調で聞いてみよう！



講談は講談調といって独特の語り方をします。
七五調を使い話に抑揚を付けながら語ります。
また話の最後に「切れ場」が付くのも大きな特徴です。



ここでは、他の話芸との語り方と演出の違いを聞き比べてもらいます。
そして講談の語り方の特徴を感じてもらいます。

講師A(講談) 講師B(朗読) 講師C(落語)
3人の講師が「講談」・「朗読」・「落語」の三役になり実演します。

滑らかで、みんなが
慣れ親しんだ感じですね



句読点にパンパンと張り扇が打たれ、
話にメリハリはがあります。



落語は講談と比べ
さらさらとしゃべる感じ、
そして最後にオチ（笑い）がありますね。



品があって桃太郎さんが
とても立派に想像されますね。
そして最後に「切れ場」という
話の締めがありました。
「見事、悪行重ねる鬼たちを
打ち負かしました桃太郎一行（パンパン）～」



知識ポイント 演出法

四、みんなでパン！パン！

張り扇体験

二、三で講談の演じ方を知っていただきました。
ここでもう一度「三方ヶ原」を観ると
見え方が変わってきます。



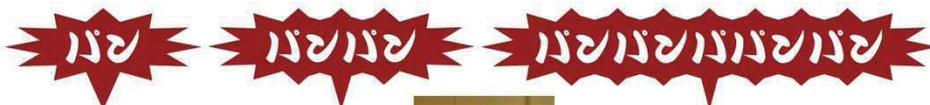
最初にご覧いただいた「三方ヶ原」の中で叩かれていた張り扇。

これを全員でチャレンジしてもらいます。

自分で作った「張り扇」を使ってうってみよう！



一人の講談師が「三方ヶ原」を読みます。
もう一人の講談師が張り扇を打つキッカケを出します。



指を1本出したら
張り扇をパン



2本出したら
パンパン



5本で
パンパンパンパンパン

「三方ヶ原軍記（みかたがはらぐんぎ）」

パン
ころ げんき ①頃は元龜三年 ①、
さる ①、
たけだだいそうじょうしんげん ①、
ななえ ①、
七重のならし、

パンパン
ととのえて②、
いきおい ②、
三万五千人②、
らいはつ ①、
えんしゅうしゅうちこおり ①、
遠州周智郡、

パン
いぬい ①、
あまのくないざえもんかげつら ①、
あしだしもつけのかみ ①、
あんないじや ①、
乾の城主、天野宮内左衛門景貫①、
芦田下野守の兩人を案内者として①

パンパンパンパンパン
いいたたたら ⑤、
りょうじょう ⑤、
同国飯田多々羅の両城へ攻めかかる。⑤

知識ポイント 講談のジャンル、演出（語り分け）、脚色

五、講談ジャンルクイズ

講談には「お相撲さん」「お侍さん」「泥棒」など色々な登場人物が出てきます。
「幽霊」なんかも登場します。そして主人公によって読み物のジャンルが分かります。
講談師はそれぞれのジャンルによって、やり方を変えて読みます。（語り分ける）

お相撲さんが活躍する力士伝では、力強く、どっしと。

幽霊が出て来る「怪談物」ではおどろおどろしくなど

映し出された絵（登場人物）がどんな人なのか、クイズで当ててもらいます。



合戦を語る。「三方ヶ原戦記」「太閤記」など



お化けが出てくる怖い話
「四谷怪談」など



泥棒さんが大暴れ
「鼠小僧」「石川五右衛門」など



赤穂浪士の仇討ち



剣豪がバツバツと大活躍
「宮本武蔵」
「荒木又左衛門」など



大岡越前守などの名裁き
「大島屋騒動」
「水戸黄門漫遊記」など



家督争いや、権力争いなどの内部抗争
「加賀騒動」「伊達騒動」など



お相撲さんたちが登場する話
「寛政力士伝」など



答えが出たところで、
講談師がその有名なワンフレーズを実演して見せます。



「講釈師、見てきたような嘘をつき」と昔から言われています。

講談師は自分が実際に行ったことも、

見たことも無い時代や出来事（話）に「尾ひれはひれ」を付け、

それをリズムカルな講談調で、

荒唐無稽な話をあたかも本当の事のようにしてしまうのです。



講談はこんな風に大げさな脚色をします。

槍をとった清正、ひとつばらいで10人、ふたつばらいで20人、みつばらいで30人～

見事、扇の的を射抜きました那須の与一、うわーっと上がった闇の声はもの凄く、
なんと太平洋を越えてハワイまで轟いたと申します。

知識ポイント 講談はどうやって出来上がるのか

☆、学校エピソード講談 キミの学校のエピソードを 即興で講談にします！

講談師は、取材→脚本→演出→演者を1人で行います！



現代では一話読み切りが多いですが、本来の講談は、
講談師は現地に赴いて、詳しく調べ、それを本におこし、脚色（演出）を加え、
自身で演じていました。『清水次郎長伝』などはそのよい例です。



「講談は嘘と本当の丸木橋」大きく脚色した話に、
本当の部分（距離や景色など）を織り交ぜることで、話に信憑性を持たせるんですね。



こうして
初めから最後まで全てを
一人でやってしまうのです。



ワークショップ当日の朝、講談師が学校の先生に取材をし、学校エピソードを聞き出します。
その材料をもとに脚本を書き、演出を施し、皆さんの目の前で披露いたします。

身近な校内ニュースを講談調で聴くことで、
興味・関心がさらに広がります。
当日作成のため、学校で起こった旬な出来事をお聞かせ下さい。

実例1 ○年○組の○○君が、柔道の大会で優勝したこと。

火の国熊本柔道の大会において 152/ ●年●組、●●君がなんと 152/
優勝したのであります。152/152/15152/152/
決勝戦では両者ともしのぎを削る厳しい戦いの上 152/
勝利を収めた。ここに未来のエースが誕生するのであります。

実例2 飼育係が可愛がっていたウサギが、赤ちゃんを5匹も生んだ。

彩の国さいたまの●●小学校において 152/ ●月●日 152/
春先の訪れとともに幸せなニュースが舞い込んできました。152/
皆に愛されているウサギのピョン吉に 152/
子供が5匹誕生したのである 152/152/
子供たちは皆に愛され、めでたく幸せに暮らすのであった 152/152/15152/152/



七.

大きな声で 講談にチャレンジ

講談体験

遠くまで聞こえる大きな声で、ハッキリと読むことが大事です

其の一 全員による体験!

背筋を伸ばして正しい姿勢で。大きな声で。

1 講談師お手本を見せます。



2 全員で一行ずつ復唱してもらいます。



3 手を挙げた生徒さんに高座でやってもらいます。

我こそは〇〇学校〇年〇組
リフティングにかけては
誰にも負けぬ〇〇(名前)である
我と思わんものは
尋常の勝負におよべ

※セリフをプロジェクターで

ゲーム好きにかけては・・・

メダカの飼育にかけては・・・

など自由に
自分が得意なことを入れます。



※たくさんの生徒さんが手を挙げる、大人気のコーナーです。

其の二 3グループに分かれて お稽古(体験)!

低学年・中学年・高学年の3グループに分かれてお稽古をします。

3人一組で講談の一説をやってもらいます。

*中学校では学年ごとにグループ分けをします。

低学年

『水戸黄門』

- ・水戸黄門役
- ・助さん役
- ・角さん役

中学年

『義経と弁慶』

- ・義経役
- ・弁慶役
- ・(ト書き)役

高学年

『修羅場』

- ・前半
- ・中盤
- ・後半

各グループで代表の組を選んでもらいます。

代表の組は本公演で発表してもらいます。

次回（後半）は本公演です

八、

連続講談（前半）〈海賊退治、はらばら天狗、宮本武蔵など〉

講談は本来、連続物といって何席あるものです。

面白いところで切ってしまい、また次回に繋ぐ。

テレビドラマみたいなものですね。

※現代はほとんど一席（一話）読み切りで口演しています。

海賊退治

ワークショップ

笹野権三郎という強い侍が風早丸という船に乗る、
瀬戸内海で海賊が現れ船を襲う権三郎バツバツと海賊達をやっつけて行く、
ついに現れた海賊の大将西海灘衛門

「ここから権三郎と西海灘衛門の血闘の決闘の火蓋が切って落とされる事となる、

ここからが面白い所ですが、残念ながらお時間となってまいりますので、

この続きは本公演で申し上げさせていただきます。」

続きは本公演で

お楽しみに!

本公演

（軽く前回のあらすじを言ってから）

「さていよいよ相まみえる事になります」二人

（決闘のシーン）

「見事、海灘衛門を倒した権三郎、

おかげでこれより瀬戸内海、勇心にて航行できるよになったと申します。

海賊退治大団円でございます。」

おしまい

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>～全体を通して繋がる体験形態～</p> <p><事前>「張り扇」の作成 ⇒<WS>お稽古(体験・創作) ⇒<本公演>発表</p> <p>プログラムの各項目でポイントを絞り、講談がどんな芸能なのか？ 全体をとおし、知っていただける仕組みです。 様々な角度から講談を解説。飽きずにお楽しみいただける工夫を施しています。</p> <p><興味を持たせる> ・張り扇の作成…自前で作成する事で講談への興味を高める ・全員で生徒さん自前の張り扇を叩く</p> <p><楽しく鑑賞させる> ・江戸、上方、女流の若手3名が、それぞれの特徴を生かし賑やかに進行</p> <p><理解をさせる> ・朗読、落語を比較して講談の特徴を解説 ・随所に実演を交えながら解説</p> <p><関心をさせる> ・講談調の迫力の語りを体感 ・学校エピソードを即興で仕立てられた講談で聴く (講談がどうやって創られるのか解説)</p> <p><自己の表現力を高める> ・講談で自己紹介→手を上げた生徒さんは皆の前で発表</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>今までの学校公演実績に基づいて対応いたします。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

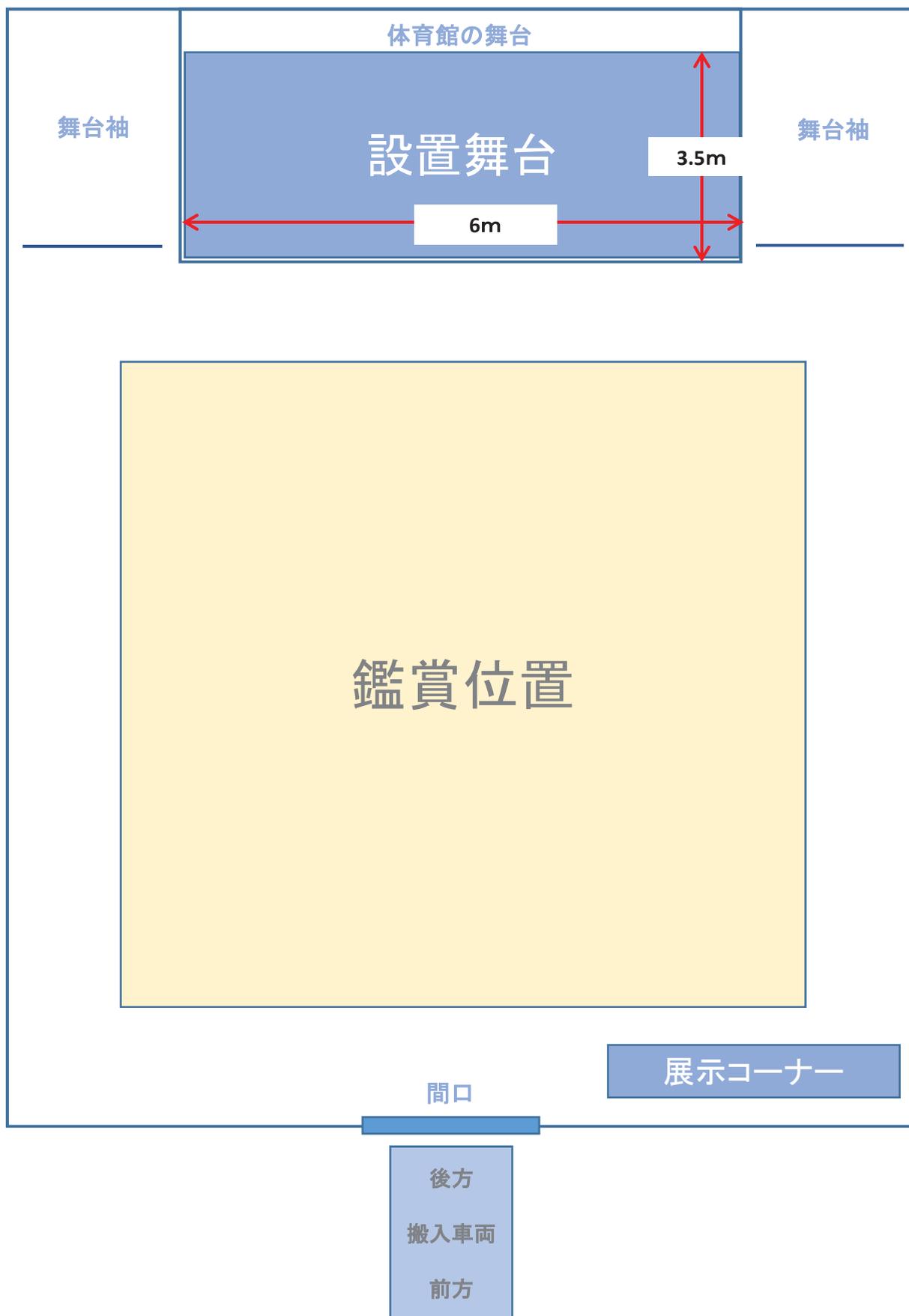
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1312	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック		区分	A区分
公演団体名	有限会社 貞水企画室				制作団体名	有限会社 貞水企画室			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館近くの部屋 または舞台袖					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	—	搬入経路の最低条件								
		理由								
	可	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.5m	高さ	2m				
WSについて	可	参加可能人数			制限なし					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			60～90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			制限なし					
	不可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	6m	奥行	3.5m	高さ	指定無し		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	不可				舞台袖スペースの条件 *		着物を着た状態で通り抜けられる程度に、荷物が無い状態			
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	不可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量			30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	舞台に必要な広さは目安であり、上記より狭くても実施可能です								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です。			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅷ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【メディア芸術】	映像, <input checked="" type="checkbox"/> メディアアート等

申請する区分に, ○を付してください。

A区分・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わうかぶしきがいしゃ ワウ株式会社		
代表者職・氏名	代表取締役 高橋裕士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
電話番号	03-5459-1100	FAX番号	03-5459-1101
ふりがな 公演団体名	わう WOW		
代表者職・氏名	取締役 工藤薫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
制作団体 設立年月	1997年 7月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高橋裕士 取締役 高橋秀明 取締役 於保浩介 取締役 森脇大輔 取締役 工藤薫 取締役 中路琢磨	社員数:50名	
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	稲垣拓也
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	星靖浩

制作団体沿革	<p>1997年4月 株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立 Web のシステム&コンテンツの開発事業を行う</p> <p>1999年4月 名称をワウ株式会社に変更。CM を中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開</p> <p>2000年4月 ワウ東京ランチを開設</p> <p>2002年4月 本社は仙台から東京に変更</p> <p>2004年7月 東京本社を銀座から青山に移転</p> <p>2005年4月 代表取締役に高橋裕士が就任</p> <p>2007年10月 東京本社を青山から渋谷に移転</p> <p>2010年9月 仙台支店を現住所に移転</p>		
メディア教育における活動実績	<p>BAKERU (WOWによるデジタルアート作品):</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催</p> <p>2018年4月 東京鹿踊(岩手郷土芸能)とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開</p> <p>2018年4月 青山スパイラル「WOW Visual Design Studio -WOWが動かす世界-」内で展示</p> <p>2019年7月 JAPAN HOUSE Los Angeles で個展「BAKERU: Transforming Spirits」を開催</p> <p>2019年~ 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」(メディア芸術)で関連プログラムを実施</p> <p>縦系横系合同会社 (本プログラム共同実施団体):</p> <p>2014年9月 舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺『みんなの作業場』企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年2月 日韓芸能交流を目的とした公演「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年8月 子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば“ボレロ”～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2017年2月 宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画</p> <p>2017年5月 岩手県主催事業「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催</p> <p>2017年8月 八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催</p> <p>2017年12月 和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2018年1月 郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催</p> <p>2018年3月 日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p>		
特別支援学校における活動実績	特になし		
参考資料の有無	<p>(A)</p> <p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>申請する企画のチラシパンフレット等</p> <p>申請する企画の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> <p>今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>http://bakeru.jp/</p> <p>ID: 不要 PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生											
企画名	BAKERU ― デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ―											
プログラム全体の流れ	<p>【プログラムの構成】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 1 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 2 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ 2 回</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メインプログラム → ワークショップ 1 回</td> </tr> </table> <p>【全体の流れ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>※ はじめに、前年度プログラムの記録映像をご覧ください https://vimeo.com/313292823</p>  </div> <p>1日目 郷土芸能の鑑賞、レクチャー、およびワークショップ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。 また、郷土芸能と「変身すること」のつながりについてお話しします。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子躍」を実演。 作品のモチーフになった実際の芸能を鑑賞します。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「変身すること」をテーマに衣装について解説し 着付け体験などを通して芸能に触れ、理解を深めます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>レクチャーを参考に「自分が変身するとしたら」をテーマに オリジナルのお面を制作。2日目の体験で使用します。</p> </div> </div> <p>2日目 「BAKERU」の体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップで制作したオリジナルの体験用お面を使って デジタルアート作品「BAKERU」を体験します。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>それぞれの想いがつまったお面。他の参加者がどのような コンセプトで自身のお面をデザインしたか、見て考えます。</p> </div> </div>			ワークショップ 1 回 → メインプログラム		ワークショップ 2 回 → メインプログラム		ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ		メインプログラム → ワークショップ 2 回	○	メインプログラム → ワークショップ 1 回
	ワークショップ 1 回 → メインプログラム											
	ワークショップ 2 回 → メインプログラム											
	ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ											
	メインプログラム → ワークショップ 2 回											
○	メインプログラム → ワークショップ 1 回											
児童・生徒の参加上限人数	ワークショップ (1日目)	120名程度										
	メインプログラム (2日目)	最大120名程度 (1時限あたり40名程度が体験可能のため、人数が増える場合、時限数相談)										

<p>メインプログラムの主たる指導者</p>	<p>工藤薫(ディレクター), 佐藤宏樹(テクニカルディレクター) アシスタント(エンジニア、デザイナー)2名, 稲垣拓也(プロデューサー), 山田雅也(ワークショップコーディネーター) アシスタント4名(演舞演者を兼ねる)</p>		
<p>スタッフ人数 (1公演あたり)</p>	<p>計10名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>バン3台程度による機材搬入を想定</p> <p>積載量 1 t 車長 5 m 台数 3 台</p>
<p>企画のねらい</p>	<p style="text-align: center;">伝統文化の豊かな世界観に、デジタルアートを通して触れる</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし、今日を生きる子供たちはそれらに触れる機会が多くありません。デジタルアート作品『BAKERU』は東北の郷土芸能を様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品です。本公演は、デジタルアートという普段とは違った体験を通して、子どもたちに伝統文化に対する新たな気づきやまなざしが生まれることをねらっています。</p> <p>▶ デジタルアート作品 『BAKERU』</p> <p>BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまはげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的としています。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>▶ 1日目(芸能実演とワークショップ) のねらい</p> <p>1日目は、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作を行います。①では、有史以前から続くお面を使って「変身する」という行為をテーマにお話した後、例として「東京鹿踊」による実際の演舞を鑑賞します。②では、「自分が変身する」としてテーマにBAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズします。子どもたちが自身の「願い」と「それに対応するデザイン」を考えて制作することで、芸能で衣装が果たす役割を深く学びます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>▶ 2日目(デジタルアート体験) のねらい</p> <p>2日目は、体育館に設置したスクリーンでデジタルアート作品「BAKERU」を体験します。ここで1日目に制作したオリジナル面を利用することが、より深く作品に入り込み、体験を記憶に残すきっかけとなります。(感染症の流行状況等に応じて一回の体験人数や待機方法を柔軟に調整します)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

【公演団体名

WOW

】

実施にあたっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。									
当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p style="text-align: center;">【ワークショップ】 (1日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。</p> <p style="text-align: center;">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> インタロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのインタロダクション (5分) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">休み時間</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> 休憩 (10分) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> 体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	インタロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのインタロダクション (5分)	休み時間	休憩 (10分)	2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)	<p style="text-align: center;">【メインプログラム】 (2日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入を行います。</p> <p style="text-align: center;">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)
1時限目 (45分想定)	インタロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのインタロダクション (5分)									
休み時間	休憩 (10分)									
2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)									
1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)									
※採択決定後、採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。										
特別支援学校での実施における工夫点										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。									

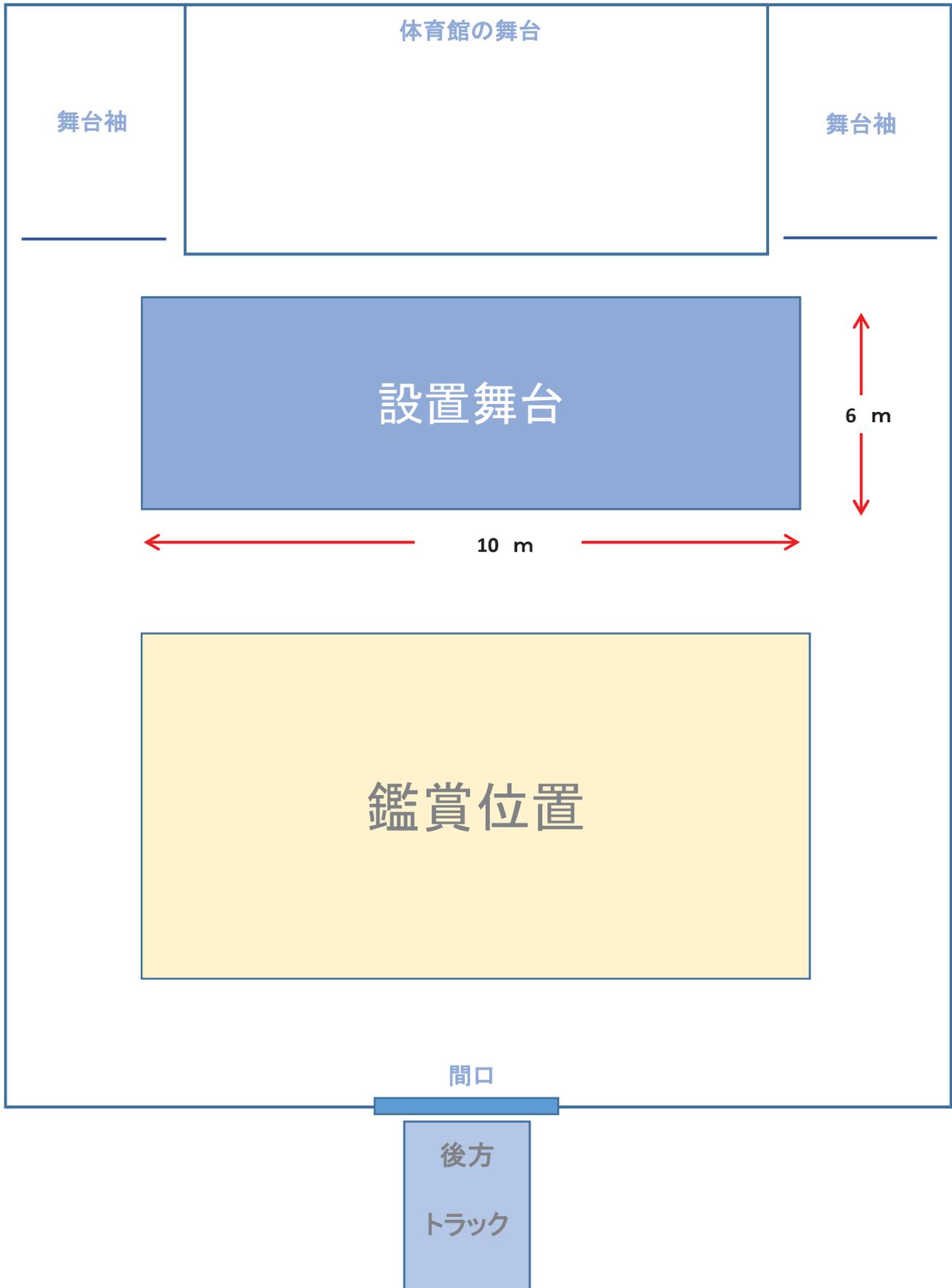
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1502	分野	メディア芸術	種目	メディアアート等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	WOW			制作団体名	ワウ 株式会社				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件						
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	3台				
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			不要					
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	—	搬入経路の最低条件			問わない					
	—	理由								
	—	設置階の制限 *								
WSIについて	—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない		高さ	問わない		
	可	参加可能人数			120名程度					
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学生のみ			
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分			2から3時限(参加人数による)					
	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			120名程度					
	可	舞台設置場所 *			フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	6m	高さ	5m	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *			不要		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	不可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	映像を投影するため			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量			30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

BAKERU ばける

その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。
お面を着けて、自分以外の存在へと“化ける”
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。
自然への畏怖が生んだ、“ハレとケ”の文化
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろうか。



東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前にお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、1年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊（ししどり）」や、簀（みの）をかぶった若者に水をかける「加勢鳥（かせどり）」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の4種類の伝統行事をモチーフにし、WOWの解釈を加えてビジュアルライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。



なまはげ Namahage



早乙女 Saotome



鹿踊 Shishiodori



加勢鳥 Kasedori



WOW <http://www.w0w.co.jp/> <http://wowlab.net/>

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。<http://bakeru.jp>

BAKERU

デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

1日目 郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

▶ 郷土芸能 実演・体験

”東京鹿踊”による演舞を鑑賞。
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。



▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート体験のためのお面を自分でデザインします。



2日目 デジタルアート作品『BAKERU』の体験

▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品『BAKERU』を体験します。

